



# 見るマウス 操作説明書

Ver. 8.3

作者: topolo-Z



# 目次



## 概要

- ▶ はじめに
- ▶ 特徴
- ▶ 動作環境
- ▶ クリック操作の説明

## インストール方法

- ▶ インストール

## 操作方法

- ▶ 起動方法
- ▶ 基本機能
- ▶ クリック操作の切り替え
- ▶ 頻繁にクリック操作を使い分ける場合
- ▶ アプリの拡大/縮小
- ▶ 拡大鏡の切り替え
- ▶ タッチ キーボードの切り替え
- ▶ ショートカットの実行と切り替え
- ▶ ウィンドウの展開/折りたたみ
- ▶ ウィンドウの再表示
- ▶ 終了方法

# 目次



## 見るマウスの設定

- ▶ 設定画面を開く
- ▶ 速度の調節
- ▶ 入力方式
- ▶ ゲームコントローラー
- ▶ 一時停止
- ▶ サウンド
- ▶ スクロール
- ▶ クリック操作
- ▶ 補助操作
- ▶ キーボード
- ▶ ショートカット
- ▶ 独自のショートカットの追加
- ▶ 見たときにのみキーを押す
- ▶ 定型句の追加
- ▶ 他のアプリのショートカット
- ▶ 個別のウィンドウ
- ▶ ウィンドウの表示
- ▶ 起動方法
- ▶ 新しいバージョンの確認
- ▶ 簡易モード
- ▶ プロファイル

# 目次



## その他の機能

- ▶ 視線追跡のキャリブレーション
- ▶ ウィンドウの縦置き
- ▶ タスクビュー
- ▶ アクションセンター
- ▶ ユーザーアカウント制御
- ▶ ゲーム中のカメラ移動
- ▶ ゲーム中のポインターの移動
- ▶ ゲーム中のクリック操作
- ▶ 実際のマウスとの併用
- ▶ 視線追跡の停止
- ▶ マウスポインターを隠す

- ▶ 見るマウスの固有のショートカットキー
- ▶ 他言語対応
- ▶ ハイコントラスト対応

## ヒント

- ▶ ボタン等が小さすぎる場合
- ▶ Tobii Core Software のアップグレード
- ▶ SSML または SAPI TTS XML の使用
- ▶ Windows 10 の SwiftKey の使用
- ▶ 50 音配列のキーボードの使用
- ▶ 他の PC の遠隔操作

# 目次

## Windows の視線制御

- ▶ [設定](#)
- ▶ [使用方法](#)
- ▶ [終了方法](#)

## 特記事項

- ▶ [アンインストール](#)
- ▶ [既知の問題](#)
- ▶ [制限事項](#)
- ▶ [作者への連絡先](#)

## 付録

- ▶ [ショートカットキー](#)

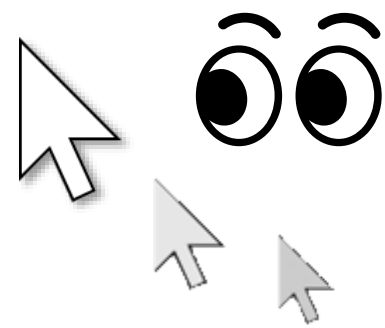


# はじめに

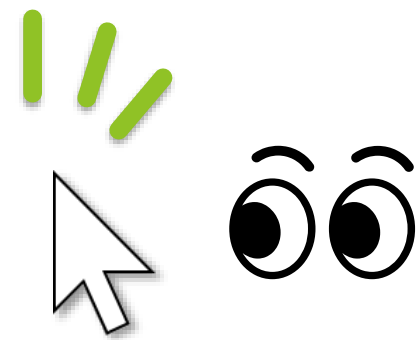


この度は、本アプリ「見るマウス」のご利用ありがとうございます。

見るマウスは、Tobii Eye Tracker 4C 等の視線追跡によってマウス制御を行います。



見ている所に  
ポインターが移動します。



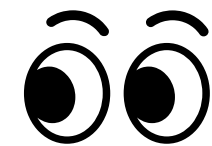
同じ所を見続けるか  
目を閉じるとクリックします。

# 特徴



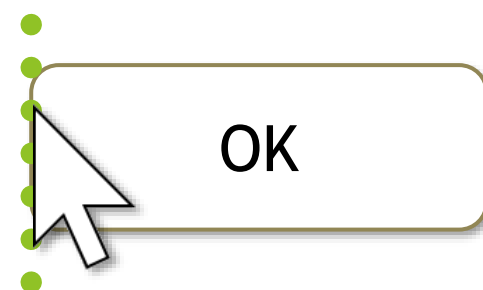
## ▶ スクロール操作に対応

スタートメニューや Web ブラウザー等のスクロール操作に対応しています。上の方を見ると上にスクロールし、下の方を見ると下にスクロールします。



## ▶ 視線のブレへの対応

ボタン等をクリックしやすくするため、マウスポインターが枠に少し「引っかかる」ように制御しています。

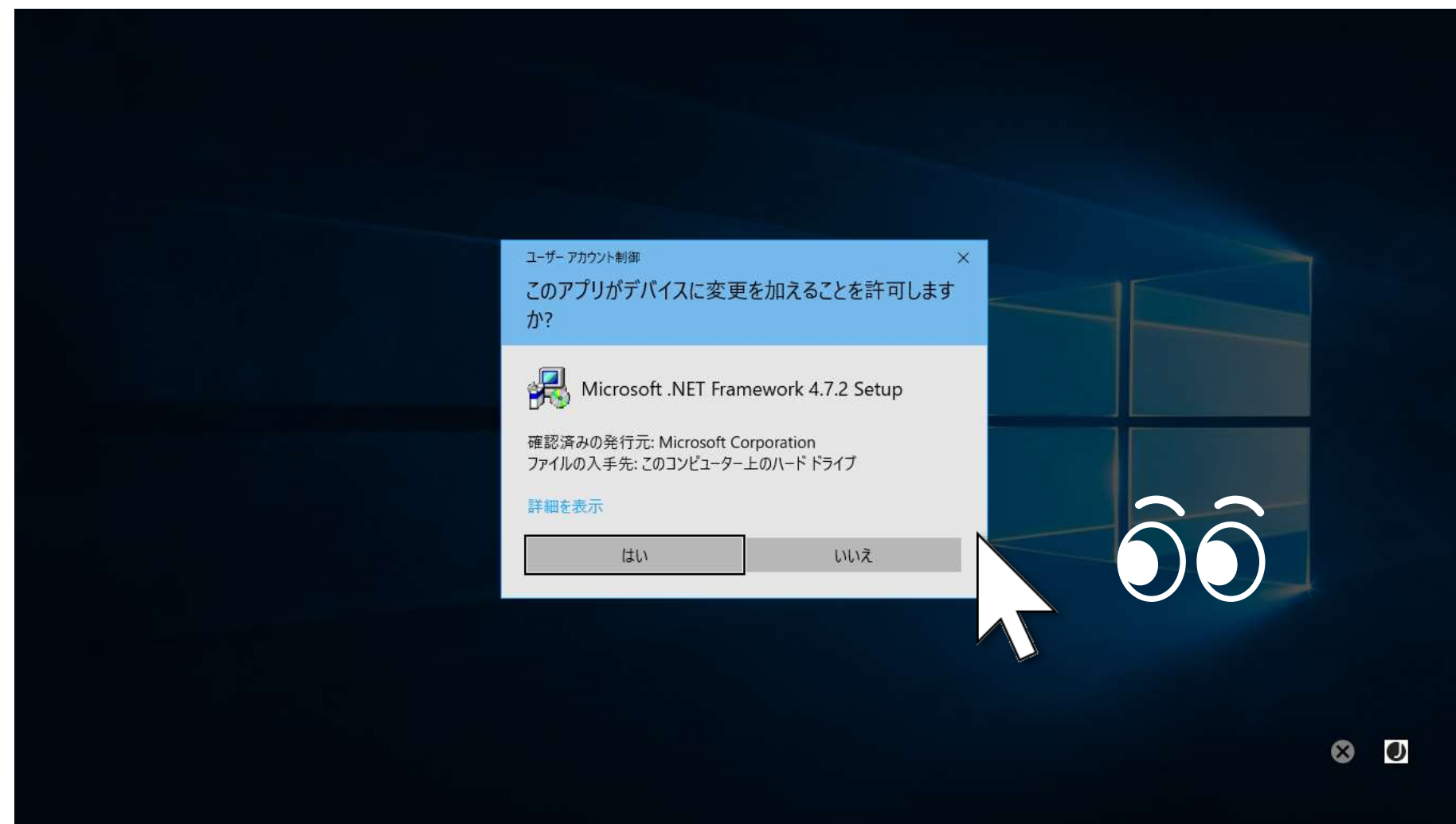


# 特徴



## ▶ ユーザー アカウント制御画面に対応

アプリのインストールやアプリを管理者として実行するときに表示される、ユーザー アカウント制御の画面も視線追跡でクリックできます。





# 動作環境



見るマウスを使用するには、以下のいずれかの組み合わせが必要です。

## ▶ 視線追跡及び頭部追跡

装置	OS	ソフトウェア
<b>Tobii Eye Tracker 5</b>	Windows 11, Windows 10	Tobii Experience

# 動作環境



(続き)

## ▶ 視線追跡

装置	OS	ソフトウェア
<b>Tobii Eye Tracker 4C</b>	Windows 10, Windows 8.1, Windows 7	Tobii Experience (Windows 10 のみ) または Tobii Eye Tracking Core Software
<b>Tobii EyeX, SteelSeries Sentry</b>	Windows 10, Windows 8.1, Windows 7	Tobii Eye Tracking Core Software
<b>Irisbond Duo</b>	Windows 10, Windows 8.1, Windows 7	Irisbond Duo Drivers
<b>EyeTech TM5</b>	Windows 10, Windows 8.1, Windows 7	(追加のソフトウェアは不要)

# 動作環境



(続き)

## ▶ 頭部追跡

装置	OS	ソフトウェア
TrackIR 5	Windows 10, Windows 8.1, Windows 7	OptiTrack Camera SDK
PC の組み込みのカメラ, Web カメラ	Windows 11, Windows 10, Windows 8.1	VSeeFace

# クリック操作の説明



見るマウスの設定により、以下の入力方式を選ぶことができます。

1. 同じ場所を見続けたときにクリックする
2. 目を閉じたときにクリックする
3. ゲームコントローラーのボタンを押したときにクリックする
4. マイクに向かって何か話したときにクリックする
5. 頭部追跡を使用する

初期設定は 1. です。この操作説明書では 1. を基本に記載しています。

2. を選んだ場合の操作については、この操作説明書の“見続けたとき”の記載を“見て目を閉じたとき”に読み替えてください。同様に、
  3. を選んだ場合は“見ながらゲームコントローラーのボタンを押したとき”、
  4. を選んだ場合は“見ながらマイクに向かって何か話したとき”、
  5. を選んだ場合は“見ながら頭の向きを変えたとき”
- にそれぞれ読み替えてください。

# インストール



見るマウスの ZIP ファイルを適当な場所に展開してください。

Mill Mouse フォルダと、その中の以下の 2 つのファイルが展開されます。

<b>Mill_Mouse_83.exe</b>	インストーラー
<b>操作説明書.pdf</b>	このファイル

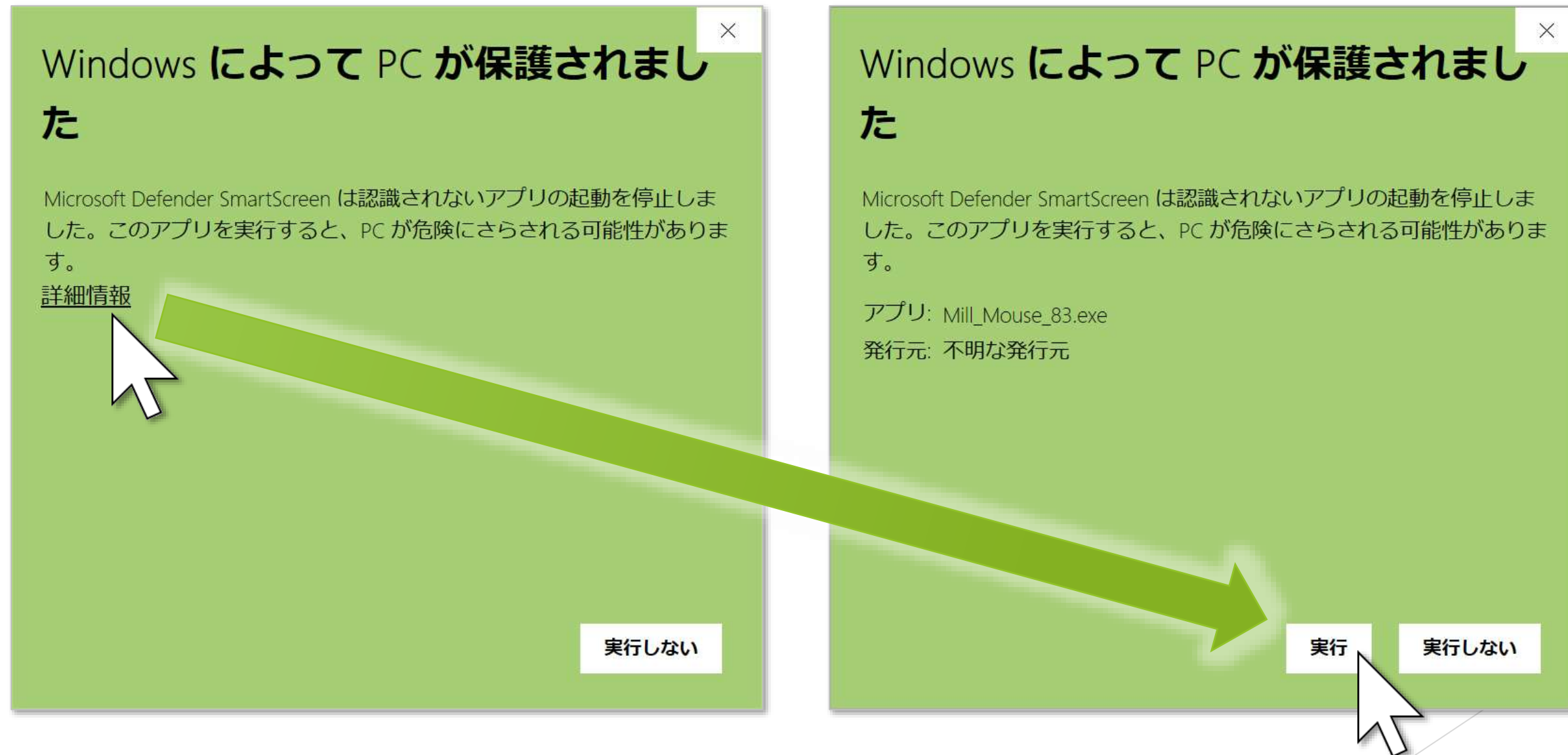
※ .exe や .pdf という表示がされない場合もあります。

# インストール



Mill\_Mouse\_83.exe を実行してください。

以下のような SmartScreen の画面が表示された場合は [詳細情報] をクリックして [実行] をクリックしてください。

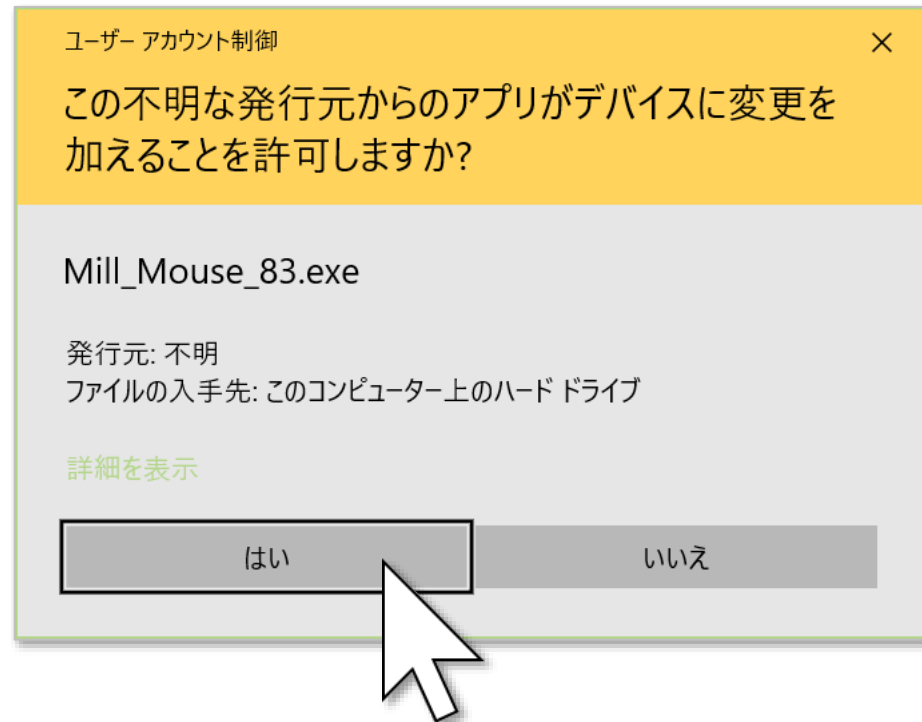


※ 見るマウスをインストール済みの場合、[発行元] は「topolo-Z」と表示されます。

# インストール



ユーザー アカウント制御の画面で [はい] をクリックしてください。

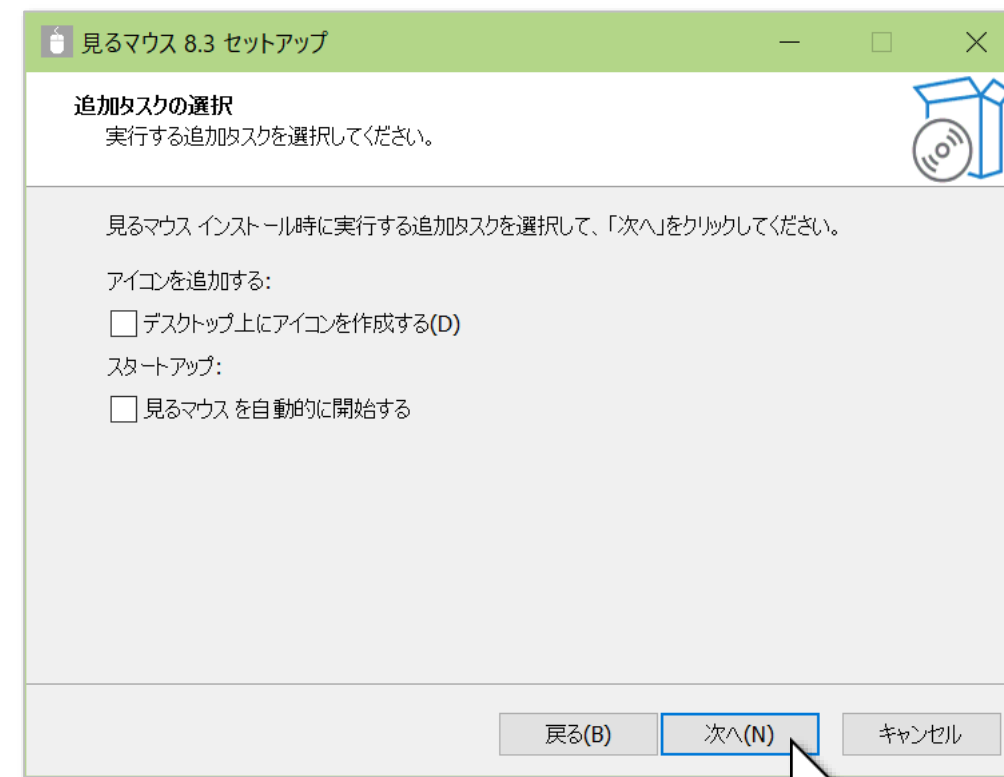
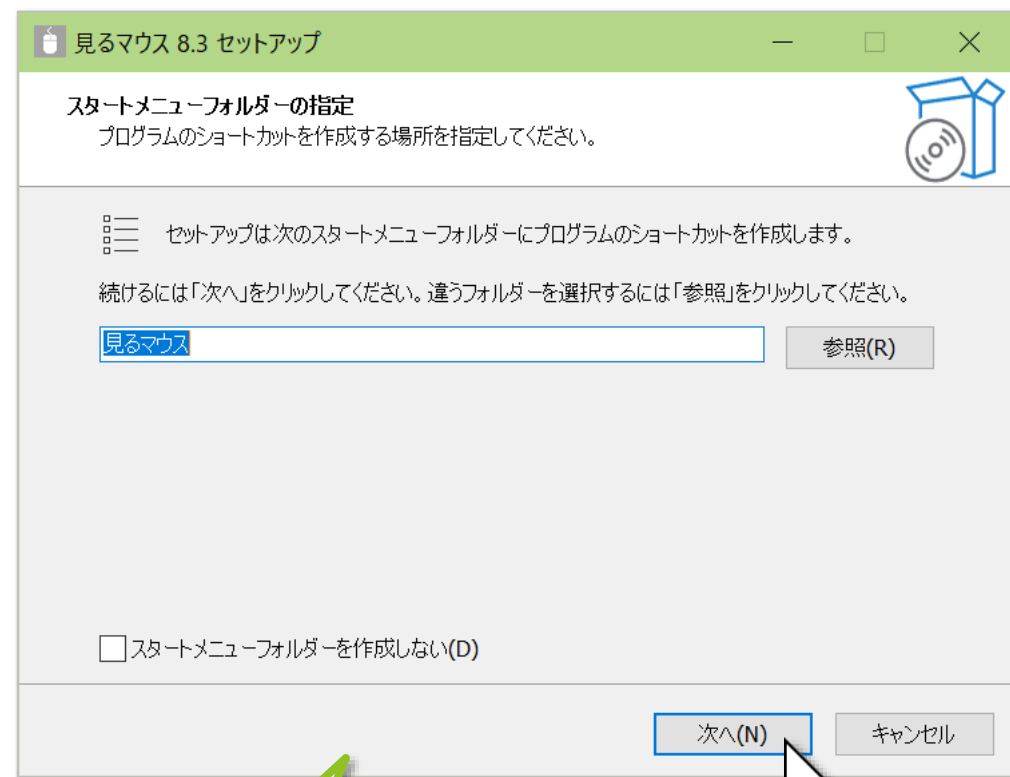


※ 見るマウスをインストール済みの場合、[発行元] は「topolo-Z」と表示されます。

# インストール



[次へ]→[次へ] をクリックしてください。



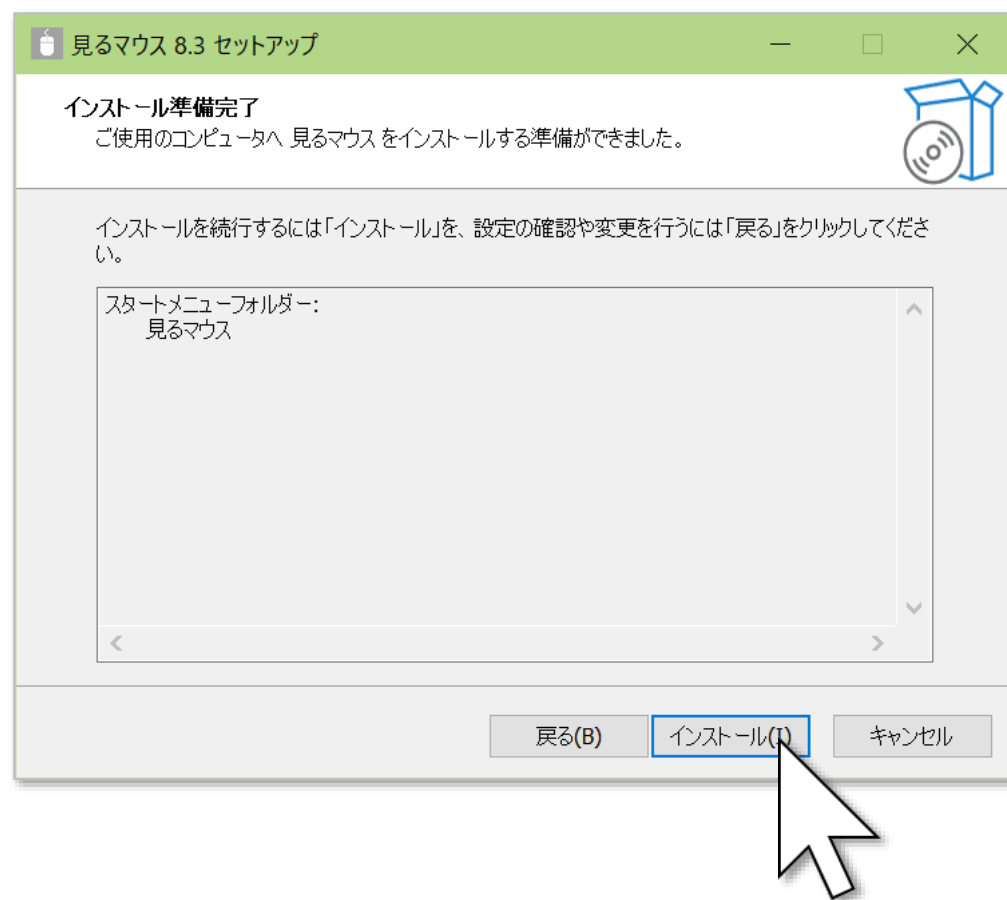
見るマウスをインストール済みの場合、  
この画面は表示されません。



# インストール



[インストール] をクリックして、[完了] をクリックしてください。  
Windows から一度サインアウトして、サインインし直してください。  
見るマウスのインストールはこれで完了です。



# Tobii Experience のインストール



視線追跡装置として Tobii Eye Tracker 5 を使用する場合は、かつ Tobii Experience をまだインストールしていない場合は、以下の手順でインストールしてください。

1. 以下の URL へ移動します。  
<https://gaming.tobii.com/getstarted/?bundle=tobii-et5>
2. 画面を少し下へスクロールします。[DOWNLOAD DRIVER] をクリックしてインストーラーをダウンロードして、実行します。
3. Tobii Eye Tracker 5 を PC に接続します。
4. タスクバーの通知領域のアイコン  をクリックします。
5. Tobii Experience の画面が開くので、右上の歯車アイコンをクリックして [画面を設定] をクリックして、画面の指示に従って設定を行います。

# Tobii Core Software のインストール



視線追跡装置として Tobii Eye Tracker 4C、Tobii EyeX、または SteelSeries Sentry を使用する場合は、かつ Tobii Eye Tracking Core Software をまだインストールしていない場合は、以下の URL からダウンロードしてインストールしてください。

<https://gaming.tobii.com/getstarted/?bundle=tobii-core&autodownload=true>

# Irisbond Duo Drivers のインストール



視線追跡装置として Irisbond Duo を使用する場合は、かつ Irisbond Duo Drivers をまだインストールしていない場合は、以下の URL から [Drivers] の [Download] をクリックして、ダウンロードしてインストールしてください。

<https://www.irisbond.com/en/support-service/downloads-system-software-and-third-party-apps/>

# OptiTrack Camera SDK のインストール



頭部追跡装置の TrackIR 5 を使用する場合は、かつ OptiTrack Camera SDK をまだインストールしていない場合は、以下の URL から [Download] をクリックして、ダウンロードしてインストールしてください。

<https://www.optitrack.com/support/downloads/developer-tools.html#camera-sdk>

# VSeeFace のインストール



VSeeFace を使用する場合は、以下の手順でインストールしてください。

1. 以下の URL から [Download] をクリックして、ZIP ファイルをダウンロードします。  
<https://www.vseeface.icu/#download>
2. ダウンロードした ZIP ファイルを適当な場所に展開します。
3. 展開したフォルダー内にある VSeeFace.exe を実行します。
4. チュートリアルを進めて、[ウェブカメラ] を選択し、[スタート] をクリックします。
5. [設定] > [一般設定] > [顔のトラッキング] にチェックを付けます。設定画面を下へスクロールして、[OSC/VMCプロトコルで送信する] にチェックを付けて、[UDPパケットをバンドルしない] にチェックを付けます。
6. [ミラーモード] を有効にします。この設定は必須ではありませんが、有効にした方がより直感的にマウス ポインターを移動させることができます。
7. 見るマウスの [目を閉じたときにクリックする] を使用する場合は、VSeeFace の [設定] > [表情設定] > [まばたきのトラッキング] にチェックを付けます。

# 操作方法



# 起動方法



Tobii Eye Tracker 4C 等の視線/頭部追跡装置を PC に接続した状態で、スタートメニュー→「見るマウス」フォルダー→「見るマウス」をクリックしてください。  
見るマウスが起動して、デスクトップ画面の左上にウィンドウが表示されます。



- ※ ウィンドウの右側のボタンの数は、デスクトップ画面の大きさによって変わります。
- ※ タスクバーを上または左に配置している場合は、右下にウィンドウが表示されます。



# 基本機能



それぞれの機能は以下のとおりです。



① クリック操作の切り替え

② アプリの拡大/縮小

③ 拡大鏡の切り替え

④ タッチ キーボードの切り替え

⑤ ショートカットの実行と切り替え

⑥ ウィンドウの展開/折りたたみ

# クリック操作の切り替え



同じ所を見続けたときのクリック操作を切り替えることができます。  
ウィンドウの左端のボタンを見る度に、操作が切り替わります。



初期設定ではクリック、ダブルクリック、ドラッグ、右クリック、タップ、選ぶ、クリックなしの7種類の操作に切り替えられます。

見るマウスの設定で、特定の操作のみを使うようにすることもできます。

- ※ Windows 7 ではタップに対応していません。
- ※ マウスの [主と副のボタンを切り替える] が有効な場合は、右クリックではなく左クリックになります。

# 頻繁にクリック操作を使い分ける場合



クリック操作を [選ぶ] に切り替えることで、同じ所を見続けたときにその都度操作を選ぶことができます。



① [選ぶ] に切り替えます。

② 同じ所を見続けると、まわりに操作パネルが表示されます。



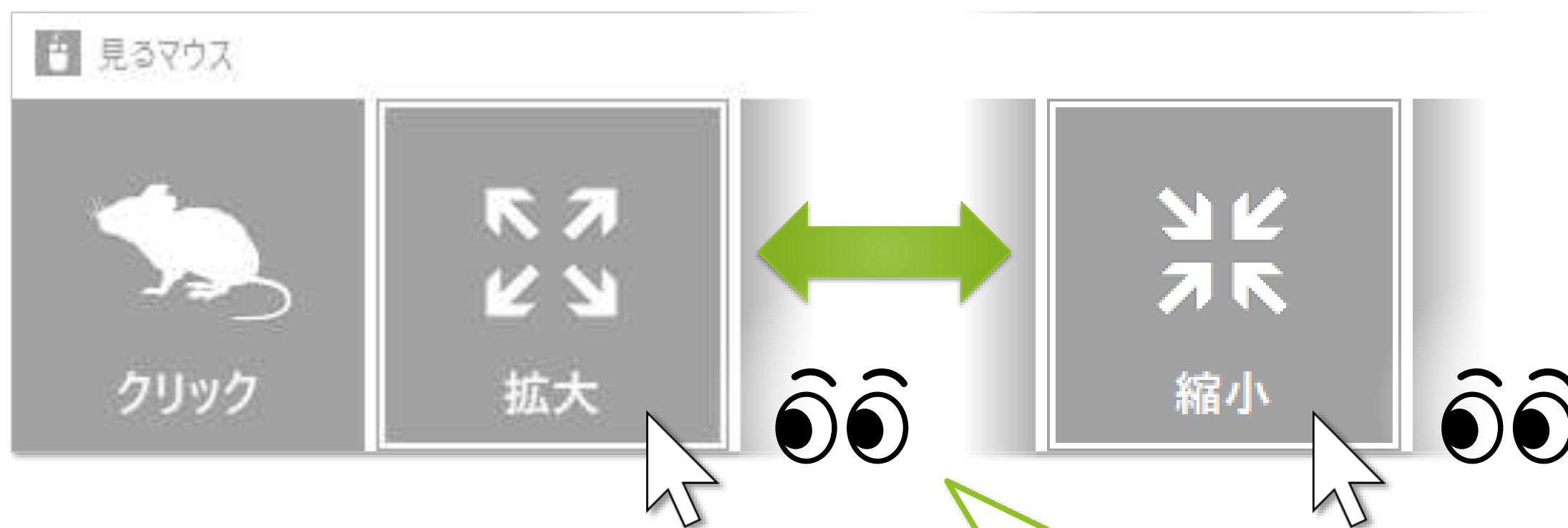
③ パネルを見続けると、その操作が行われます。何も操作させたくない場合は、パネル以外の所を見続けるか目を閉じてください。

※ タッチ キーボードまたはスクリーン キーボード上のキーを見続けた場合は、操作パネルを表示せずにクリックを行います。

# アプリの拡大/縮小



ウィンドウの左から 2 番目の [拡大] または [縮小] を使って、Web ブラウザー等の拡大/縮小ができます。



① [拡大] または [縮小] に切り替えます。

② Web ブラウザー等の同じ所を見続けると、拡大/縮小が行われます。

③ 拡大/縮小をやめる場合は、見るマウスのウィンドウの左側の、クリック操作に切り替えてください。

※ アプリによっては、拡大/縮小に対応していない場合があります。

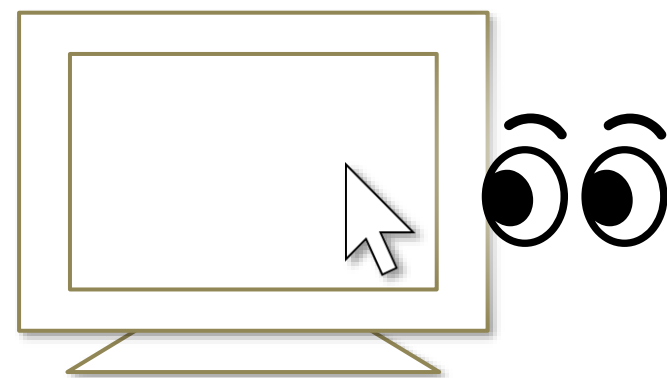
# 拡大鏡の切り替え



ウィンドウの左から 3 番目の [拡大鏡] を使って、デスクトップ画面を拡大表示してからクリック操作を行うことができます。



① [拡大鏡] を見て、機能を有効化します。



② クリック操作を行いたい場所を見続けると、その付近が拡大表示されます。

③ 拡大表示中に更に同じ所を見続けると、クリック操作を行います。

④ 拡大鏡の使用をやめる場合は、再度 [拡大鏡] を見てください。

※ Windows 7 では Windows Aero が有効な場合のみ拡大鏡を利用できます。

# タッチ キーボードの切り替え



ウィンドウの左から 4 番目の [キーボード] を見るとタッチ キーボードの表示/非表示を切り替えることができます。



見るマウスの設定で、タッチ キーボードの代わりにスクリーン キーボードを使うようにすることもできます。

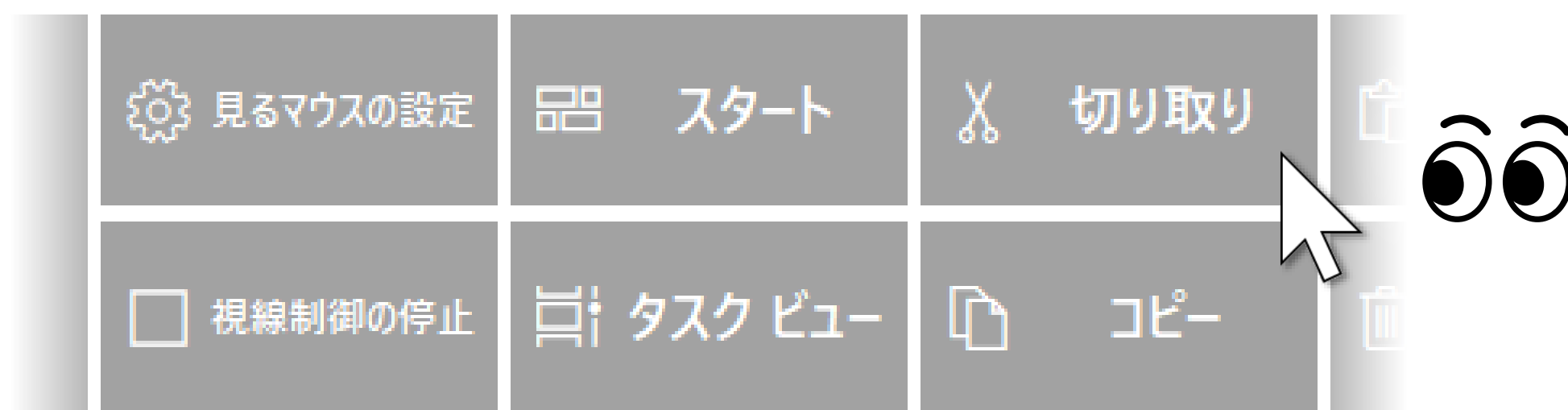
※ Windows 7 Home Basic ではタッチ キーボードは利用できません。



# ショートカットの実行

ウィンドウの右側のボタンを見ると、Ctrl+X や Ctrl+V のショートカット キー等、それぞれに割り当てられたショートカットを実行することができます。

ウィンドウに表示するショートカットは、設定で変更することができます。



※ Windows 8.1, Windows 7 では、ショートカットのアイコンを表示しません。

# ショートカットの切り替え



ショートカットは最大 20 個設定できます。ウィンドウには、デスクトップ画面に収まる範囲の個数を表示します。右から 2 番目のボタンを見ることで、デスクトップ画面に収まらなかったショートカットを表示させることができます。

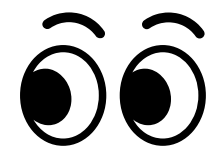




# ウィンドウの展開/折りたたみ



ウィンドウの右端のボタンを見ると、ウィンドウを折りたたんだり、展開したりすることができます。

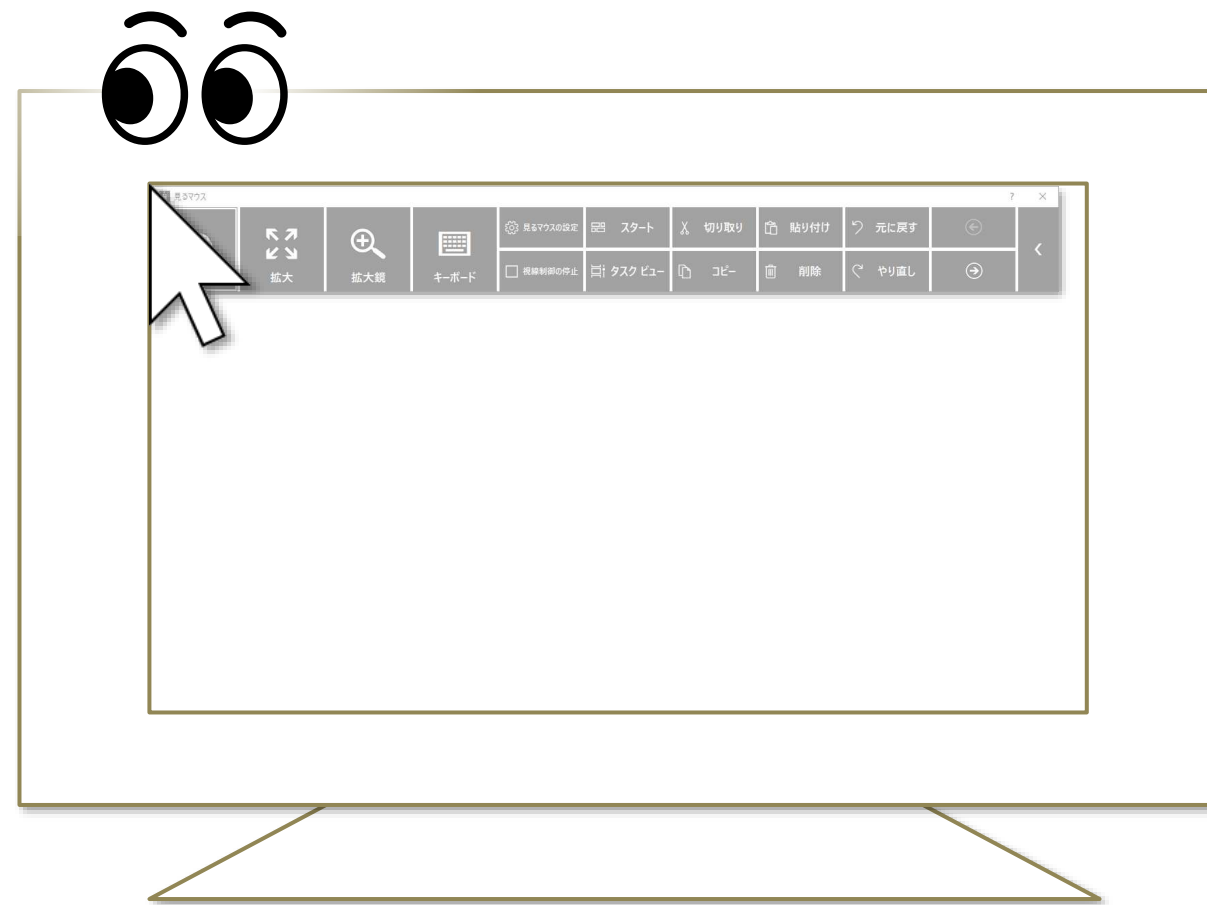


※ ウィンドウの右端のボタンの、その更に右端の枠をドラッグすると、ウィンドウの幅を調整することができます。



# ウィンドウの再表示

初期設定では、しばらくするとウィンドウが非表示になります。  
再表示させるには、デスクトップ画面の左上隅を見てください。  
うまく再表示できない場合は、ディスプレイの外枠を見るとうまくいきます。

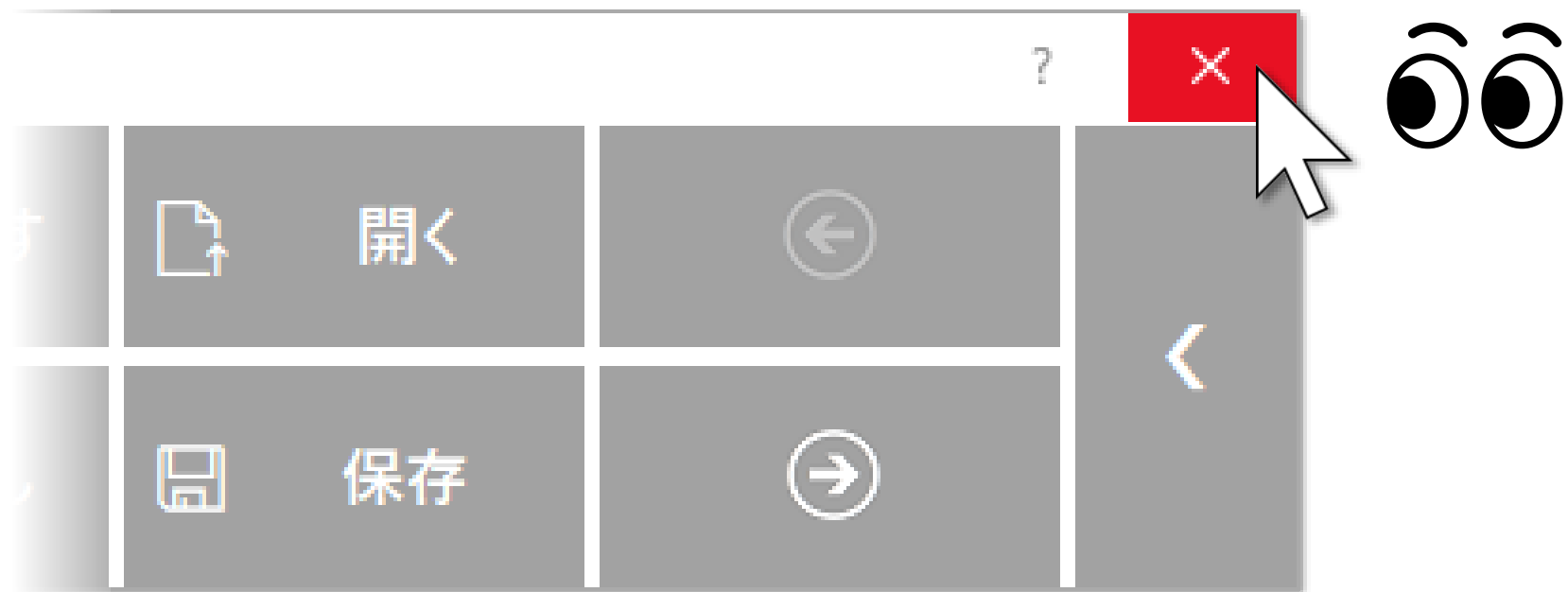


- ※ タスクバーを上または左に配置している場合は、画面の右下隅を見てください。
- ※ ウィンドウを自動的に非表示にするかどうかと、再表示させる位置は、設定で変更することができます。

# 終了方法



ウィンドウの右上の × ボタンを見ると、終了します。



# 見るマウスの設定





# 見るマウスの設定 - 設定画面を開く

ウィンドウに [見るマウスの設定] のショートカットを表示している場合は、それを見ることで設定画面を開いて、見るマウスの設定を変更することができます。

[見るマウスの設定] が無い場合は、ウィンドウのタイトルバーを見続けるとメニューが表示されるので、メニューの [設定] を見続けることで設定画面を開くことができます。

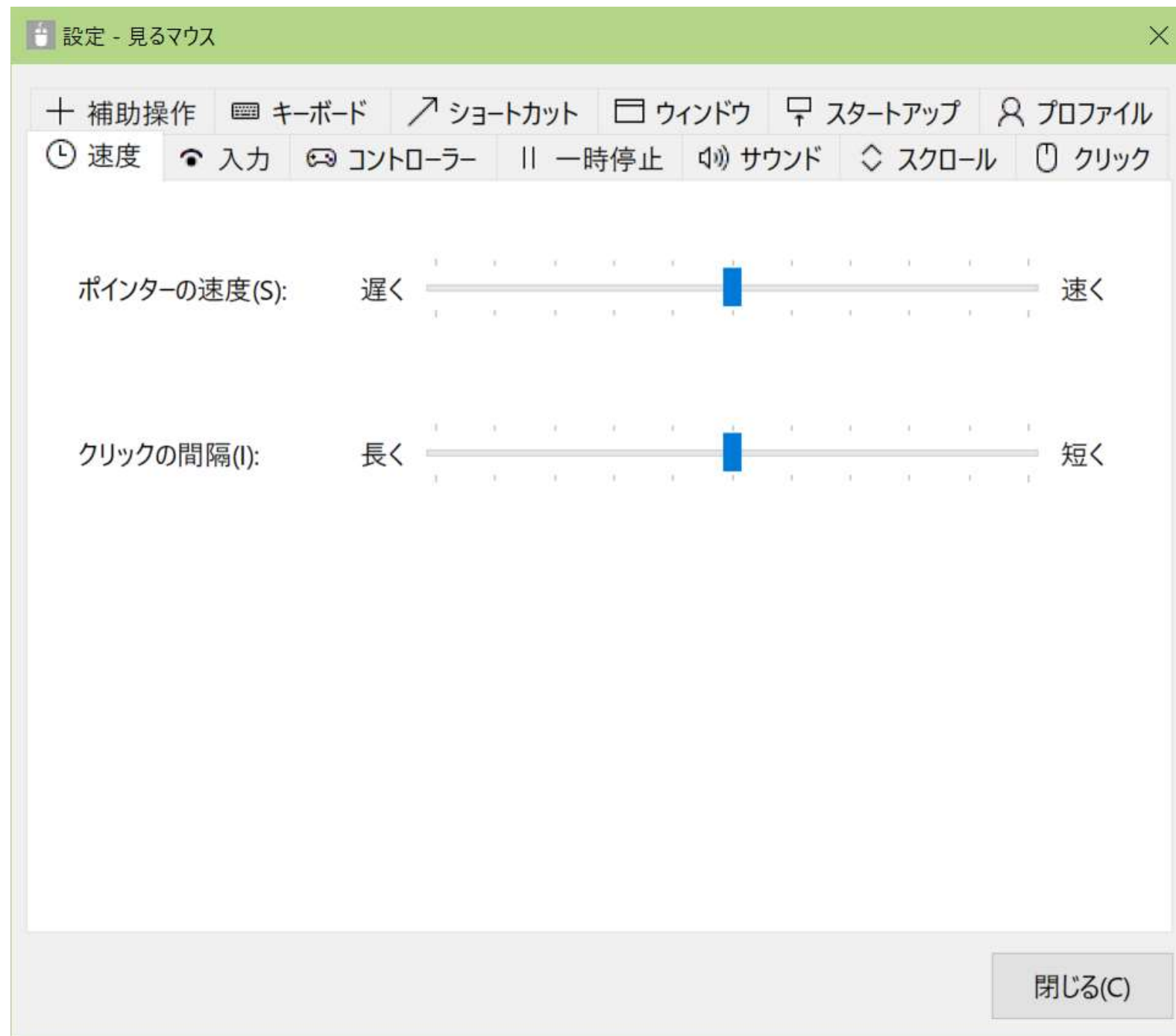


※ ゲームを全画面表示でプレイ中は、メニューが表示されない場合があります。

# 見るマウスの設定 - 速度の調節



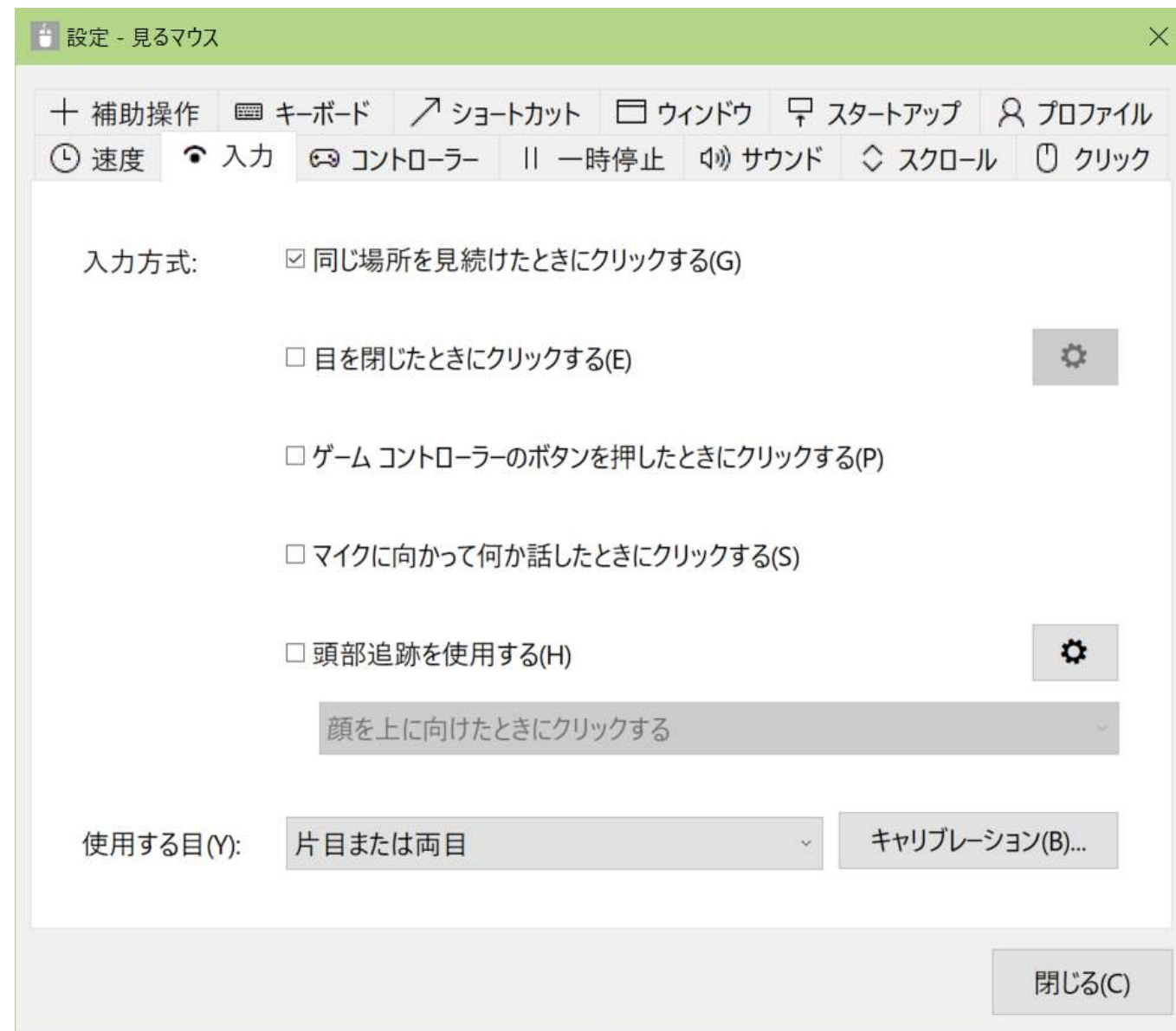
設定画面の [速度] タブで、速度の調節ができます。



# 見るマウスの設定 - 入力方式



設定画面の [入力] タブで、クリック操作の入力方式を変えることができます。



※ マイクの感度は、コントロールパネル > [サウンド] > [録音] > 既定のデバイス > [プロパティ] > [レベル] で調整できます。

# 見るマウスの設定 - 入力方式



[目を閉じたときにクリックする] にチェックを付けると、片目または両目を閉じたときにクリック操作が行われます。[使用する目] の設定によって、どの目を閉じたときにクリック操作を行うかが変わります。

<b>[使用する目]</b>	<b>どの目を閉じたときにクリック操作を行うか</b>
[常に両目] を選んだ場合	左目または右目を閉じたとき
[片目または両目] を選んだ場合	両目を閉じたとき
[左目] を選んだ場合	左目を閉じたとき
[右目] を選んだ場合	右目を閉じたとき

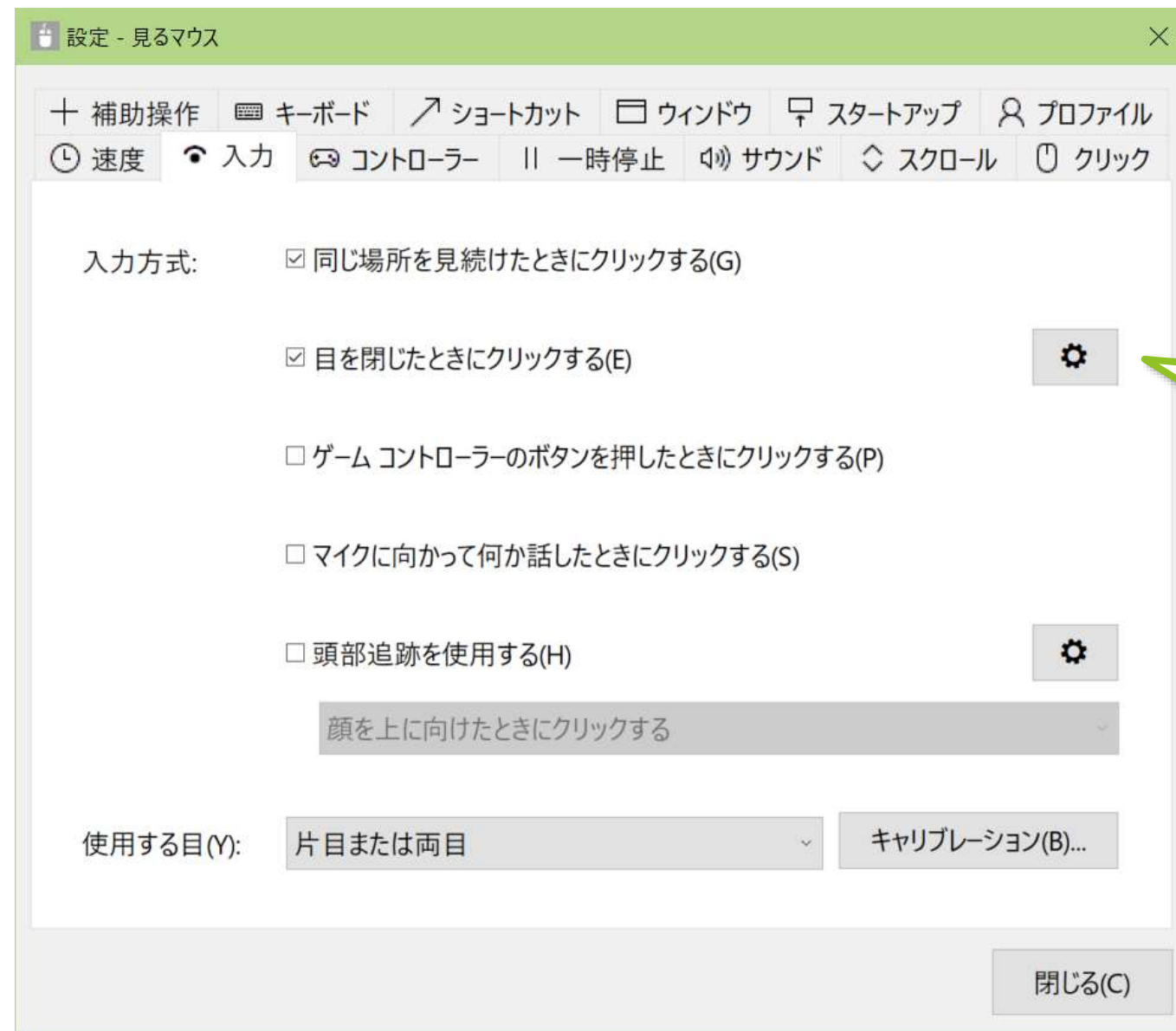
※ VSeeFace をお使いの場合、上記はアバターにとっての左目及び右目に対応します。



# 見るマウスの設定 - 入力方式



目を閉じたときに行うクリック操作は、変更することができます。



① [目を閉じたときにクリックする] にチェックを付けて、その右にある歯車アイコンのボタンを押します。

# 見るマウスの設定 - 入力方式



(続き)

②[使用する目] が [常に両目] の場合は、左目と右目のそれぞれに対して操作を選択するダイアログが表示されます。  
[使用する目] が [常に両目] 以外の場合は、操作を1つ選択するダイアログが表示されます。

詳細設定 - 見るマウス

目を閉じたときに行う操作を選択してください。

左目(L): 既定値

右目(R): 既定値

OK キャンセル

[常に両目] の場合

詳細設定 - 見るマウス

目を閉じたときに行う操作を選択してください。

操作: 既定値

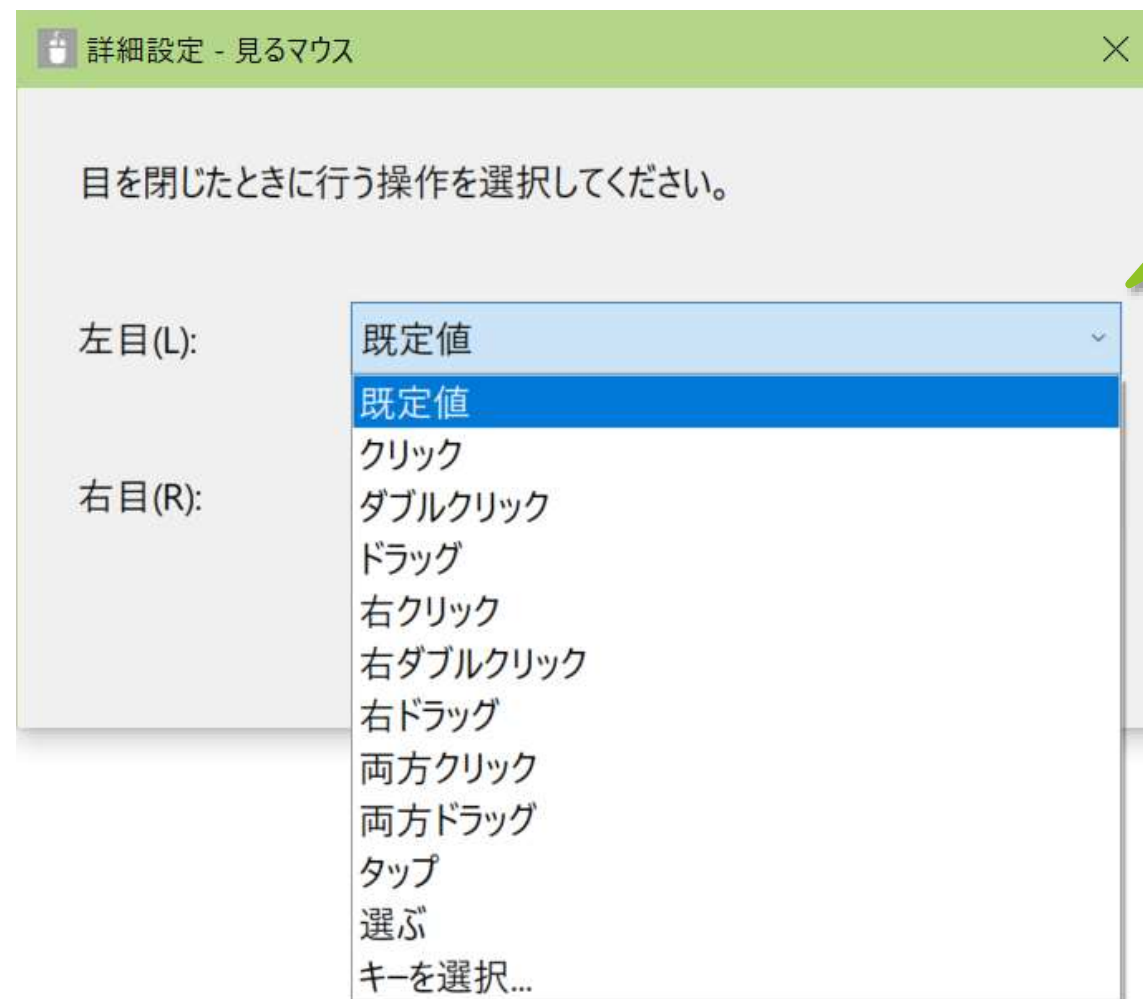
OK キャンセル

[常に両目] 以外の場合

# 見るマウスの設定 - 入力方式



(続き)



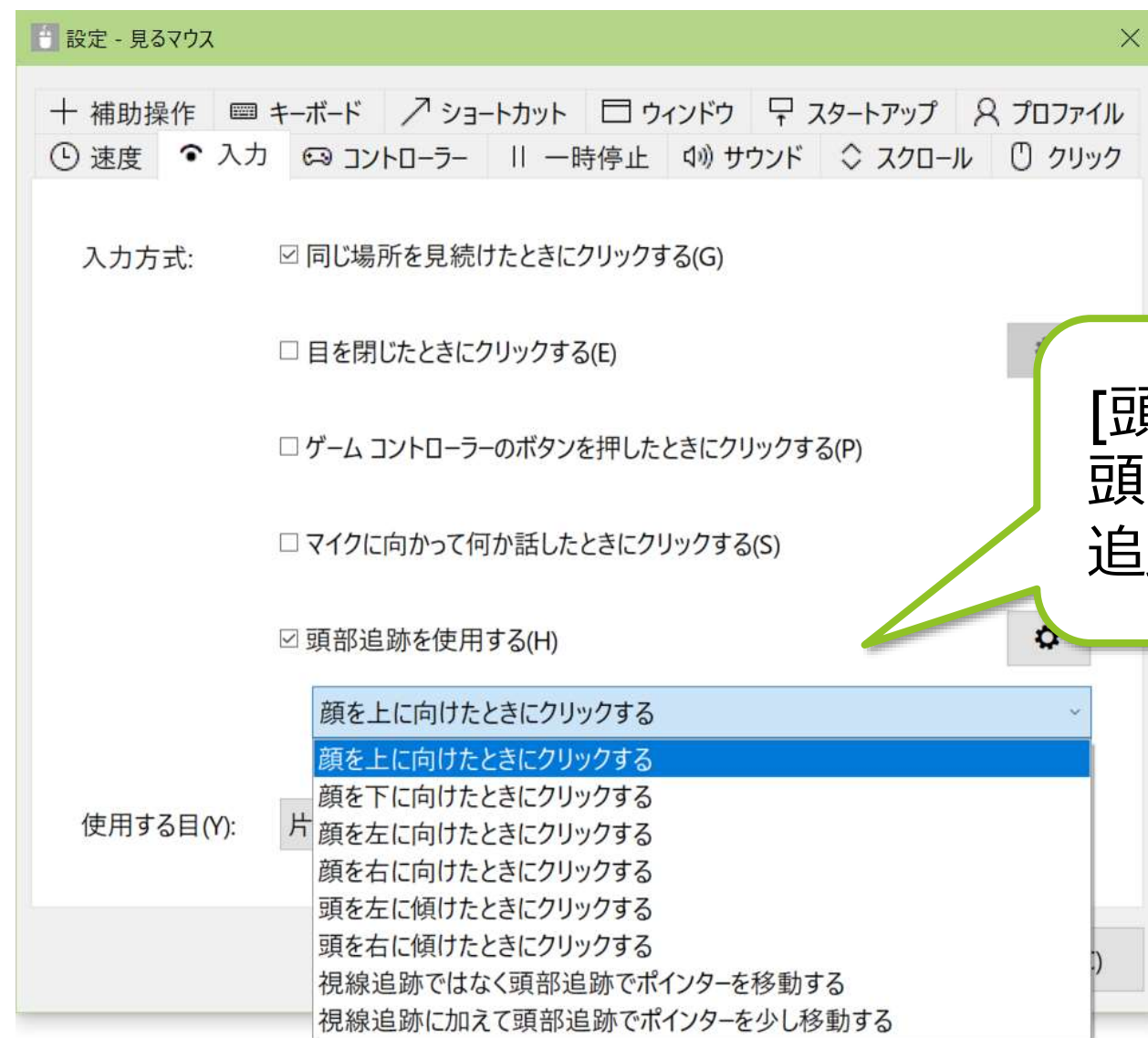
③目を閉じたときに行うクリック操作を選択します。  
クリック操作として [既定値] を選択した場合は、目を閉じたときに、見るマウスのウィンドウの左端のボタンのクリック操作が行われます。

④[OK] ボタンを押します。

# 見るマウスの設定 - 入力方式



視線追跡装置として Tobii Eye Tracker 5 をお使いの場合は、[頭部追跡を使用する] を設定できます。



[頭部追跡を使用する] にチェックを付けると、頭を動かしたときにクリックするか、または頭部追跡でポインターを移動するかを設定できます。

※ 視線追跡装置として Tobii Eye Tracker 4C をお使いの場合は、Tobii Eye Tracking Core Software のバージョンが 2.13.1 であれば頭部追跡を使用できます。

# 見るマウスの設定 - 入力方式



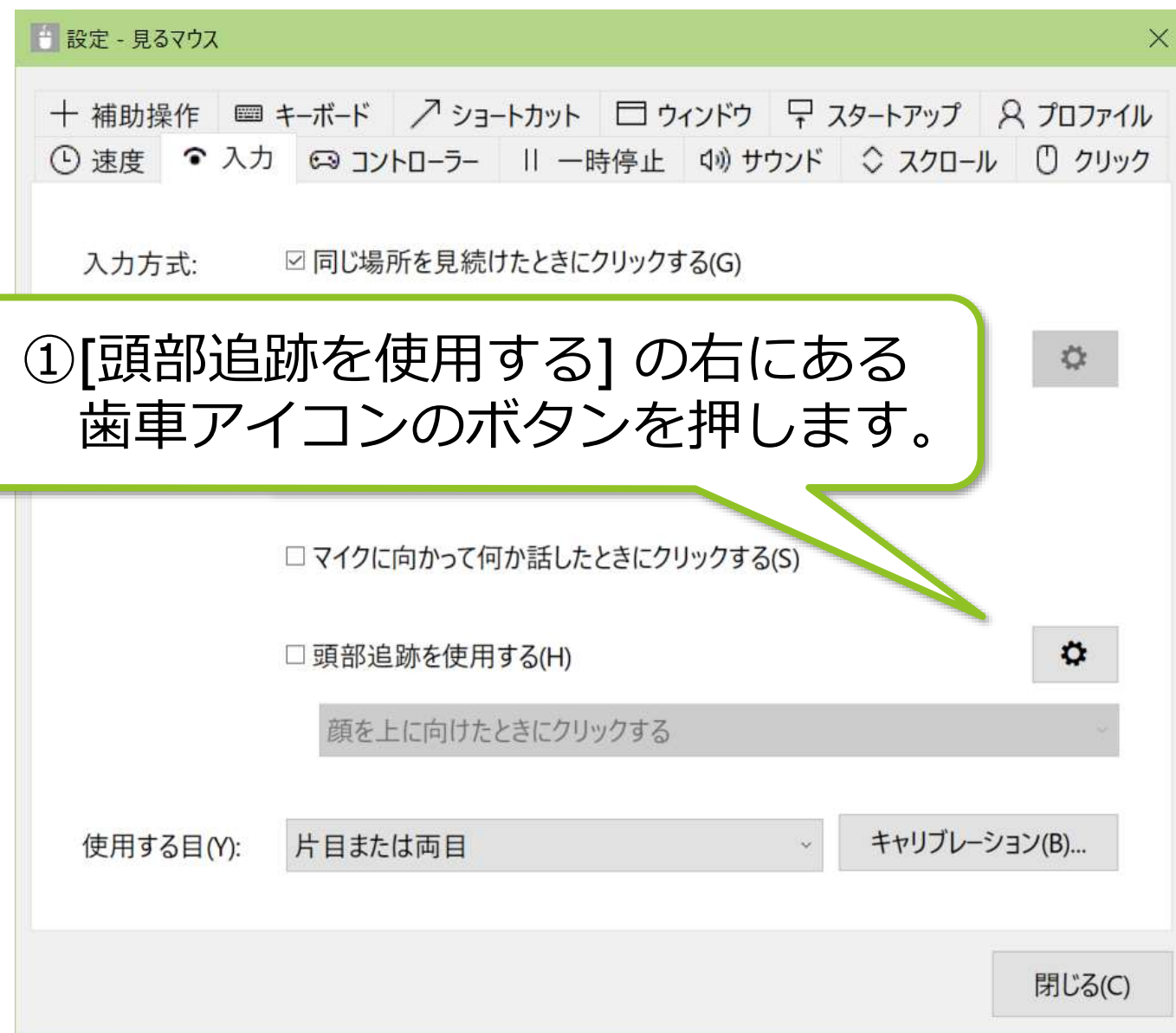
頭部追跡装置の TrackIR 5 をお使いの場合は、設定画面の [入力] タブで設定できる項目が、他の視線追跡装置をお使いの場合と異なります。TrackClip Pro をお使いの場合は、[追跡対象] を TrackClip Pro に変えてください。



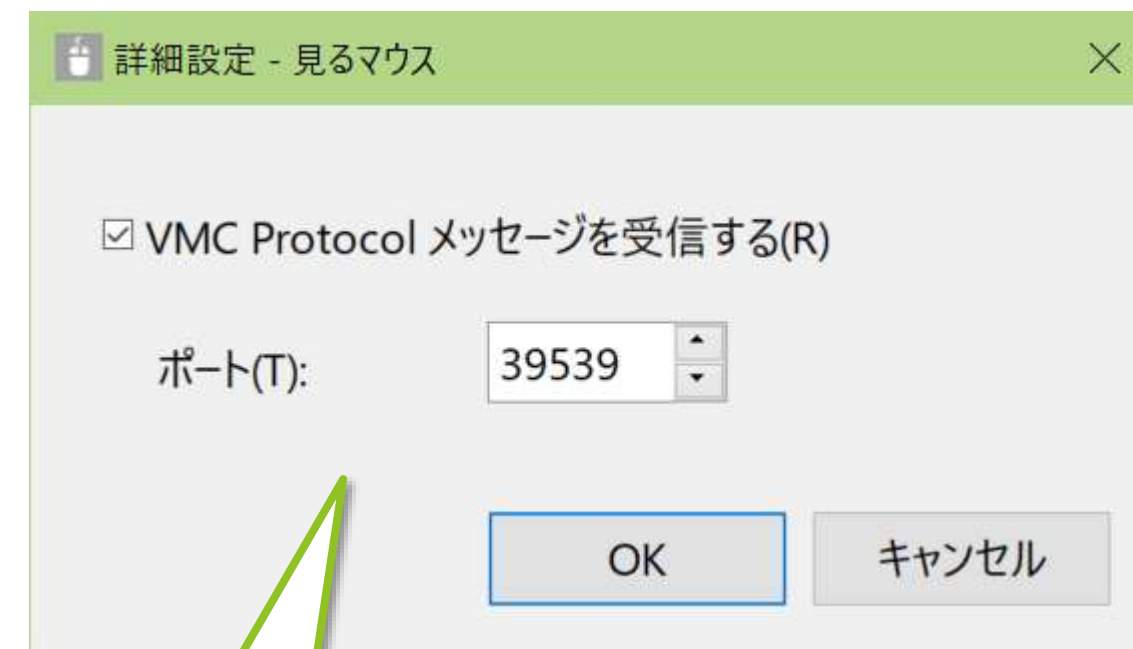
# 見るマウスの設定 - 入力方式



VSeeFace をお使いの場合は、[VMC Protocol メッセージを受信する] にチェックを付けてください。



① [頭部追跡を使用する] の右にある歯車アイコンのボタンを押します。



② ダイアログが表示されるので、[VMC Protocol メッセージを受信する] にチェックを付けて [OK] ボタンを押します。

# 見るマウスの設定 - 入力方式



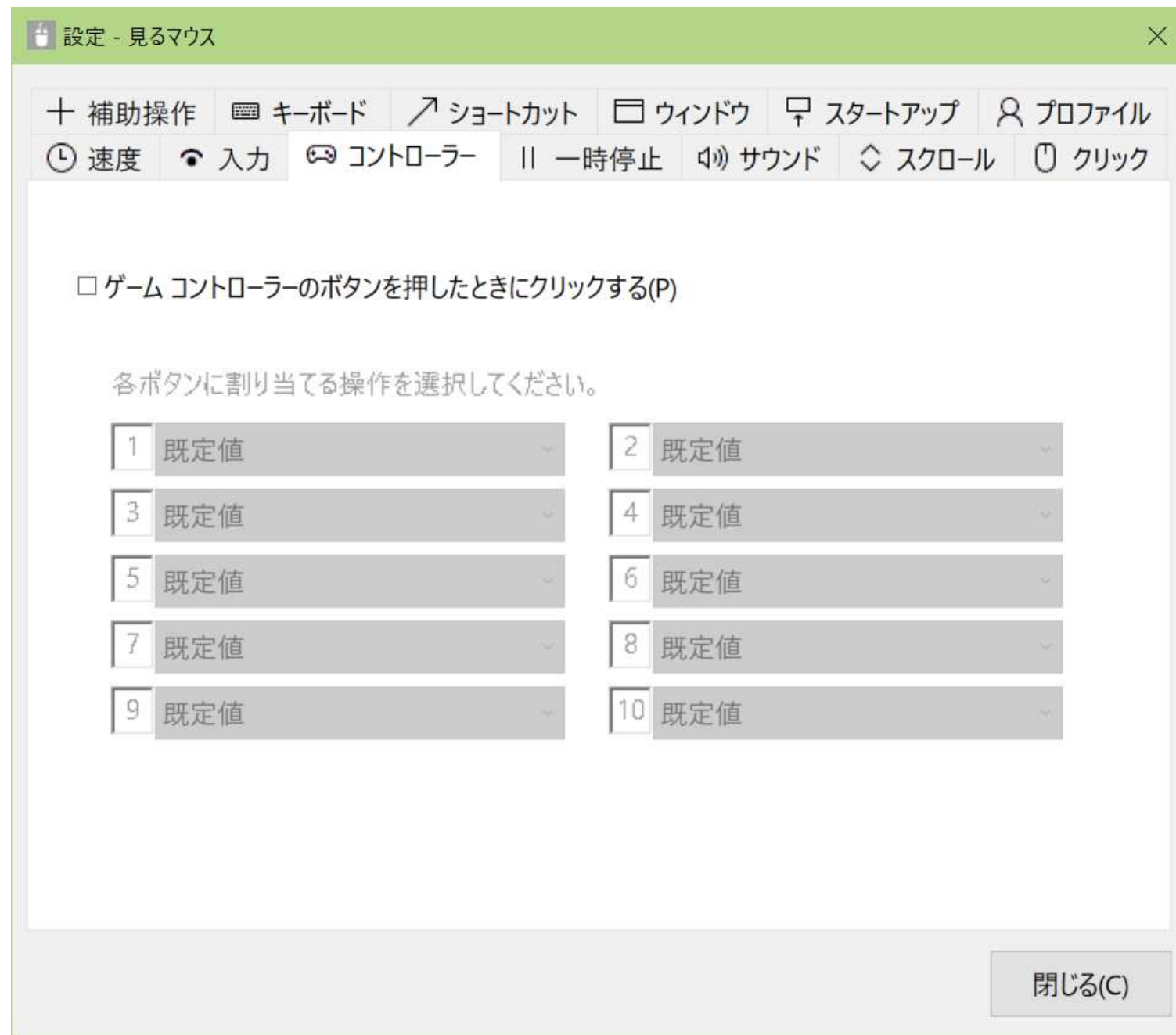
[入力] タブの [入力方式] の設定によって、[速度] タブの [クリックの間隔] は以下のように意味合いが変わります。

[入力] タブの [入力方式]	[速度] タブの [クリックの間隔] の意味合い
[同じ場所を見続けたときにクリックする] を選んだ場合	どのくらいの間、同じ場所を見続けたらクリック操作を行うか
[目を閉じたときにクリックする] を選んだ場合	どのくらいの間、目を閉じ続けたらクリック操作を行うか
[ゲーム コントローラーのボタンを押したときにクリックする] を選んだ場合	効果なし
[マイクに向かって何か話したときにクリックする] を選んだ場合	話し続けたときに、どのくらいの間隔でクリック操作を行うか
[頭部追跡を使用する] を選んだ場合	効果なし

# 見るマウスの設定 - ゲームコントローラー



設定画面の [コントローラー] タブで、ゲームコントローラーの 10 個のボタンに特定のクリック操作またはキーを割り当てることができます。

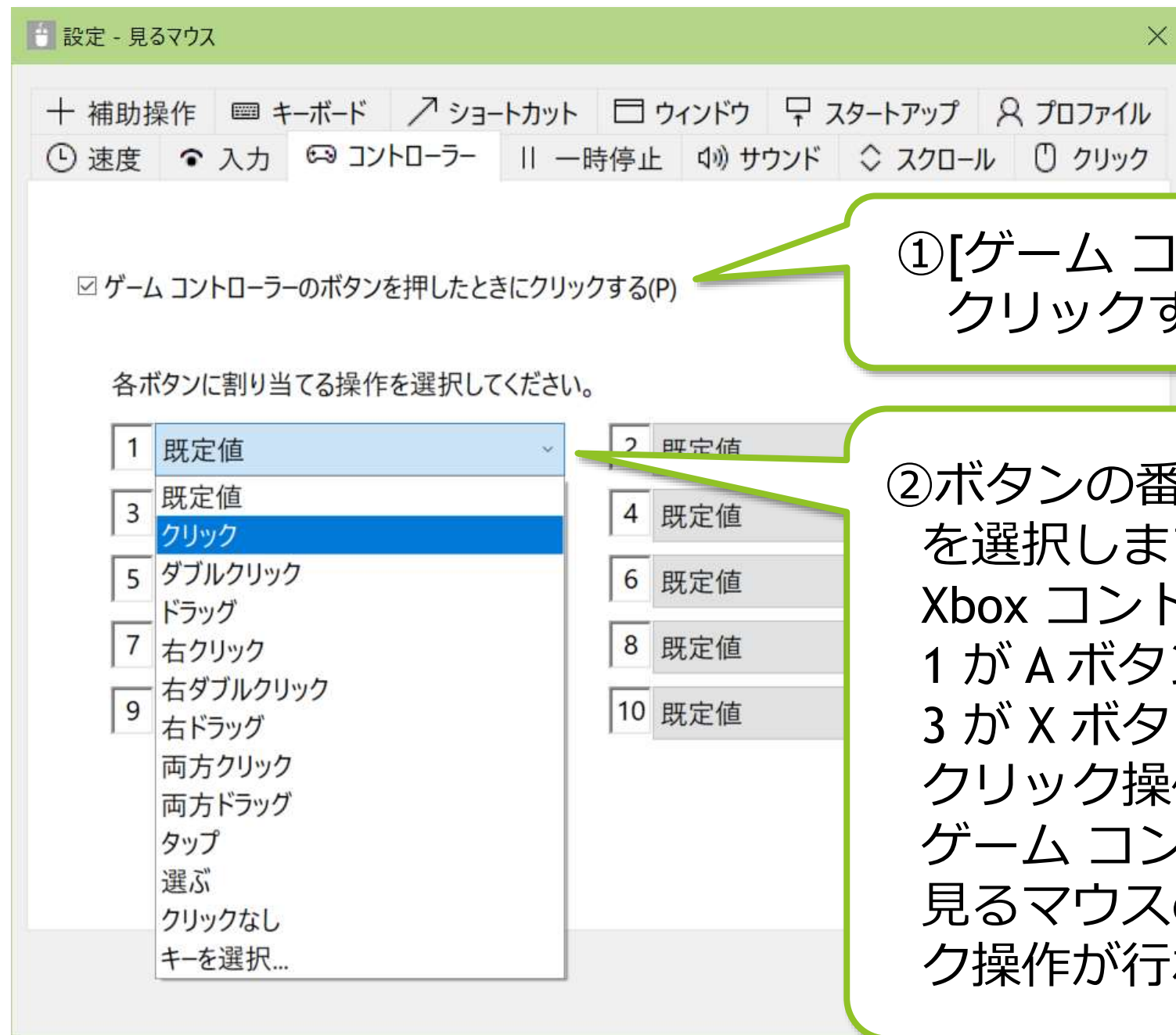




# 見るマウスの設定 - ゲームコントローラー



ゲームコントローラーのボタンにクリック操作を割り当てると、そのボタンを押したときに、割り当てたクリック操作が行われます。



① [ゲームコントローラーのボタンを押したときにクリックする] にチェックを付けます。

② ボタンの番号に対して、割り当てるクリック操作を選択します。  
Xbox コントローラーの場合は  
1 が A ボタン、2 が B ボタン、  
3 が X ボタン、4 が Y ボタンに対応しています。  
クリック操作として [既定値] を割り当てた場合は  
ゲームコントローラーのボタンを押したときに、  
見るマウスのウィンドウの左端のボタンのクリック操作が行われます。

# 見るマウスの設定 - ゲーム コントローラー



ゲーム コントローラーのボタンにキーを割り当てると、そのボタンを押したときに、割り当てたキーが入力されます。

① [ゲーム コントローラーのボタンを押したときにクリックする] にチェックを付けます。

☑ ゲーム コントローラーのボタンを押したときにクリックする(P)

各ボタンに割り当てる操作を選択してください。

1	既定値	2	既定値
3	既定値 クリック	4	既定値
5	ダブルクリック ドラッグ	6	既定値
7	右クリック	8	既定値
9	右ダブルクリック 右ドラッグ	10	既定値
	両方クリック 両方ドラッグ		
	タップ		
	選ぶ		
	クリックなし		
	キーを選択...		

③ ダイアログが表示されるので、割り当てるキーを選択します。

コントローラー - 見るマウス

ボタン: ボタン 1

修飾キー(M): (なし)

キー(K): Space

OK キャンセル

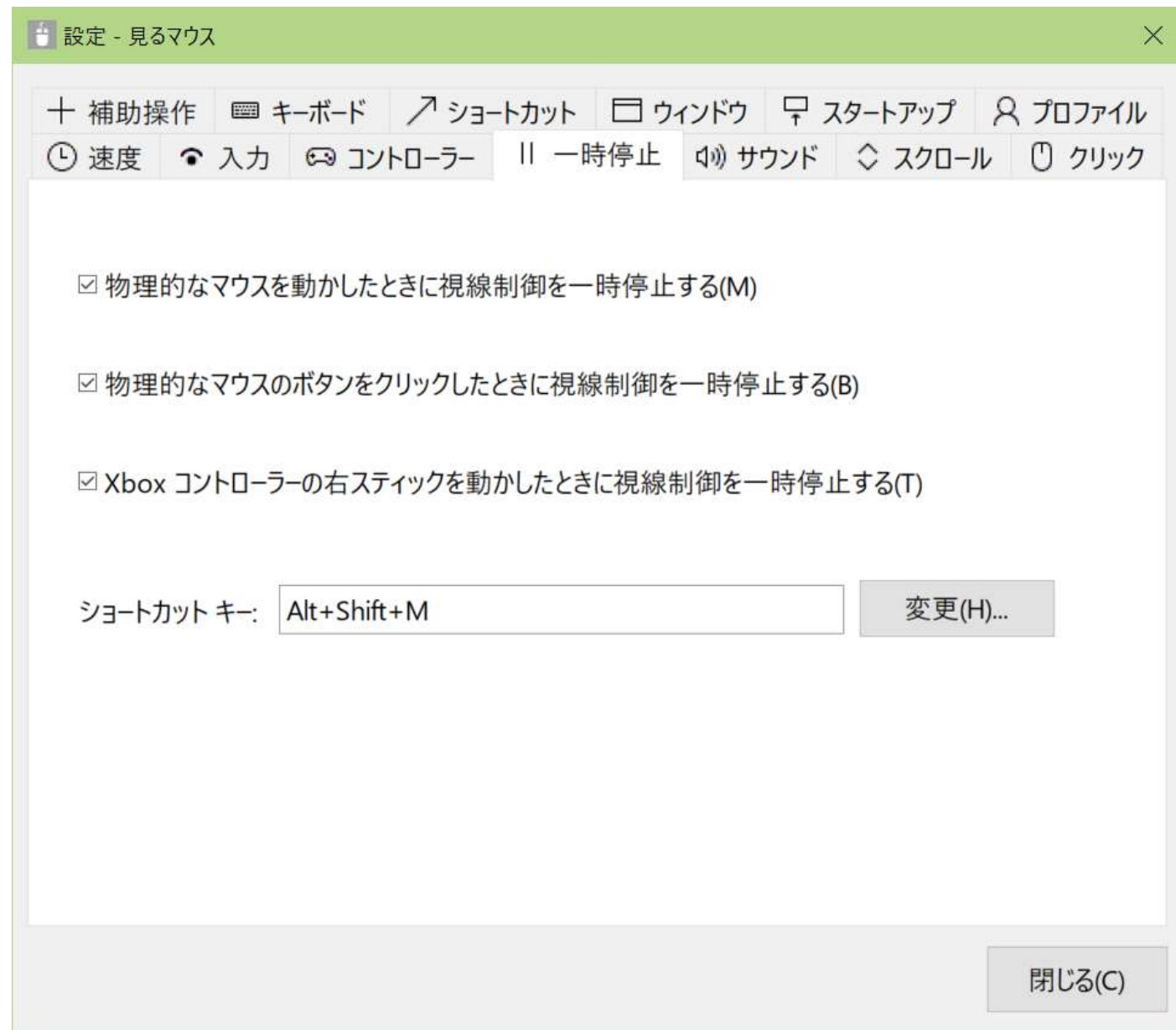
② 一覧から [キーを選択...] を選択します。

④ [OK] ボタンを押します。この例では ボタン 1 を押すと、Space キーが入力されるようになります。

# 見るマウスの設定 - 一時停止



設定画面の [一時停止] タブで、実際のマウスを操作したときに視線追跡を一時停止するかどうかと、一時停止のためのショートカット キーを変えることができます。



# 見るマウスの設定 - サウンド



設定画面の [サウンド] タブで、クリックしたときに音を鳴らすかまたはテキストを読み上げるかどうかと、テキストを読み上げる音声を変えることができます。

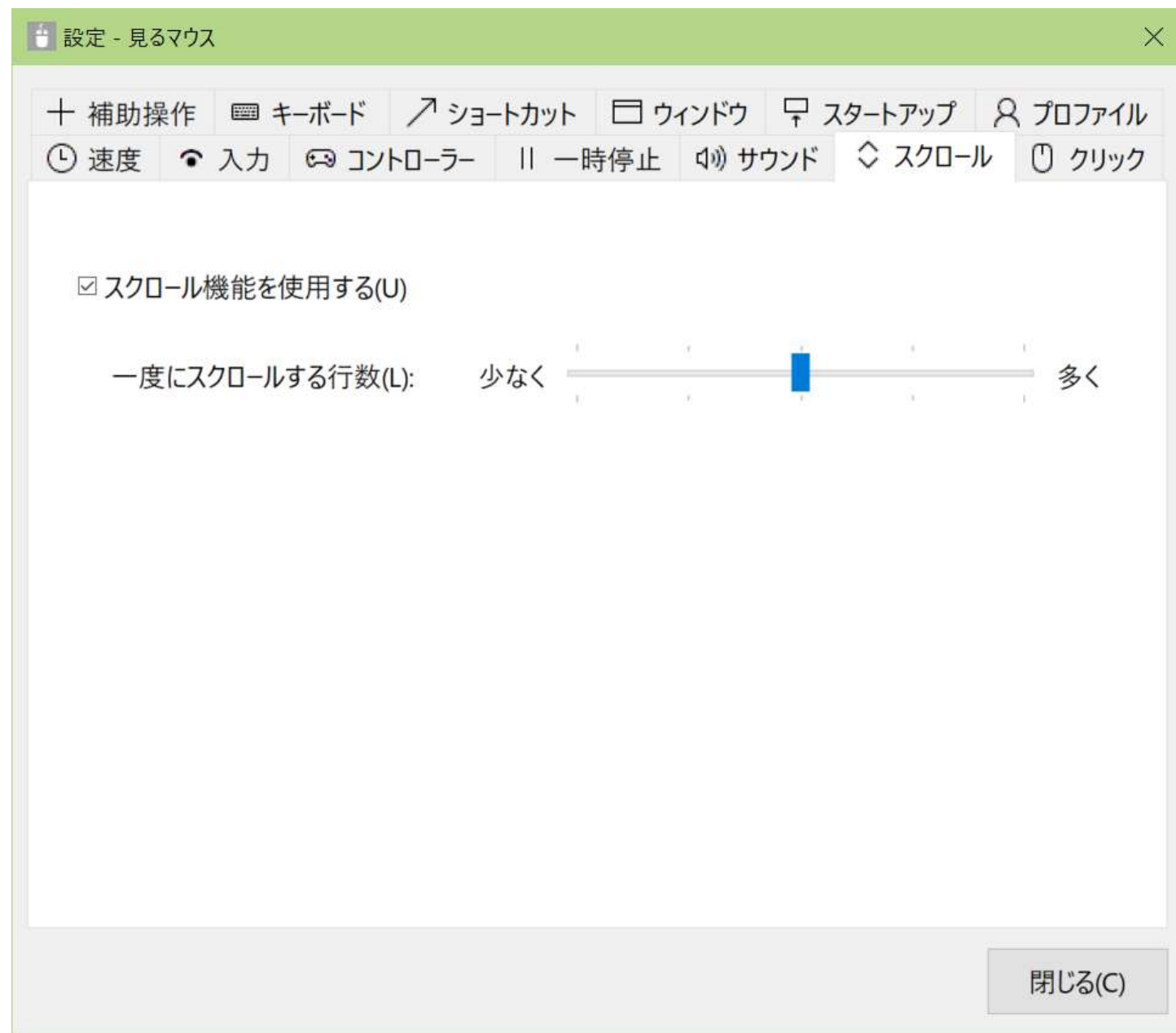


※ Windows 7 で日本語の音声を使用するには、[Microsoft Speech Platform Runtime](#) と [MSSpeech\\_TTS\\_ja-JP\\_Haruka.msi](#) を別途インストールしてください。

# 見るマウスの設定 - スクロール



設定画面の [スクロール] タブで、スクロール機能を使用するかどうかと、スクロール量を変えることができます。

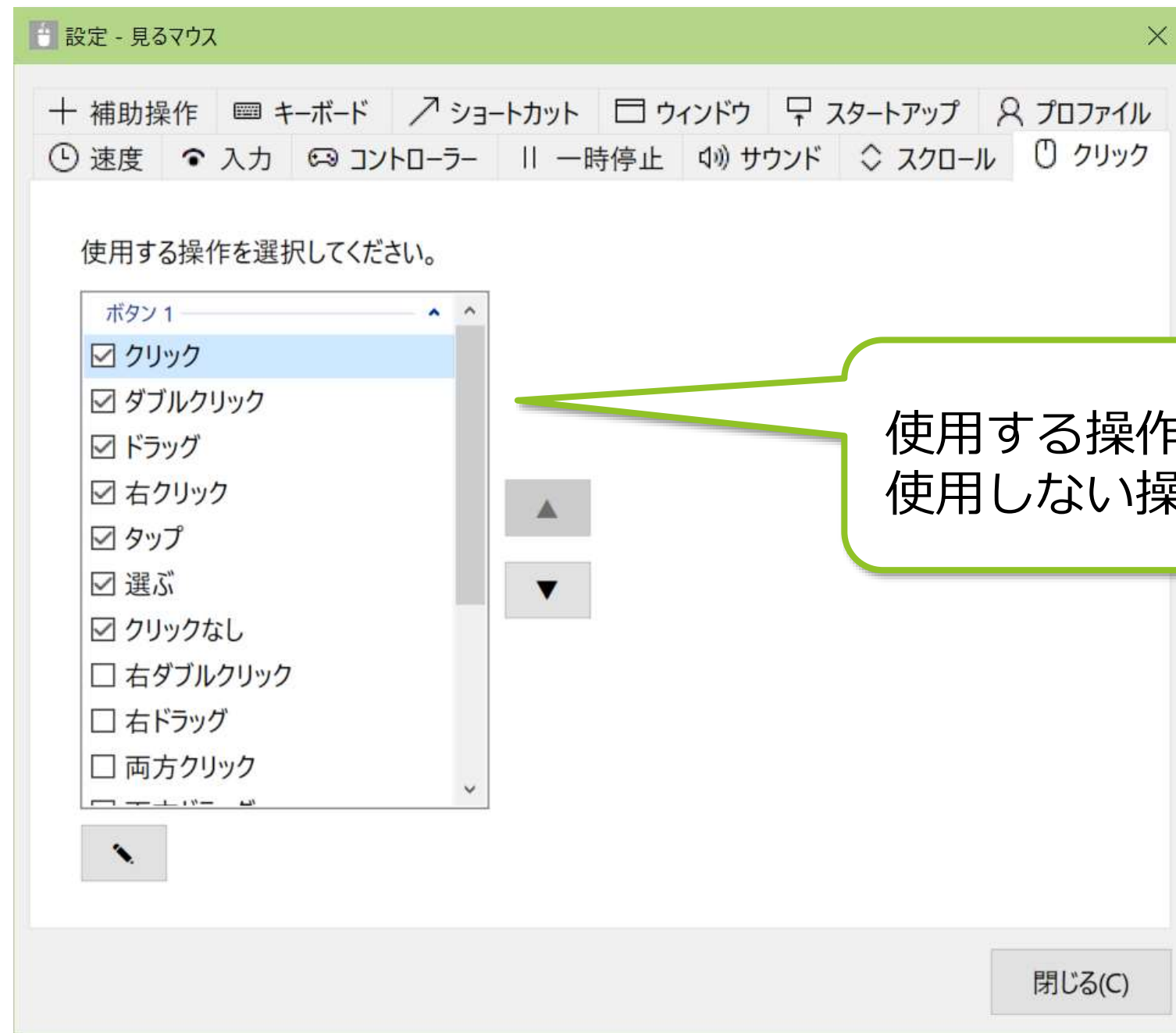


※ スクロール機能を使用する設定の場合、Ctrl キーまたは Shift キーを押している間はスクロールしません。

# 見るマウスの設定 - クリック操作



設定画面の [クリック] タブで、ウィンドウの左端のボタンについて、特定のクリック操作のみを使うように変更することができます。

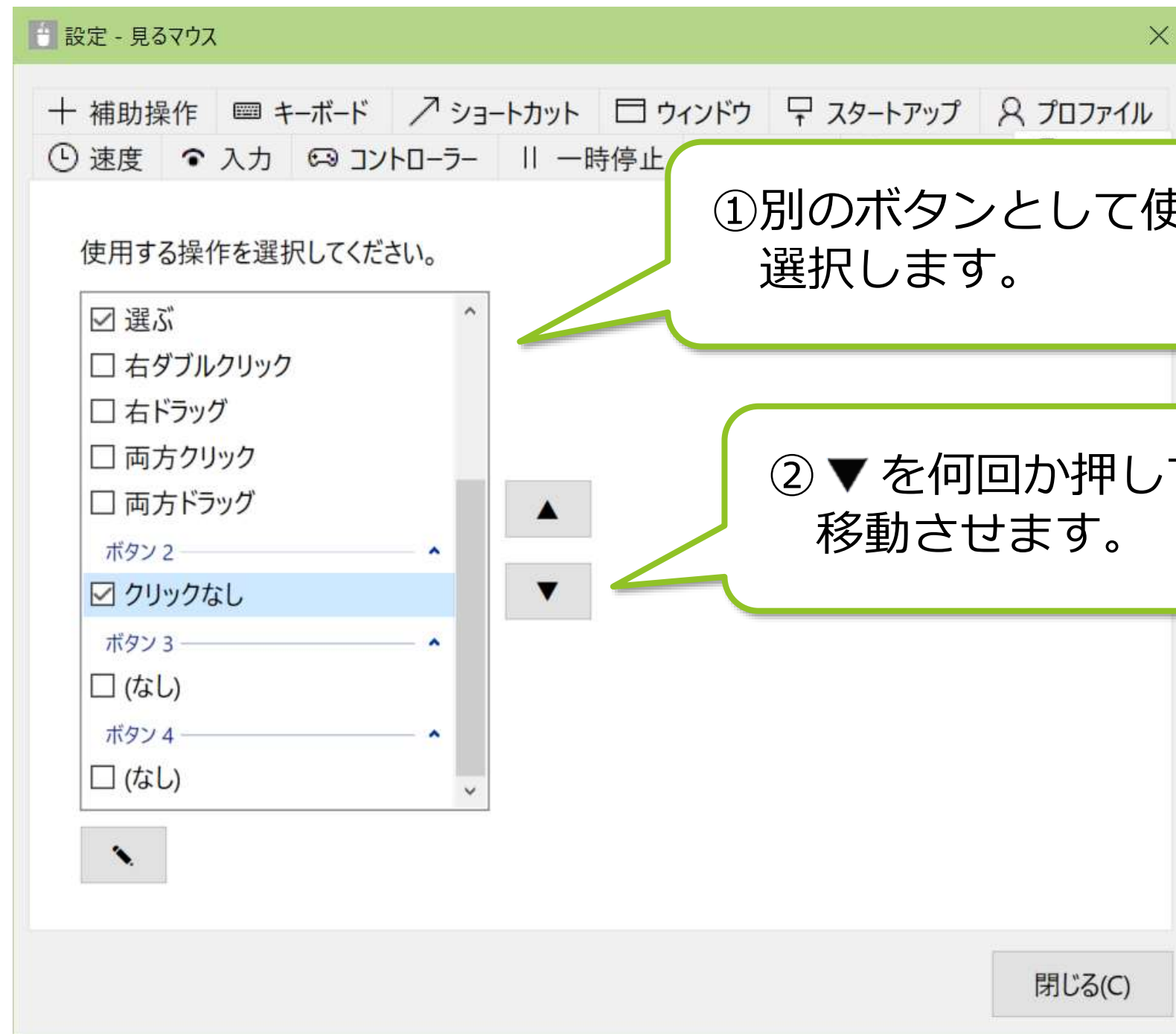


使用する操作にチェックを付けます。  
使用しない操作はチェックを外します。

# 見るマウスの設定 - クリック操作



ウィンドウの左端のクリック操作ボタンは、最大 4 つまで増やすことができます。



①別のボタンとして使用したい操作を選択します。

②▼を何回か押して [ボタン 2] の下へ移動させます。

# 見るマウスの設定 - クリック操作



(続き)



- ③ウィンドウにボタンが表示されて、左端のボタンと同様に使用することができます。
- ②で [ボタン 3]、[ボタン 4] にも設定することで、最大 4 つまでクリック操作のボタンを増やすことができます。



# 見るマウスの設定 - クリック操作



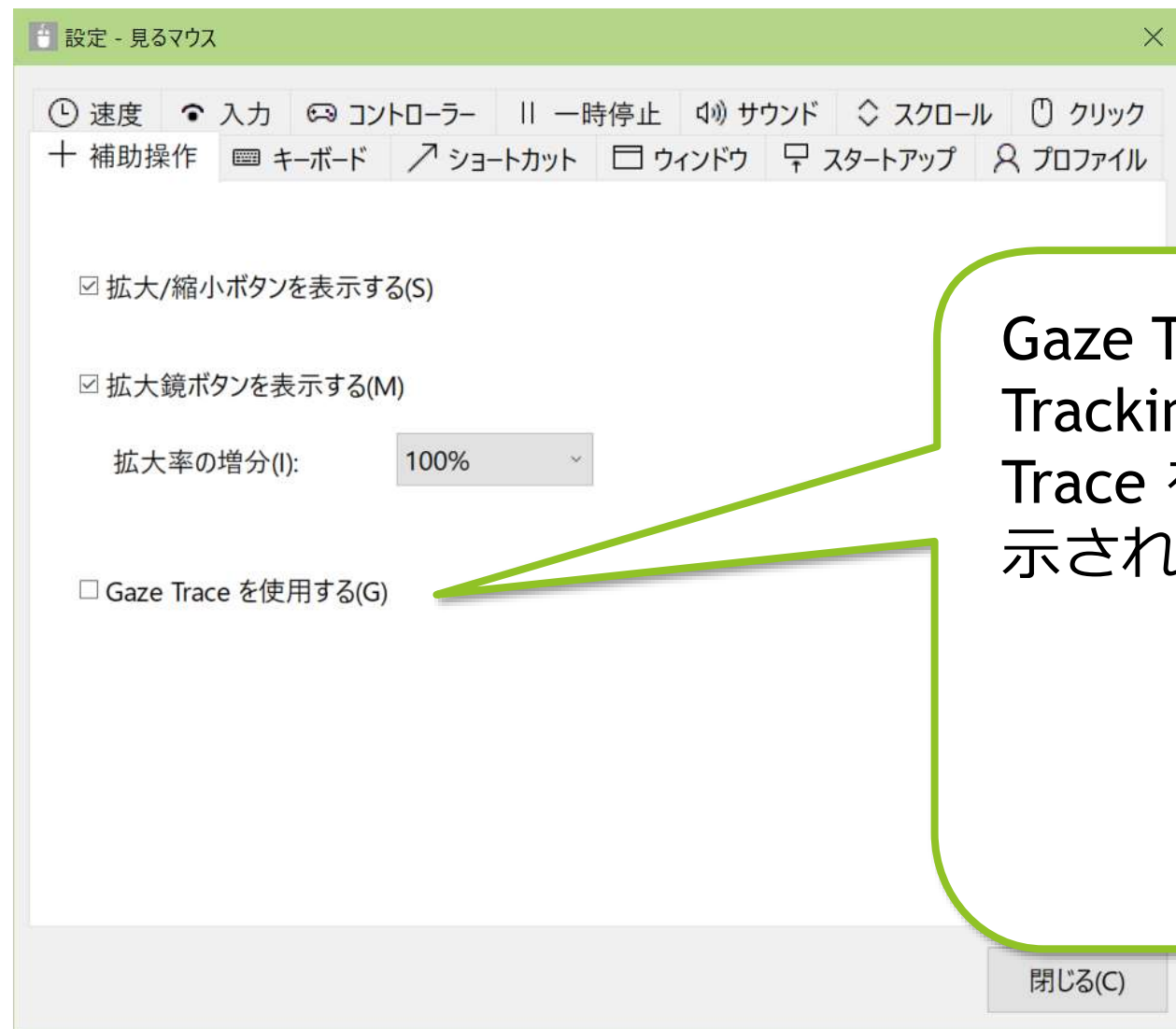
クリック操作には、ショートカット キーを割り当てることができます。

※ 選択したキーによっては割り当てられない場合があります。その場合、④の [OK] ボタンは押せなくなりますので、別のキーを選択してください。

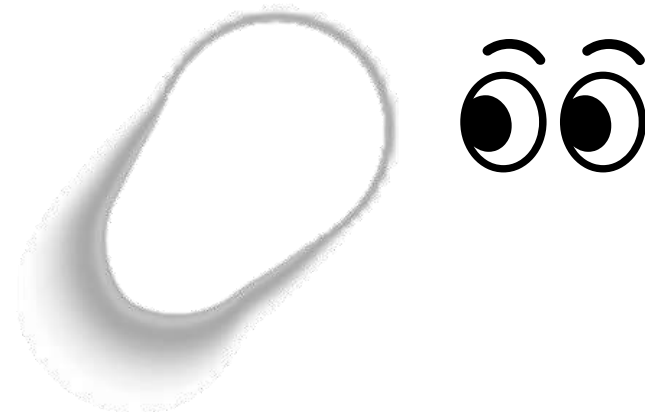
# 見るマウスの設定 - 補助操作



設定画面の [補助操作] タブで、ウィンドウに [拡大] [縮小] ボタンや [拡大鏡] ボタンを表示するかどうかと、拡大鏡の拡大率、及び Gaze Trace を使用するかどうかを変えることができます。



Gaze Trace は Tobii Experience と Tobii Eye Tracking Core Software の機能です。Gaze Trace を使用すると、見ている所にバブルが表示されます。

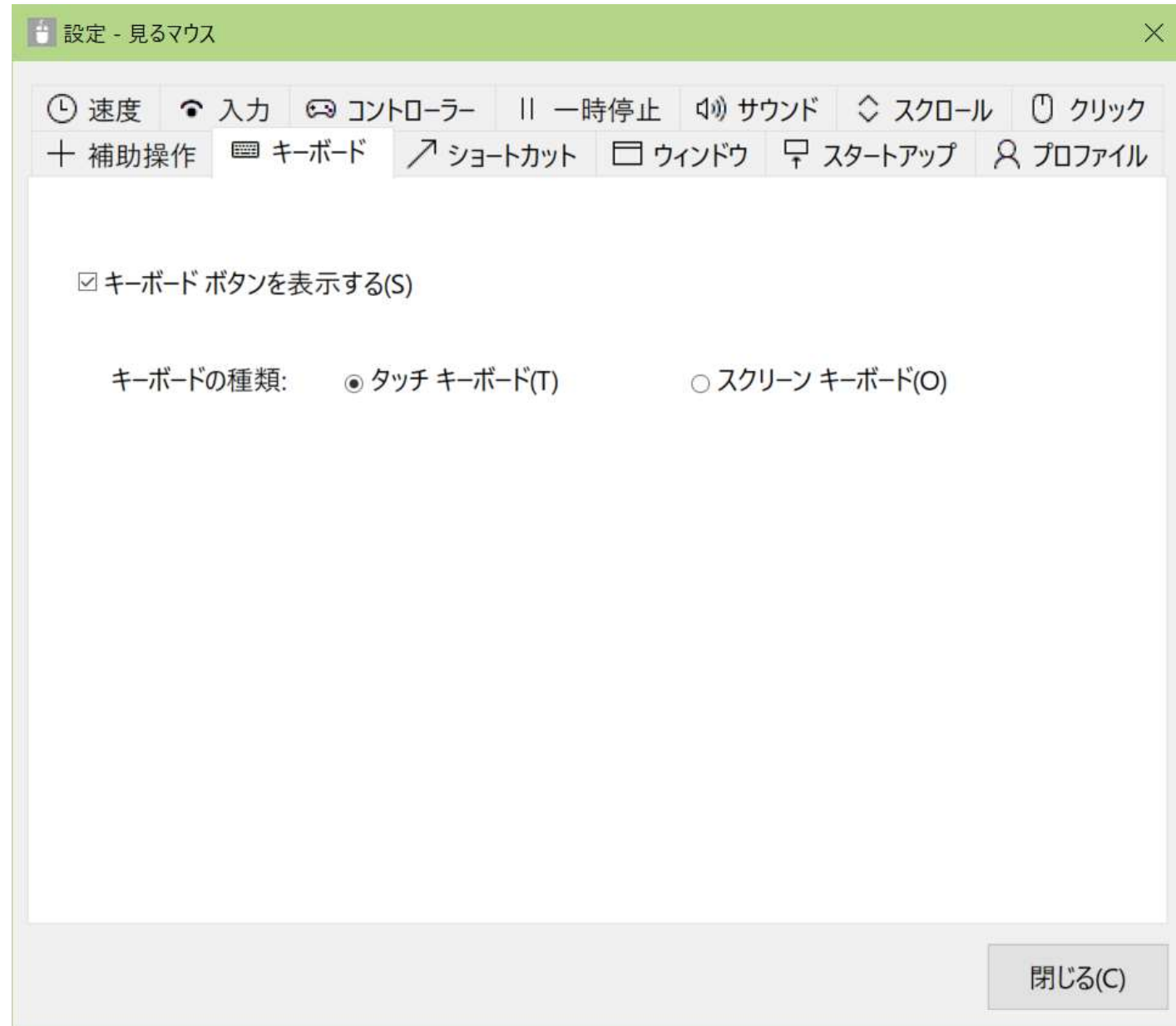


※ Tobii Experience または Tobii Eye Tracking Core Software をインストール済みの場合のみ [Gaze Trace を使用する] を設定できます。

# 見るマウスの設定 - キーボード



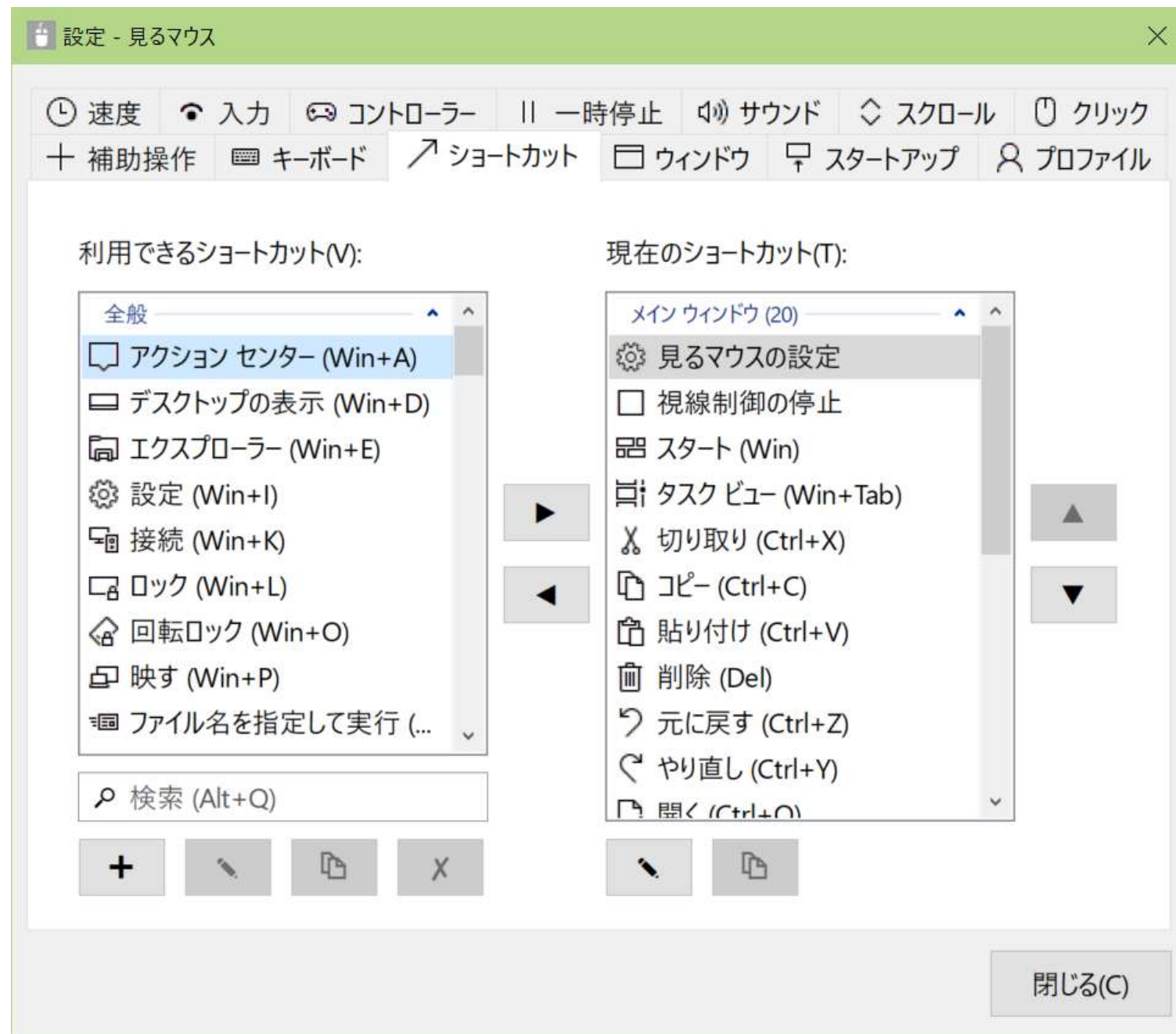
設定画面の [キーボード] タブで、ウィンドウに [キーボード] ボタンを表示するかどうかと、タッチ キーボードとスクリーン キーボードのどちらを使うかを変えることができます。



# 見るマウスの設定 - ショートカット



設定画面の [ショートカット] タブで、ウィンドウに表示するショートカットを変更できます。最大 20 個のショートカットを設定できます。



# 見るマウスの設定 - ショートカット



ショートカットとして、この操作説明書に付録として掲載している 86 種類のショートカット キーを利用できます。

ショートカット キーの他に、見るマウスに関する以下の 10 種類のショートカットも利用できます。

- ▶ 見るマウスの設定
- ▶ キャリブレーション
- ▶ 見るマウスの移動
- ▶ 見るマウスを上に表示
- ▶ 見るマウスを下に表示
- ▶ 見るマウスを隠す
- ▶ 視線制御の停止
- ▶ ポインターを隠す
- ▶ ポインターの移動
- ▶ 見るマウスの終了

※ [見るマウスを上に表示] [見るマウスを下に表示] は、見るマウスのウィンドウを縦に表示している場合 [見るマウスを左に表示] [見るマウスを右に表示] に変わります。

# 見るマウスの設定 - ショートカット



見るマウスに関する 10 種類のショートカットには、ショートカット キーを割り当てることができます。

①見るマウスに関するショートカットを選択します。

②編集ボタンを押します。

③ダイアログが表示されるので、割り当てるキーを選択します。

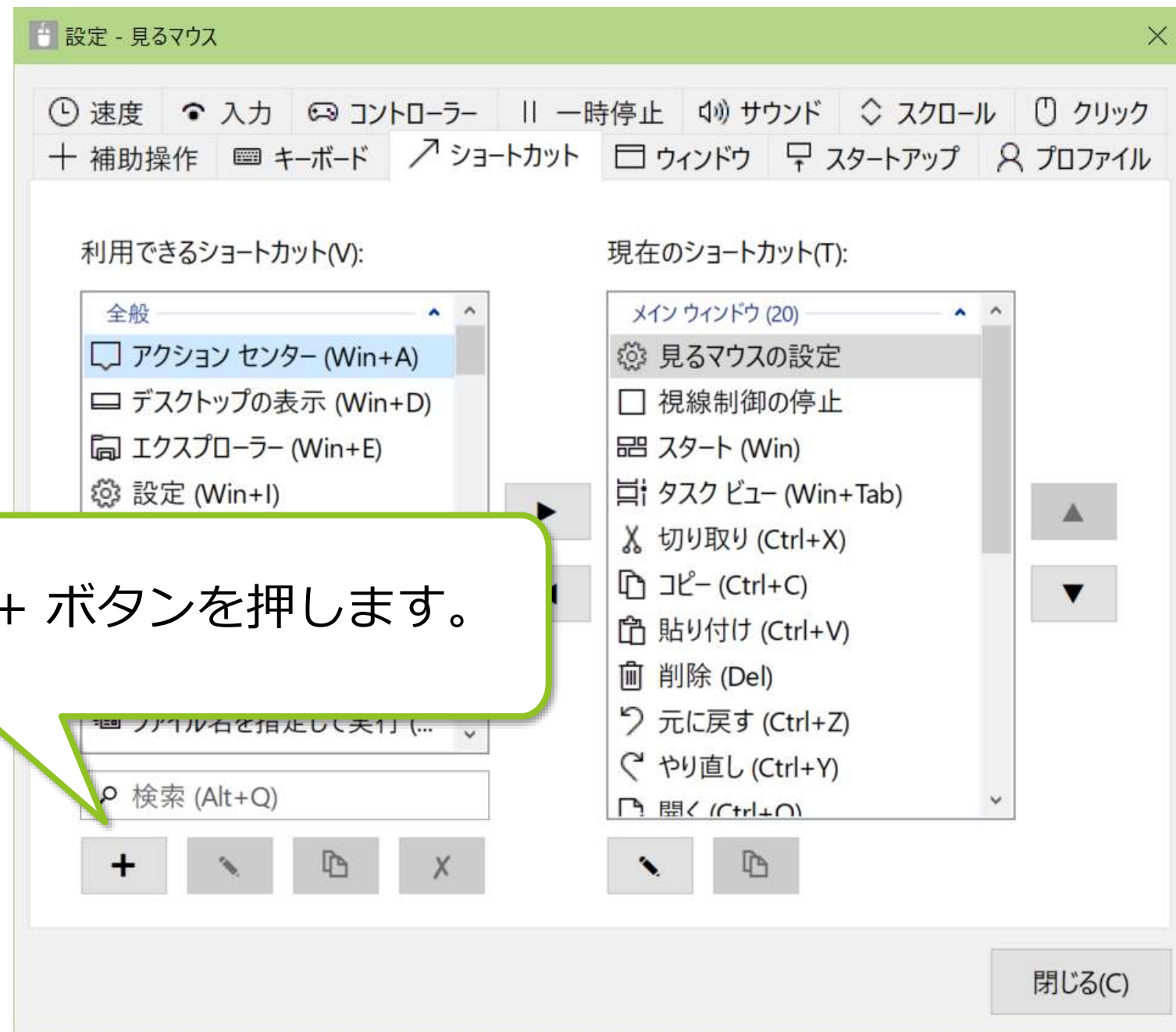
④[OK] ボタンを押します。この例では Ctrl + F1 キーを押すと、見るマウスの設定画面が開くようになります。

※ 選択したキーによっては割り当てられない場合があります。その場合、④の [OK] ボタンは押せなくなりますので、別のキーを選択してください。

# 見るマウスの設定 - 独自のショートカットの追加



独自にショートカット キーを最大 20 個まで追加することができます。



① + ボタンを押します。

# 見るマウスの設定 - 独自のショートカットの追加



(続き)

②ダイアログが表示されるので、名前を入力し、[ショートカットキー]を選択します。

③キーを選択します。

④[表示] タブでショートカット ボタンの色とアイコンを設定します。

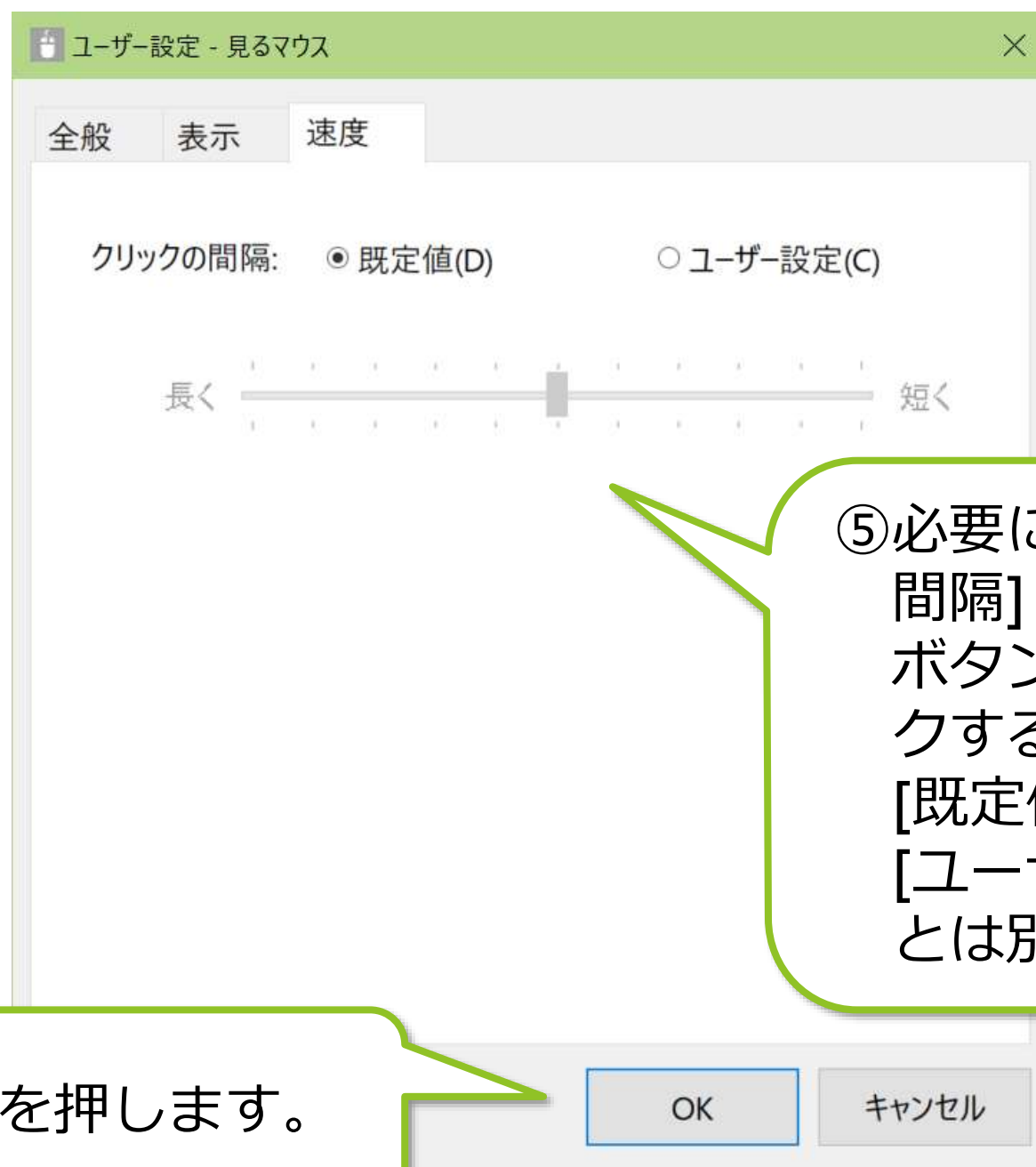
※ [名前] には、後述⑧のウィンドウに表示するための短い文字列を設定してください。



# 見るマウスの設定 - 独自のショートカットの追加



(続き)



⑤必要に応じて、[速度] タブで [クリックの間隔] を設定します。このショートカットボタンをどのくらいの間見続けたらクリックするかの設定です。  
[既定値] は本書 P.38 と同じ間隔です。  
[ユーザー設定] を選択すると、本書 P.38 とは別の間隔を設定することができます。

⑥[OK] を押します。

# 見るマウスの設定 - 独自のショートカットの追加



(続き)

⑦[利用できるショートカット]に追加されます。▶ボタンを押して[現在のショートカット]へ移動させます。



# 見るマウスの設定 - 独自のショートカットの追加

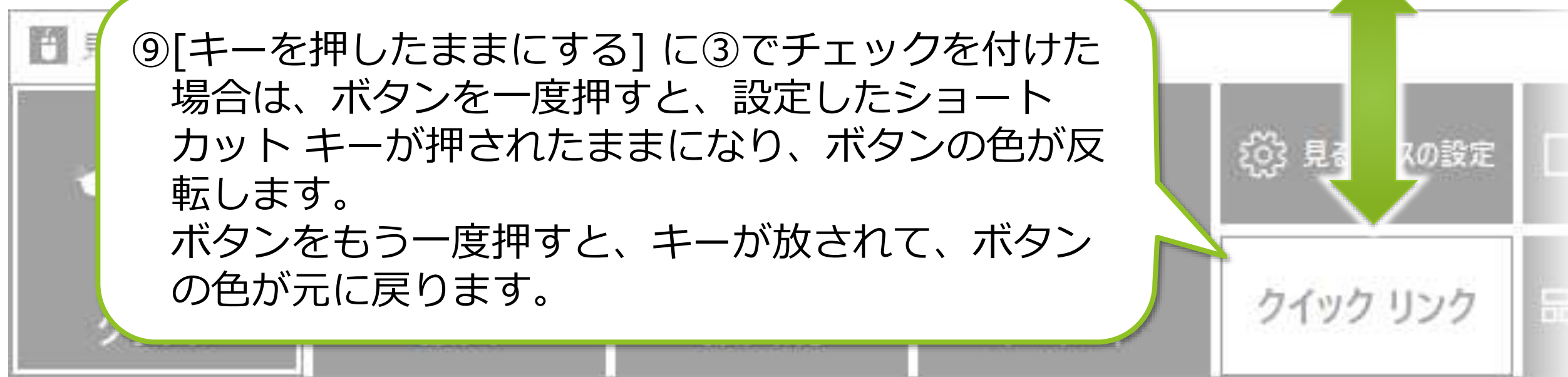


(続き)

⑧ウィンドウに表示されて、他のショートカットと同様に操作できます。



⑨[キーを押したままにする] に③でチェックを付けた場合は、ボタンを一度押すと、設定したショートカット キーが押されたままになり、ボタンの色が反転します。  
ボタンをもう一度押すと、キーが放されて、ボタンの色が元に戻ります。



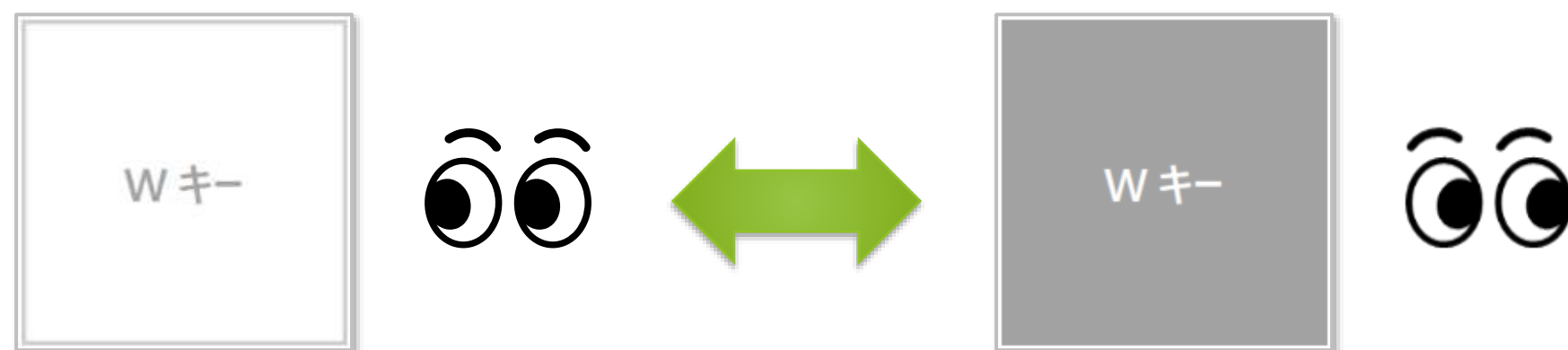
※ 実際のキーを押したままにした場合と異なり、キーが繰り返し入力されることはありません。



## 見るマウスの設定 - 見たときにのみキーを押す

本書 P.64 の画面で [ショートカット ボタンを見たときにのみキーを押す] にチェックを付けた場合は、本書 P.39 の入力方式の設定に関わらず、そのショートカット ボタンを見たときにのみキーが押されます。

更に [キーを押したままにする] にもチェックを付けた場合は、ショートカット ボタンを見ている間はキーが押されたままになり、ショートカット ボタンから視線を外すとキーが放されます。



[ショートカット ボタンを見たときにのみキーを押す] にチェックを付けて、[キーを押したままにする] にチェックを付けなかった場合は、そのショートカット ボタンを見るとキーが押されてすぐに放されます。

# 見るマウスの設定 - 定型句の追加



任意の定型句を設定して、テキスト エディター等へ入力したり、音声で読み上げたりすることもできます。

① + ボタンを押します。

②ダイアログが表示されるので、名前を入力し、[定型句] を選択します。

③定型句を入力し、入力か読み上げかを選択して、[OK] を押します。

※ [名前] には、後述⑤のウィンドウに表示するための短い文字列を設定してください。

# 見るマウスの設定 - 定型句の追加



(続き)

④[利用できるショートカット]に追加されます。▶ボタンを押して[現在のショートカット]へ移動させます。

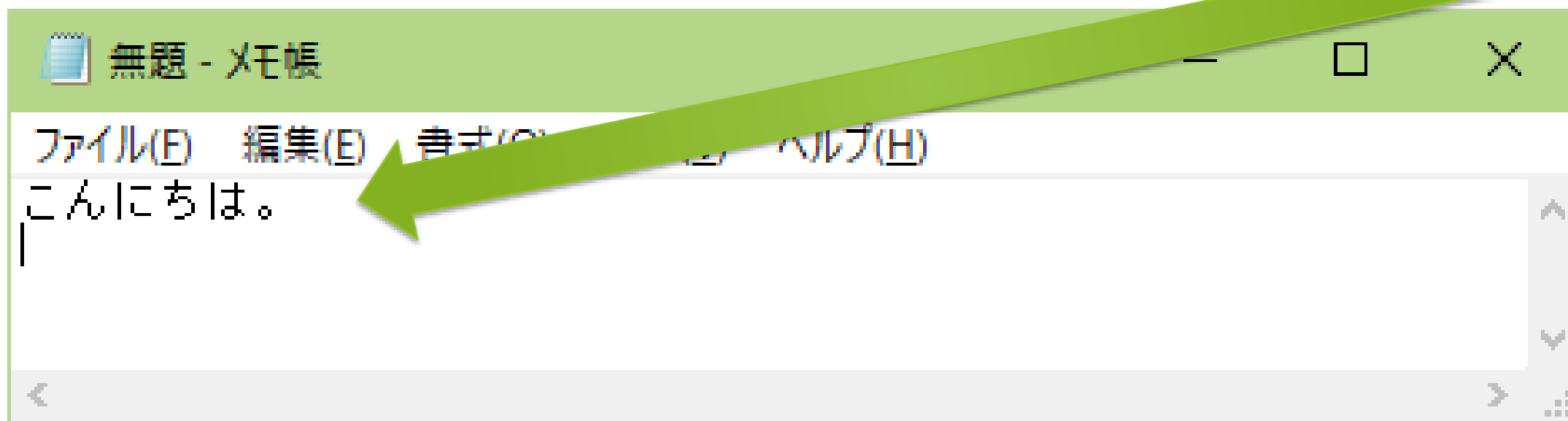
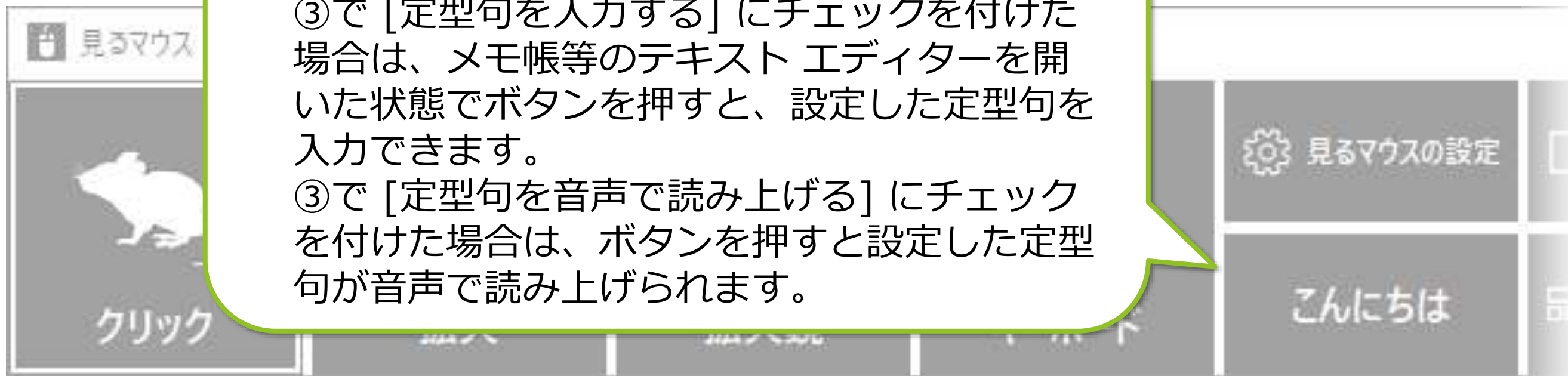


# 見るマウスの設定 - 定型句の追加



(続き)

- ⑤ウィンドウにボタンが表示されます。  
③で [定型句を入力する] にチェックを付けた場合は、メモ帳等のテキスト エディターを開いた状態でボタンを押すと、設定した定型句を入力できます。  
③で [定型句を音声で読み上げる] にチェックを付けた場合は、ボタンを押すと設定した定型句が音声で読み上げられます。



# 見るマウスの設定 - 他のアプリのショートカット



任意のアプリを設定して、起動することもできます。

The image shows two overlapping windows from the Windows Settings application. The left window is titled '設定 - 見るマウス' (Settings - Look Mouse) and shows the 'ショートカット' (Shortcuts) section. A callout points to the '+' button at the bottom left of the '利用できるショートカット(V):' list. The right window is titled 'ユーザー設定 - 見るマウス' (User Settings - Look Mouse) and shows the '全般' (General) tab. A callout points to the '名前(N):' field, which contains 'ペイント' (Paint), and the '種類(Y):' dropdown menu, which is set to 'アプリ' (App). Another callout points to the 'リンク先(T):' field, which contains 'ows¥System32¥mspaint.exe', and the '参照(B)...' button. The 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons are visible at the bottom of the right window.

① + ボタンを押します。

②ダイアログが表示されるので、名前を入力し、[アプリ] を選択します。

③[リンク先] に起動するアプリのパスを設定して、[OK] を押します。

※ [名前] には、後述⑤のウィンドウに表示するための短い文字列を設定してください。

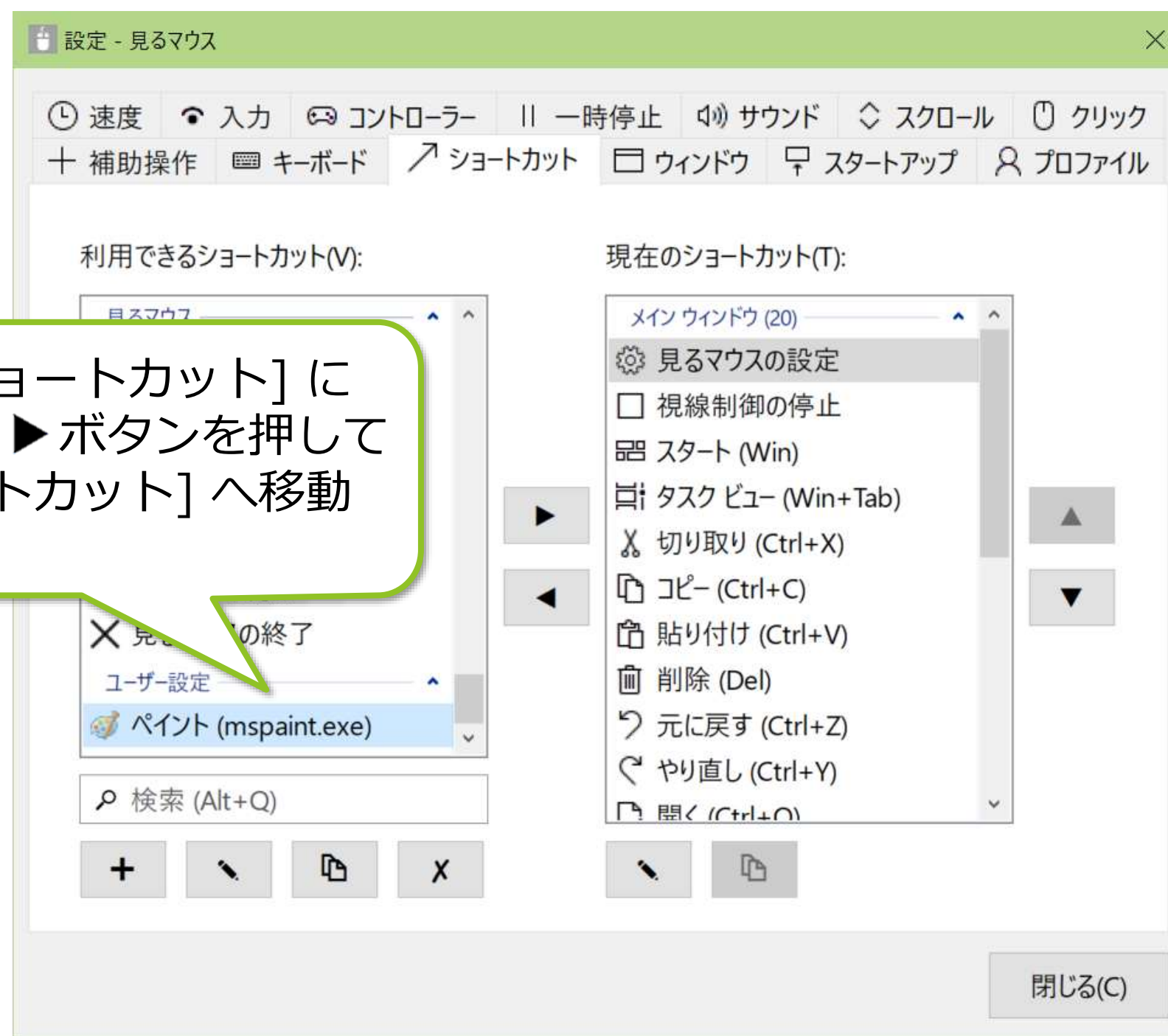


# 見るマウスの設定 - 他のアプリのショートカット



(続き)

④[利用できるショートカット]に追加されます。▶ボタンを押して[現在のショートカット]へ移動させます。

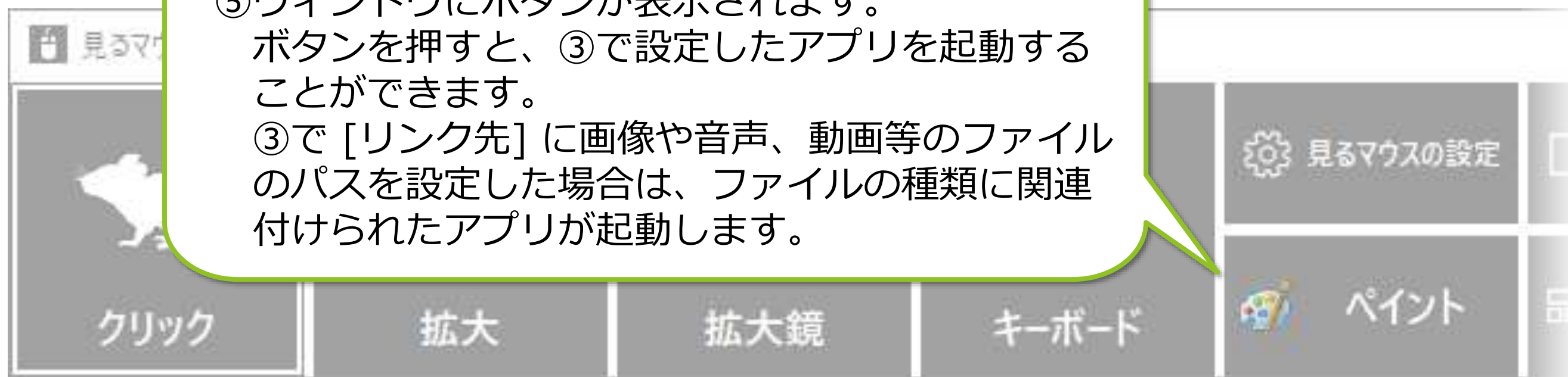


# 見るマウスの設定 - 他のアプリのショートカット



(続き)

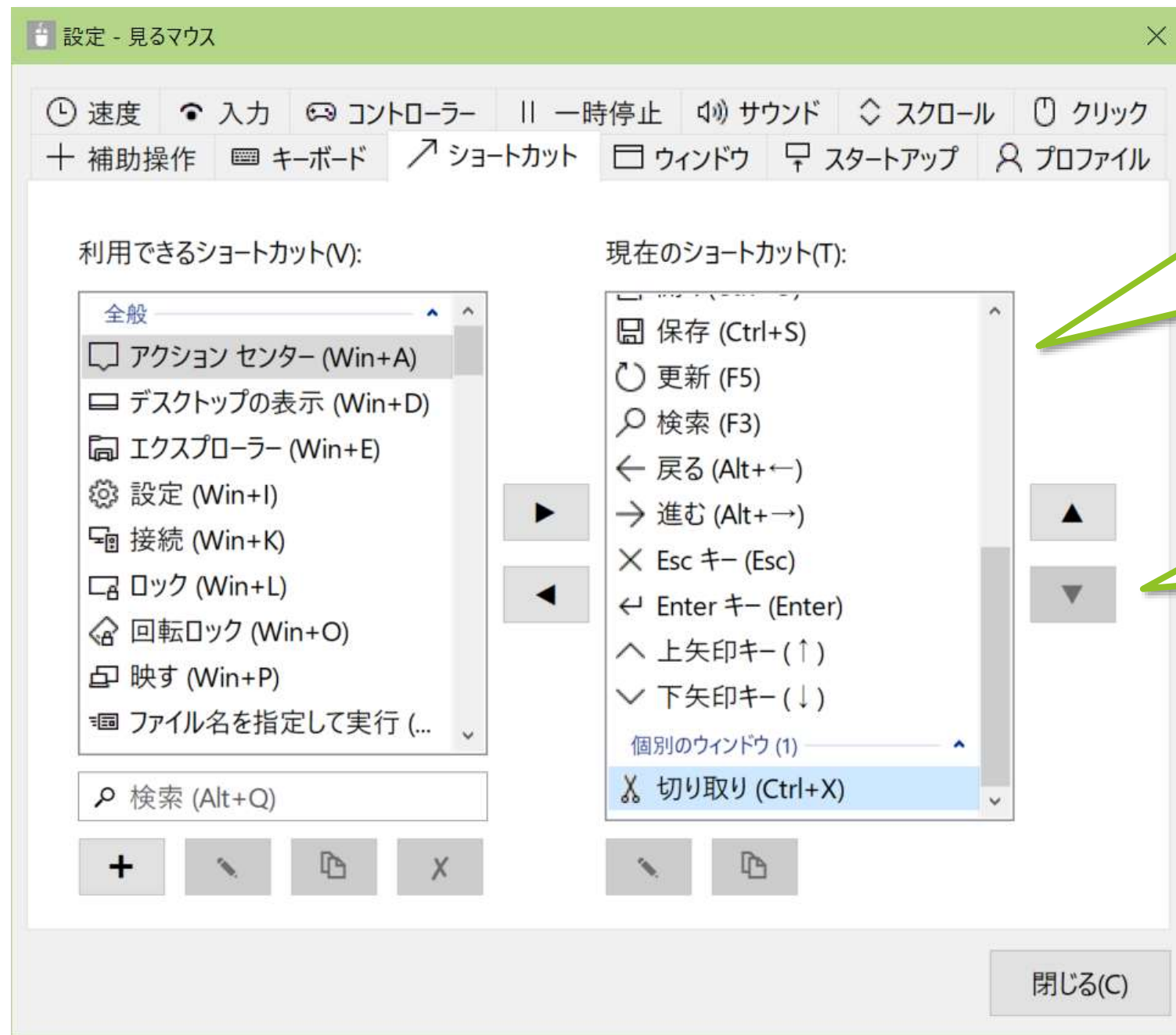
- ⑤ ウィンドウにボタンが表示されます。  
ボタンを押すと、③で設定したアプリを起動することができます。  
③で [リンク先] に画像や音声、動画等のファイルのパスを設定した場合は、ファイルの種類に関連付けられたアプリが起動します。



# 見るマウスの設定 - 個別のウィンドウ



ショートカットを個別のウィンドウに表示することもできます。最大 20 個のショートカットを個別のウィンドウに設定できます。



① 個別のウィンドウに表示させたいショートカットを [現在のショートカット] から選択します。

② ▼ を何回か押して [個別のウィンドウ] の下へ移動させます。

# 見るマウスの設定 - 個別のウィンドウ



(続き)



③デスクトップ画面に個別のウィンドウとしてショートカット ボタンが表示されます。

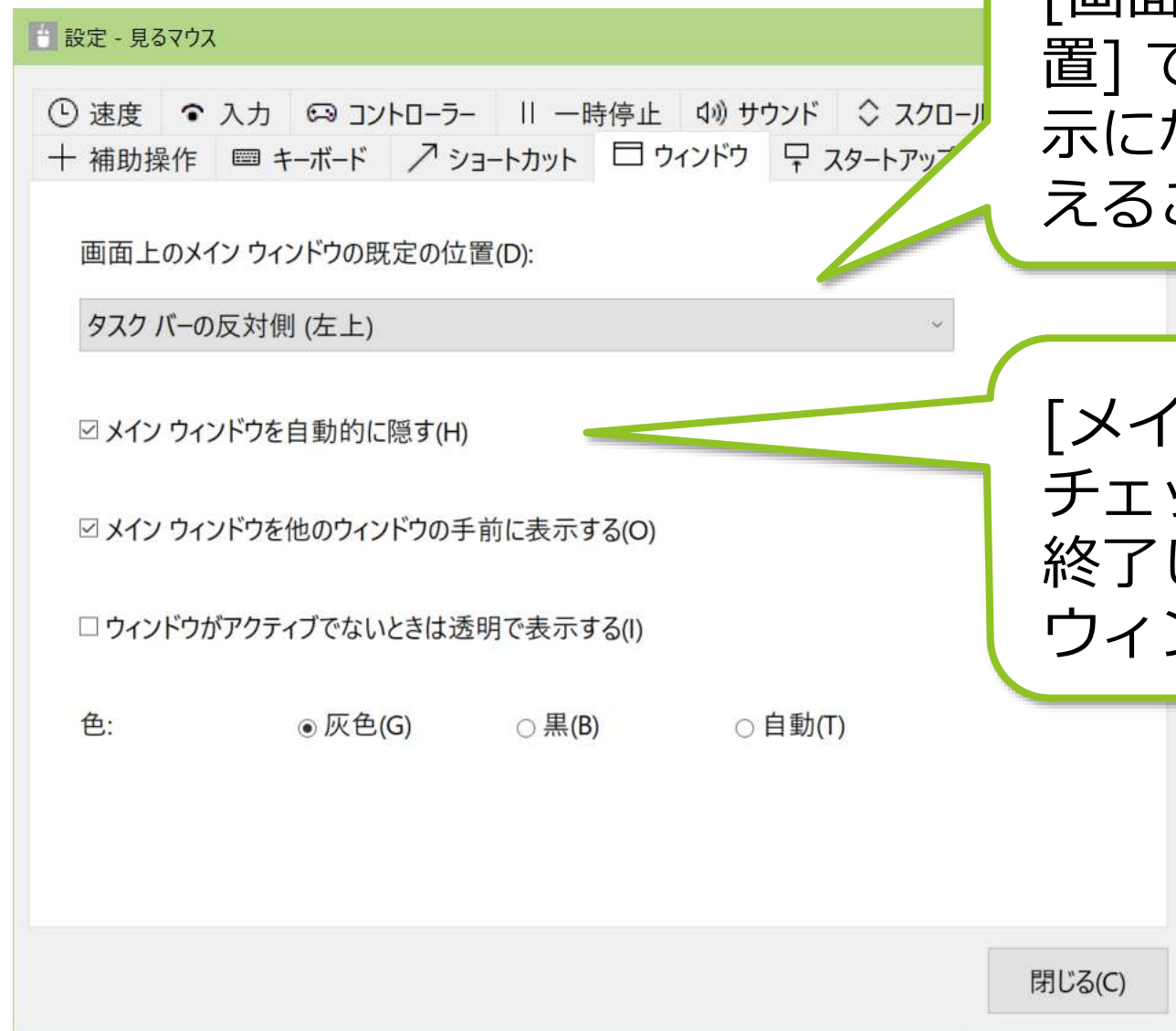
④個別のウィンドウはドラッグしてデスクトップ画面上で移動できます。個別のウィンドウの端をドラッグすると大きさを変更できます。



# 見るマウスの設定 - ウィンドウの表示



設定画面の [ウィンドウ] タブで、ウィンドウの表示位置と、ウィンドウを手前に表示するかどうか、自動的に非表示または透明にするか、及びウィンドウの色を変えることができます。



[画面上的メインウィンドウの既定の位置] で、見るマウスのウィンドウが非表示になったときに再表示させる位置を変えることができます。

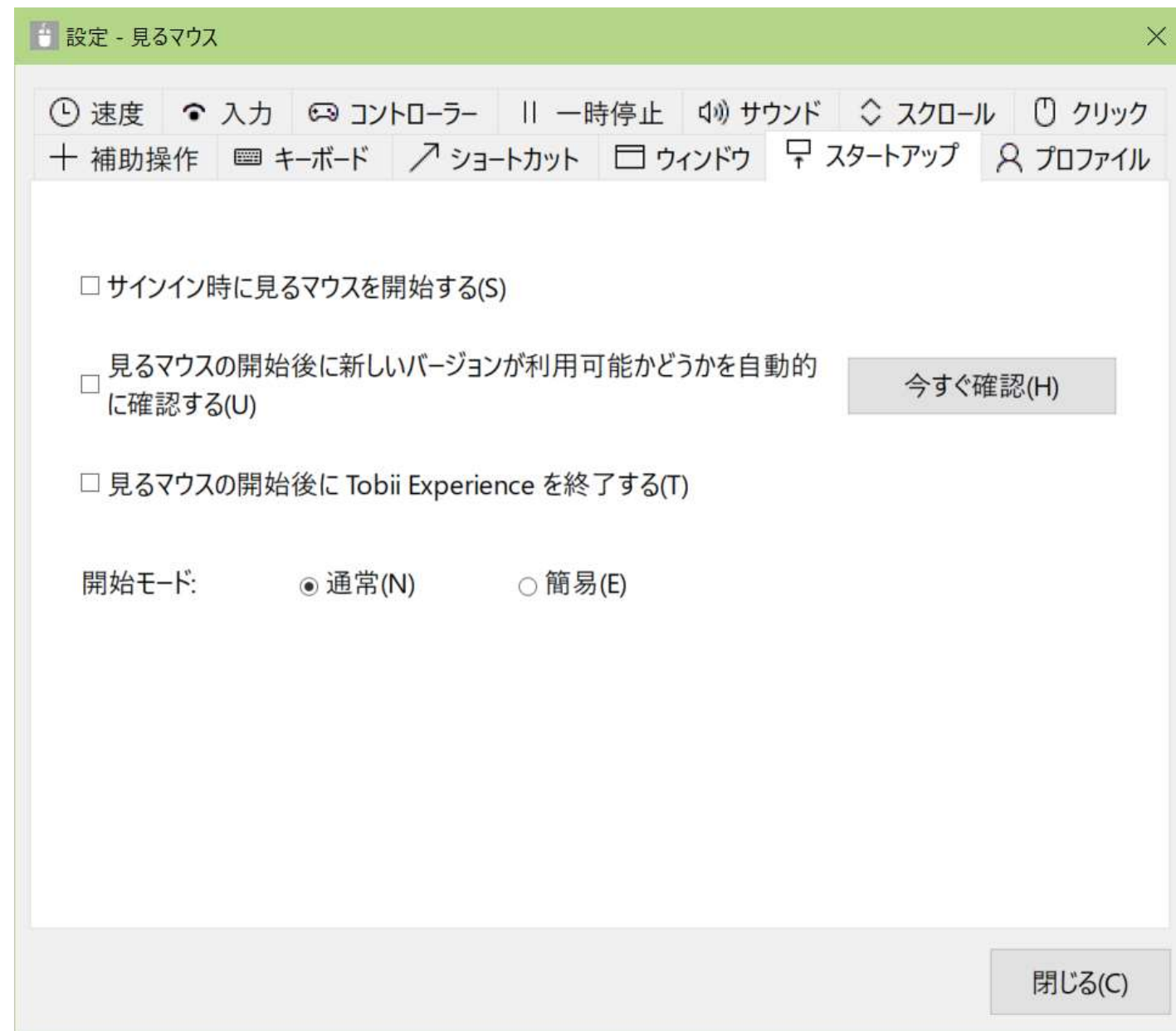
[メインウィンドウを自動的に隠す] のチェックを外した場合は、見るマウスを終了したときの位置で、次回起動時にウィンドウが表示されます。

※ ハイコントラストが有効な場合、色の設定は変更されません。

# 見るマウスの設定 - 起動方法



設定画面の [スタートアップ] タブで、Windows へサインインしたときに見るマウスを自動的に起動するかどうかと、通知領域の Tobii Experience または Tobii EyeX Interaction を終了するかどうか、及び開始モードを変えることができます。

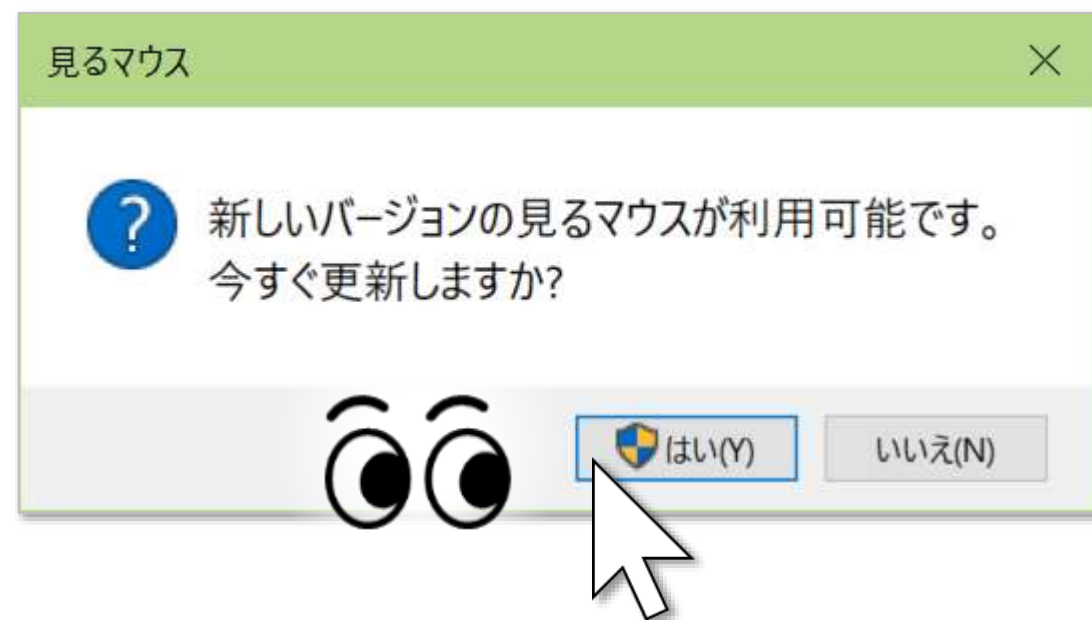


# 見るマウスの設定 - 新しいバージョンの確認



[見るマウスの開始後に新しいバージョンが利用可能かどうかを自動的に確認する]にチェックを付けると、見るマウスを起動したときに自動的にインターネット経由で新しいバージョンを確認します。

見るマウスの新しいバージョンが利用可能な場合は、以下のメッセージが表示されます。更新するには [はい] をクリックします。



- ※ 見るマウスが簡易モードの場合は、自動的な確認を行いません。
- ※ Windows 11, Windows 10, Windows 8.1 で従量制課金接続の場合は、自動的な確認を行いません。

# 見るマウスの設定 - 新しいバージョンの確認



(続き)

ユーザー アカウント制御の画面が表示されるので、[はい] をクリックします。





# 見るマウスの設定 - 新しいバージョンの確認

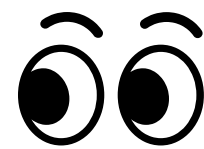
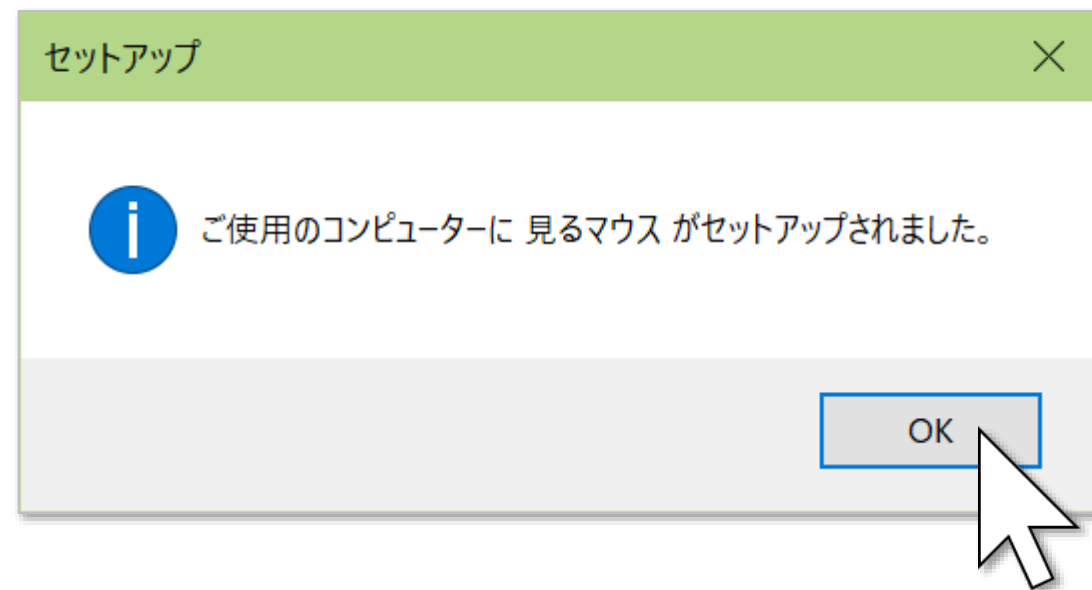


(続き)

新しいバージョンの見るマウスのインストールが自動的に行われます。インストール中は一時的に視線追跡が停止します。

インストールが完了すると、新しいバージョンの見るマウスが自動的に起動して、視線追跡を再開できます。

インストールの最後に以下のメッセージが表示されるので、[OK] をクリックします。



# 見るマウスの設定 - 簡易モード



本書 P.78 の画面で開始モードを [簡易] に設定すると、見るマウスは簡易モードで動作します。簡易モードは、使用可能な機能と画面の表示項目を制限した動作方式です。通常モードと比較して、以下の違いがあります。

- ▶ 簡易モードでは、同じ所を見続けたときにクリックのみを行います。ダブルクリックやドラッグなど、クリック以外の操作はできません。
- ▶ 簡易モードでは、画面に一時停止ボタンのみが表示されます。見るマウスのメインウィンドウや個別のウィンドウは表示されません。



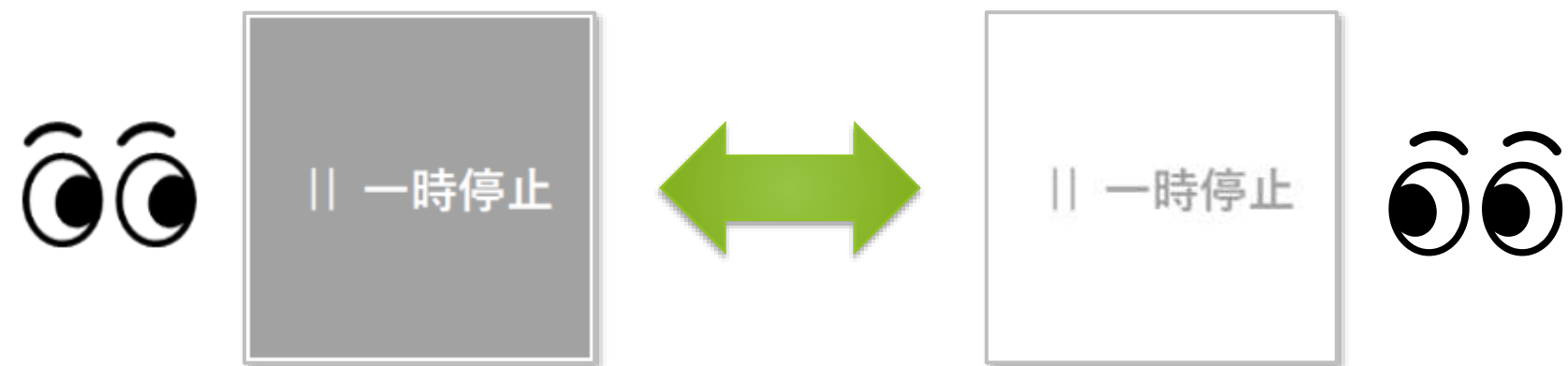
一時停止ボタンはドラッグしてデスクトップ画面上で移動できます。また、一時停止ボタンの端をドラッグすると大きさを変更できます。簡易モードでは視線追跡でドラッグすることができないため、ドラッグするには実際のマウスを使用する必要があります。

# 見るマウスの設定 - 簡易モード




簡易モードでクリック操作を一時停止するには、一時停止ボタンを見続けます。  
するとボタンの色が反転して、クリック操作が一時停止します。

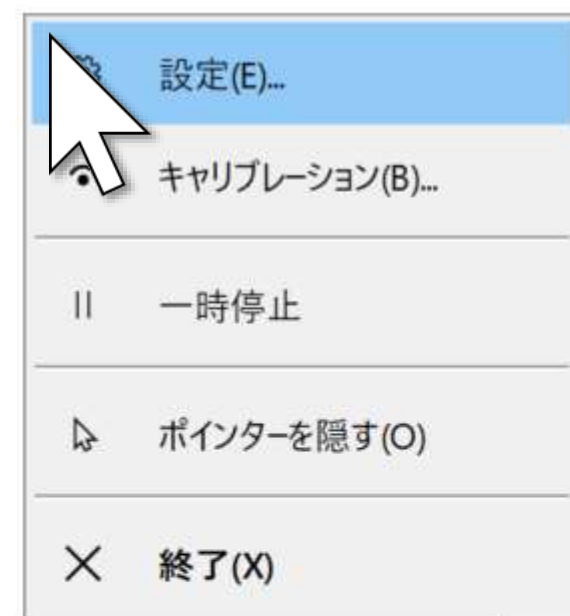
一時停止を解除するには、再度一時停止ボタンを見続けます。




# 見るマウスの設定 - 簡易モード



簡易モードから通常モードへ戻すには、タスクバーの通知領域のアイコン  を見続けて、表示されるメニューから [設定] を選びます。見るマウスの設定画面が表示されるので、本書 P.78 に記載している [スタートアップ] タブへ移動して開始モードを [通常] に設定すると、通常モードへ戻ります。




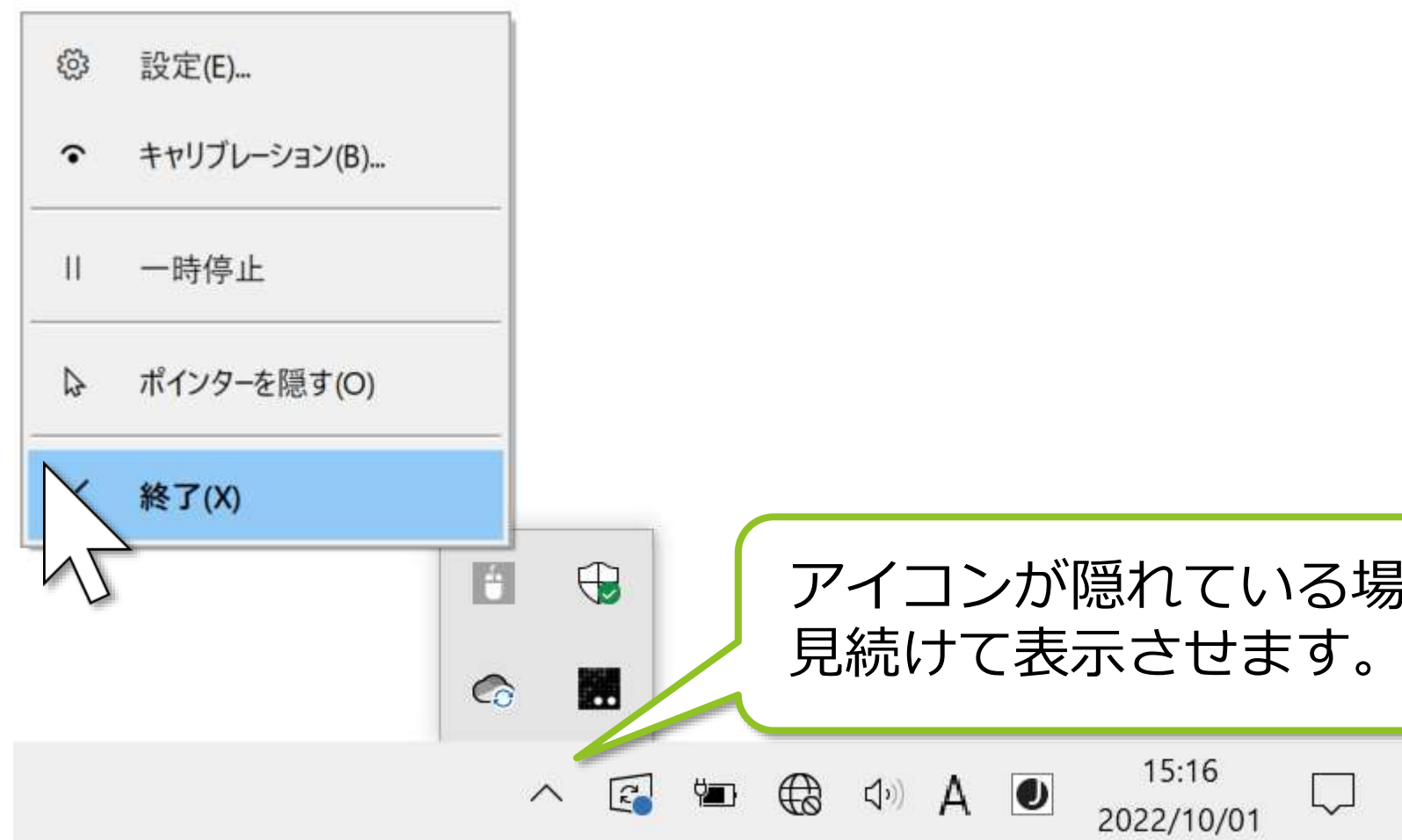
アイコンが隠れている場合は  を見続けて表示させます。



# 見るマウスの設定 - 簡易モード



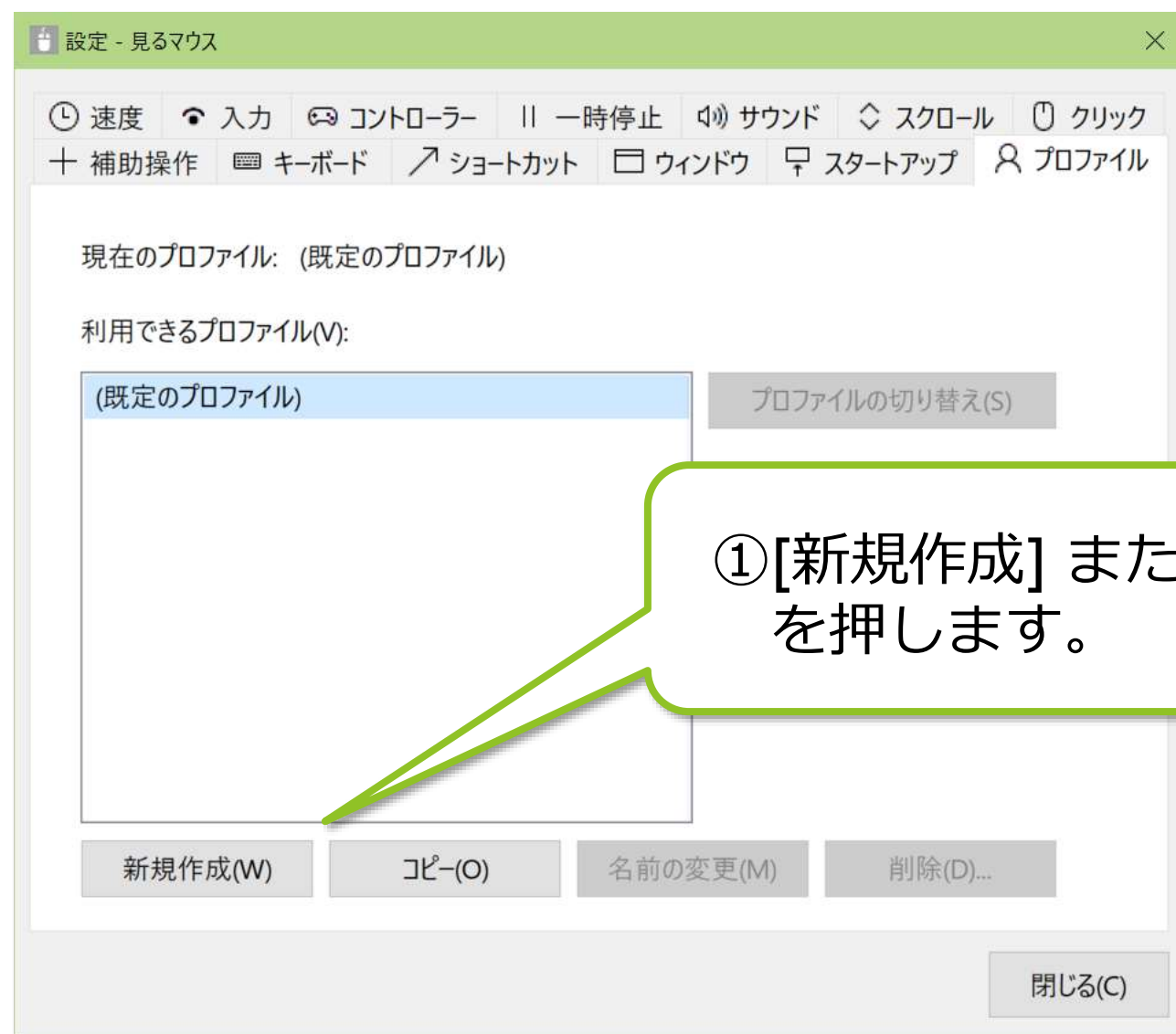
簡易モード中に見るマウスを終了するには、タスクバーの通知領域のアイコン  を見続けて、表示されるメニューから [終了] を選びます。見るマウスを次回起動したときは、簡易モードで起動します。



# 見るマウスの設定 - プロファイル



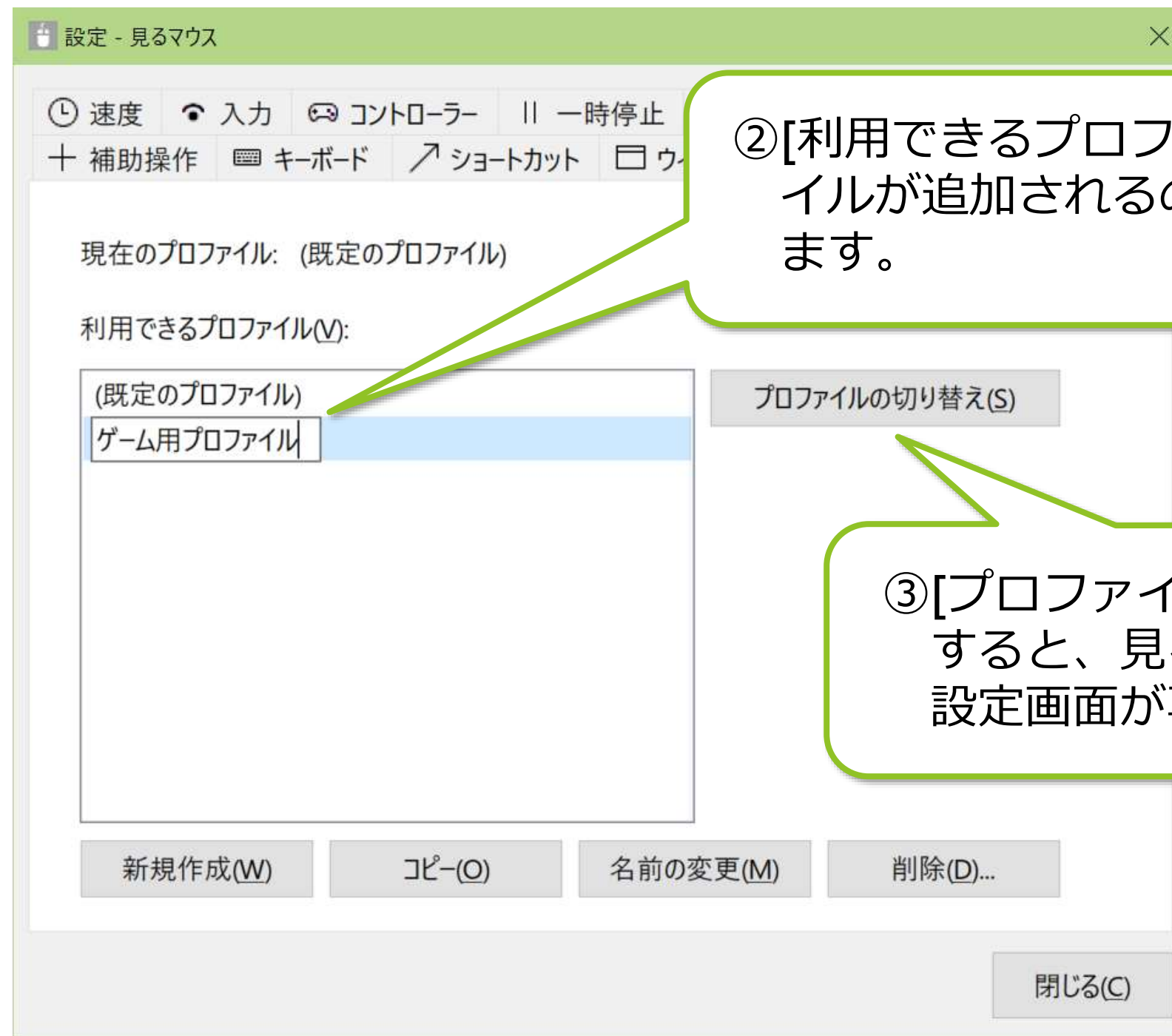
設定画面の [プロファイル] タブで、見るマウスの一連の設定を保存して切り替えることができます。例えば、ゲーム用に好みのショートカットの配置を予めプロファイルとして保存しておき、ゲームをプレイする直前にそのプロファイルへ切り替えることで、保存していた通りにショートカットを素早く配置させることができます。



# 見るマウスの設定 - プロファイル



(続き)



② [利用できるプロファイル] にプロファイルが追加されるので、名前を入力します。

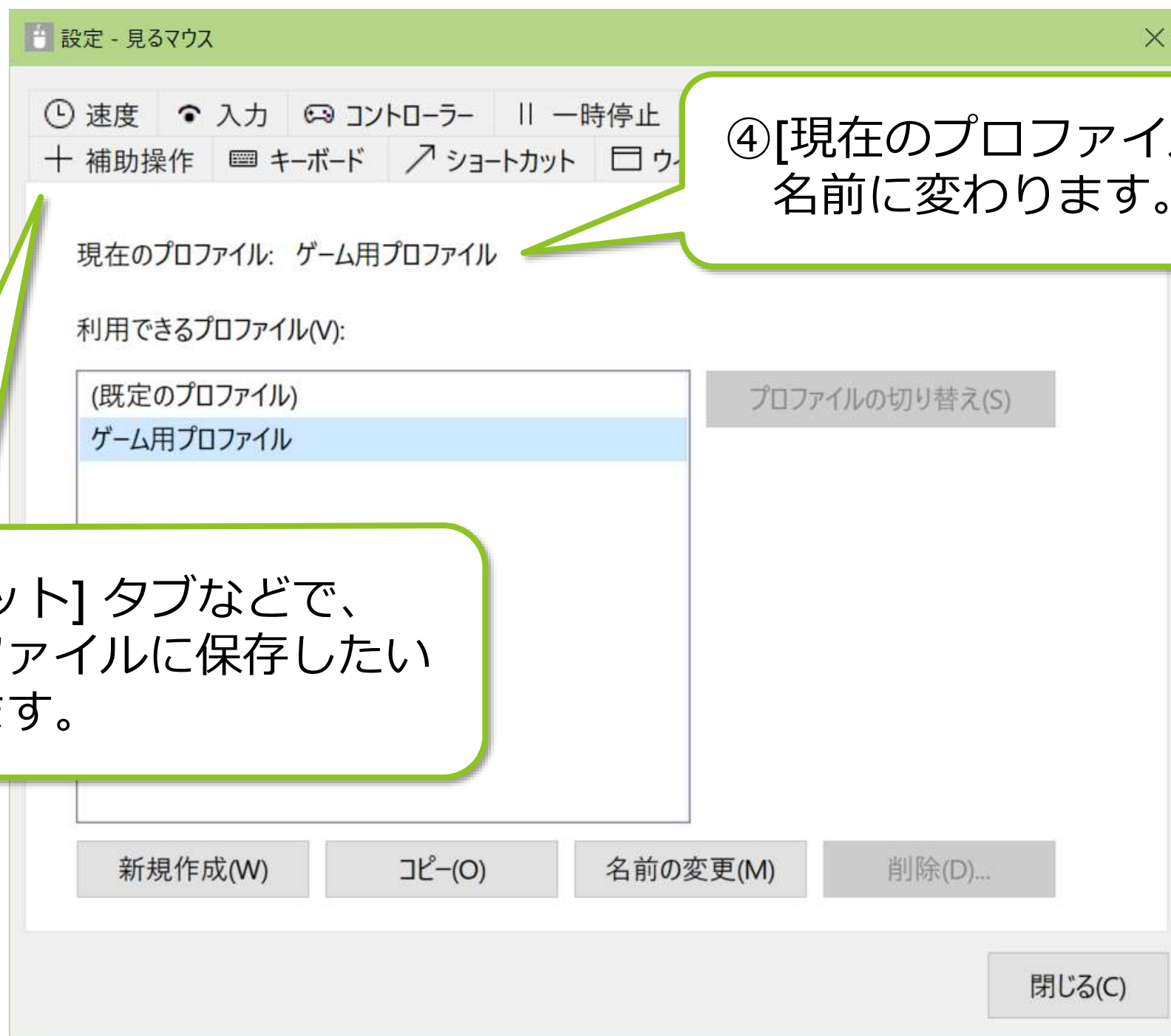
プロフィールの切り替え(S)

③ [プロフィールの切り替え] を押します。すると、見るマウスが再起動して、この設定画面が再表示されます。

# 見るマウスの設定 - プロファイル



(続き)



④ [現在のプロファイル] が②で入力した名前に変わります。

⑤ [ショートカット] タブなどで、現在のプロファイルに保存したい設定を行います。



# 見るマウスの設定 - プロファイル



(続き)

⑥(既定のプロファイル) を選択して、[プロフィールの切り替え] を押します。すると、見るマウスが再起動して、設定が元に戻ります。

⑦後は任意のタイミングで、この [プロフィール] タブを再度開き、[利用できるプロファイル] からプロフィールを選択して [プロフィールの切り替え] を押せば、保存していた通りに設定を切り替えることができます。

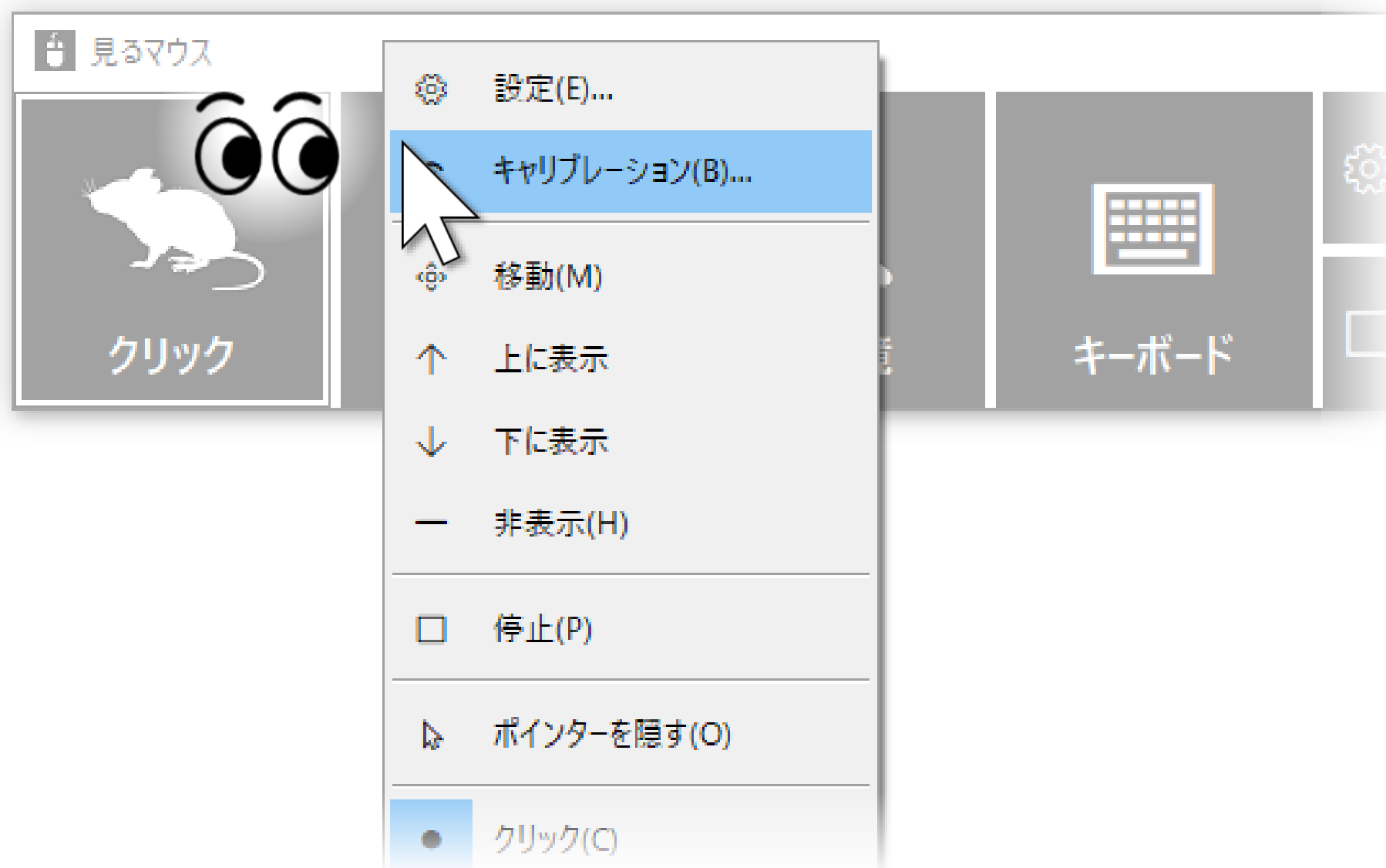
# その他の機能



# その他の機能 - 視線追跡のキャリブレーション



ウィンドウのタイトルバーを見続けたときに表示されるメニューの [キャリブレーション] から、視線追跡のキャリブレーションの画面を開くことができます。



※ 視線追跡装置として Tobii Eye Tracker 4C、Tobii EyeX、または SteelSeries Sentry をお使いの場合、メニューを選択してからキャリブレーションの画面が表示されるまでに 10 秒程かかります。

# その他の機能 - 視線追跡のキャリブレーション



視線追跡装置として Tobii Eye Tracker 5、Tobii Eye Tracker 4C、Tobii EyeX、または SteelSeries Sentry をお使いで、かつ [Tobii Dynavox Gaze Point](#) をインストール済みの場合は、通常のキャリブレーションと Tobii Dynavox Gaze Point を使用したキャリブレーションのどちらを実行するかをメニューから選ぶことができます。



※ Tobii Dynavox Gaze Point のキャリブレーションの設定変更は、別途 Gaze Point の設定画面を開いて行ってください。

# その他の機能 - 視線追跡のキャリブレーション



視線追跡装置として Irisbond Duo または EyeTech TM5 をお使いの場合は、キャリブレーションを実行する点の数をメニューから選ぶことができます。

メニューから選ぶと、画面に白い丸が表示されます。その丸を見続けることで、キャリブレーションが完了します。キャリブレーションを中断するには、Esc キーを押します。

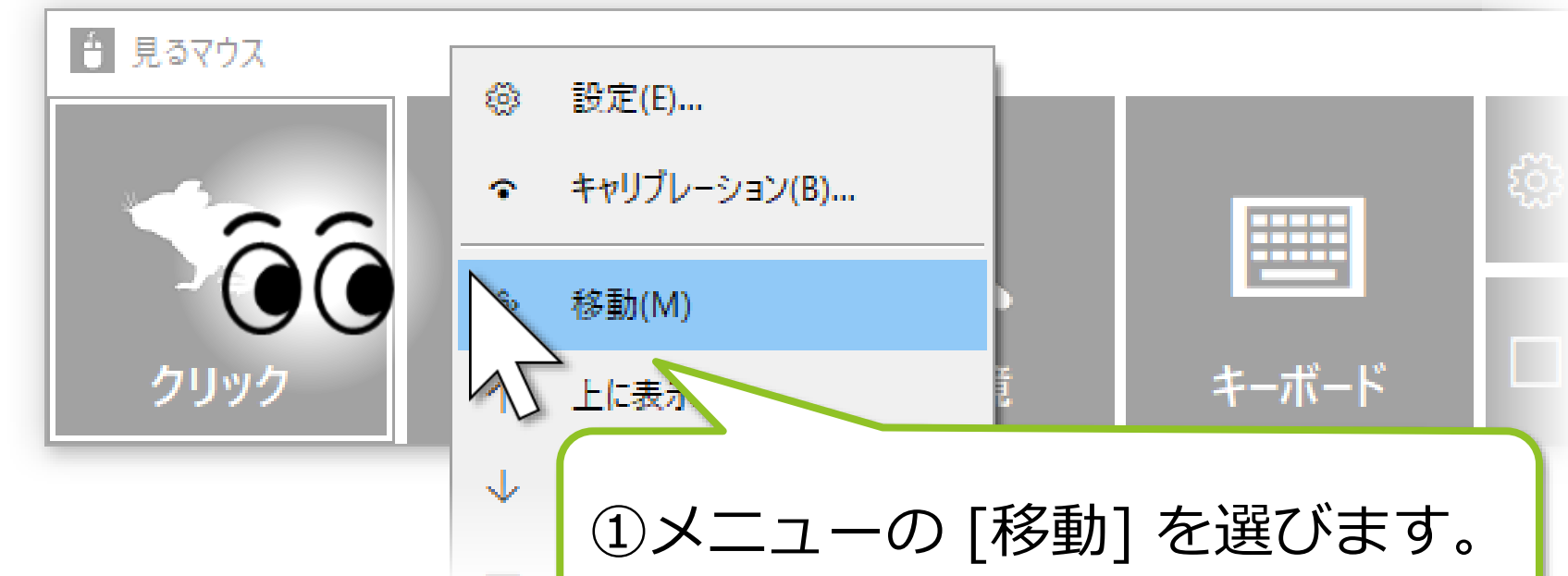


キャリブレーションを実行する点の数が多いほど、より正確な視線追跡が行えるようになりますが、その反面キャリブレーションに時間がかかります。

# その他の機能 - ウィンドウの縦置き

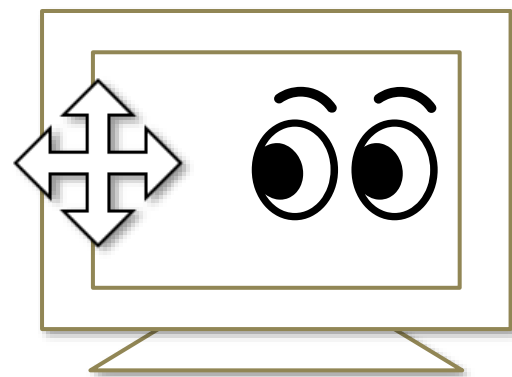


見るマウスのウィンドウをデスクトップ画面の左右隅へ移動させると、ウィンドウを縦に表示することができます。同様に上下隅へ移動させると、横の表示に戻すことができます。



②デスクトップ画面の左隅または右隅を見続けます。

③見るマウスのウィンドウが縦に表示されます。

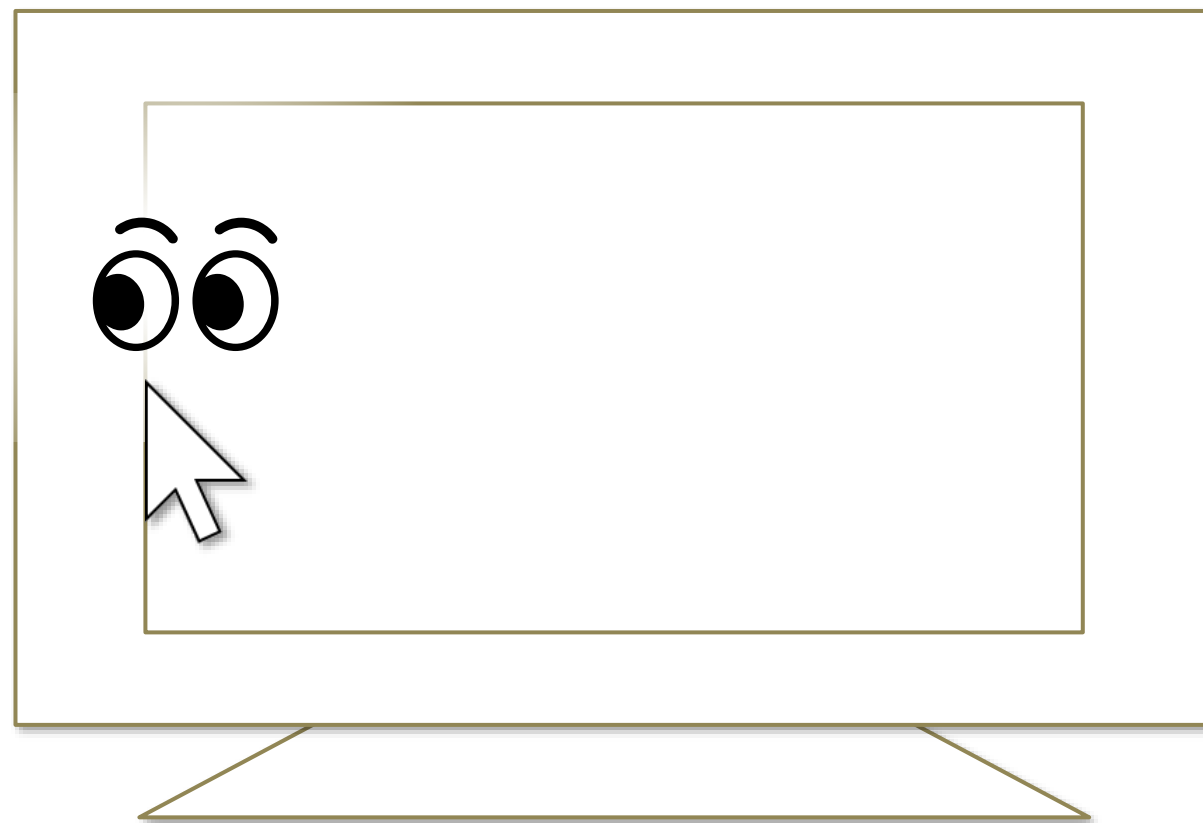


# その他の機能 - タスク ビュー



デスクトップ画面の左隅の、真ん中あたりの高さの所を見続けると、Windows 10 のタスク ビューを表示します。

うまく表示できない場合は、ディスプレイの外枠を見るとうまくいきます。



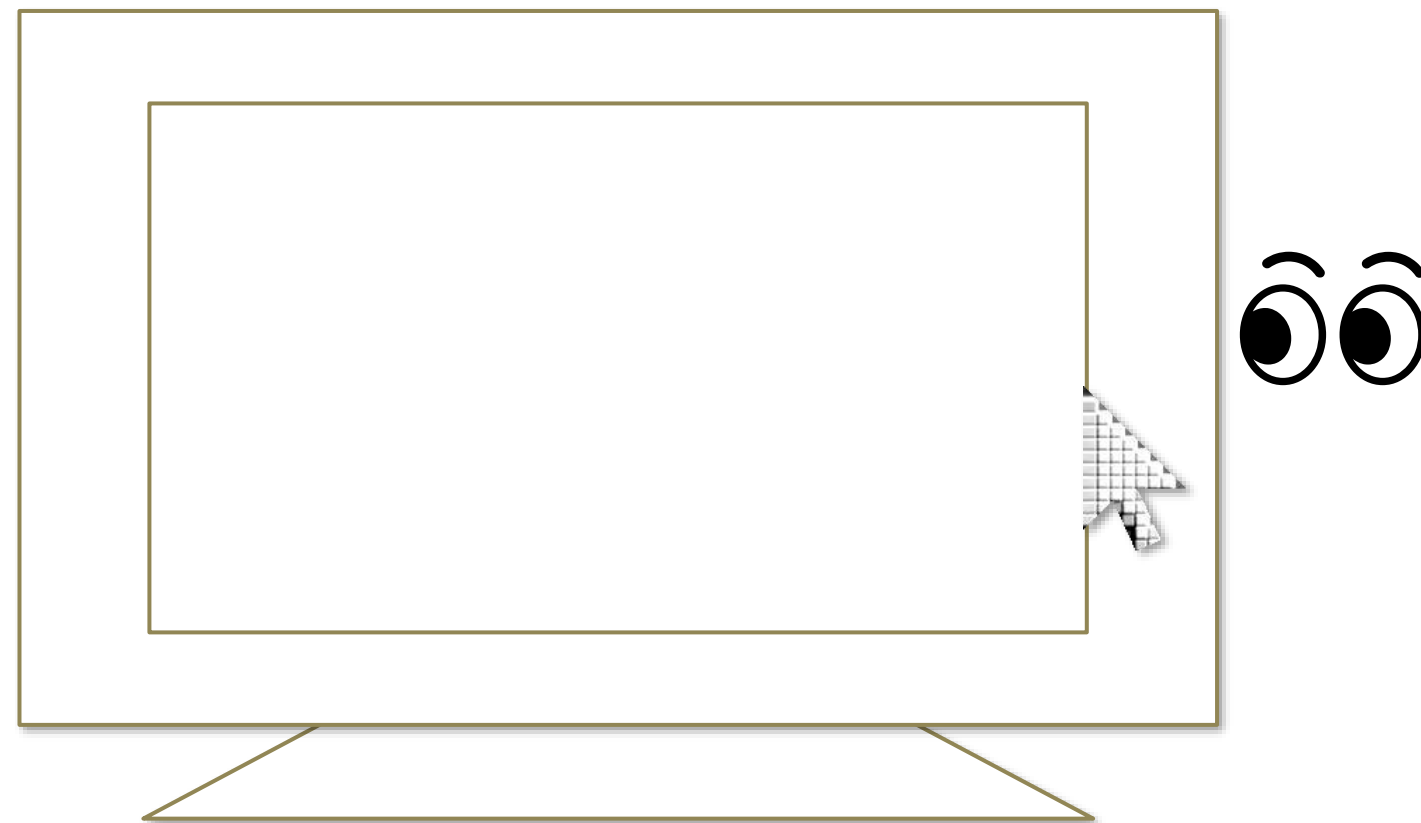
- ※ Windows 11 ではウィジェットを表示します。
- ※ Windows 8.1 では最近使ったストア アプリの一覧を表示します。
- ※ Windows 7 では Windows Aero が有効な場合にフリップ 3D を使用します。

# その他の機能 - アクション センター



デスクトップ画面の右隅の、真ん中あたりの高さの所を見続けると、Windows 10のアクション センターを表示します。

うまく表示できない場合は、ディスプレイの外枠を見るとうまくいきます。



- ※ Windows 11 では通知センターと予定表を表示します。
- ※ Windows 8.1 ではチャーム バーを表示します。
- ※ Windows 7 では特別何も起きません。

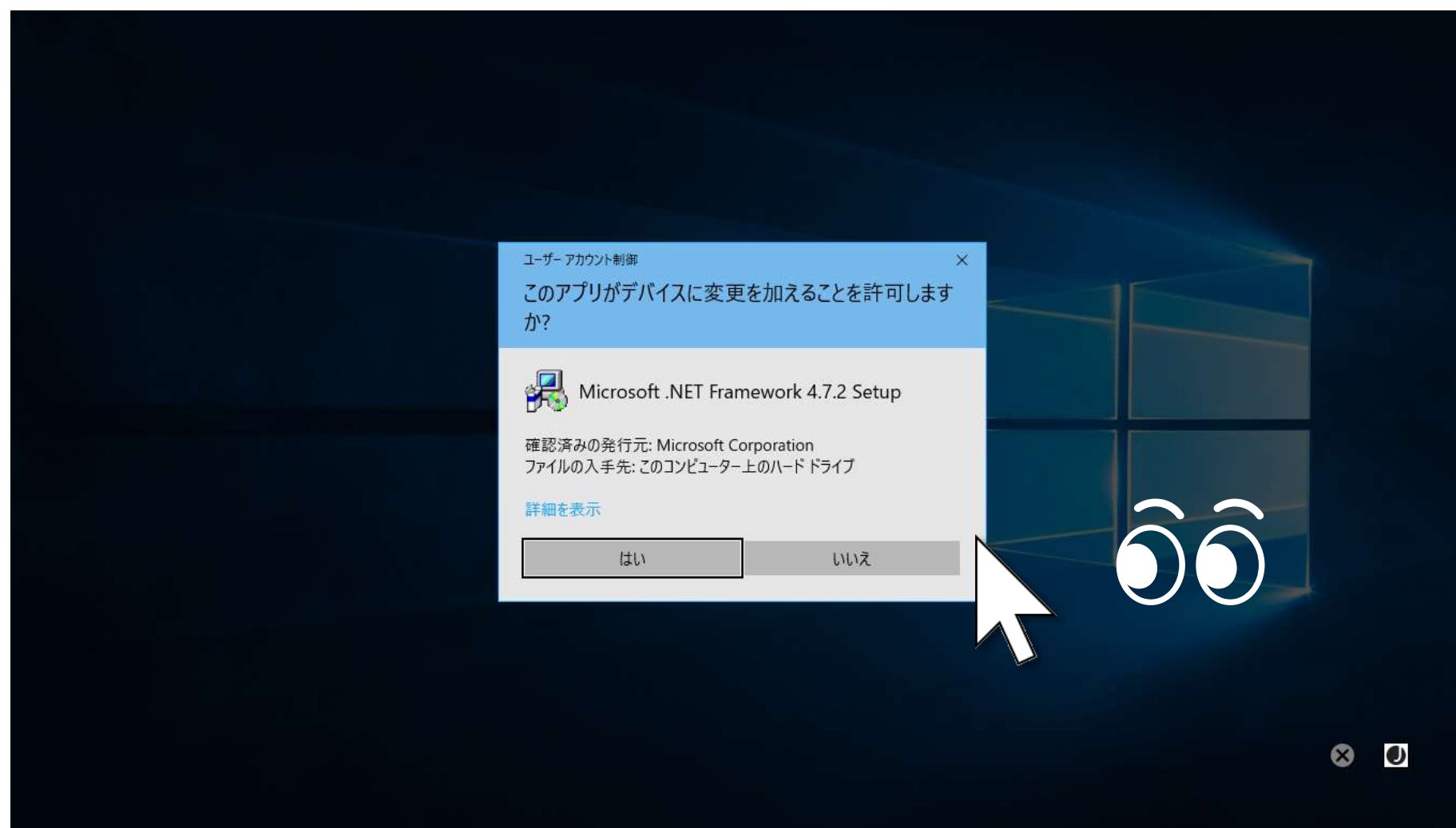


# その他の機能 - ユーザー アカウント制御



アプリのインストールやアプリを管理者として実行するときに表示される、ユーザー アカウント制御の画面も視線追跡または頭部追跡でクリックできます。

このとき、見るマウスのウィンドウは表示されません。



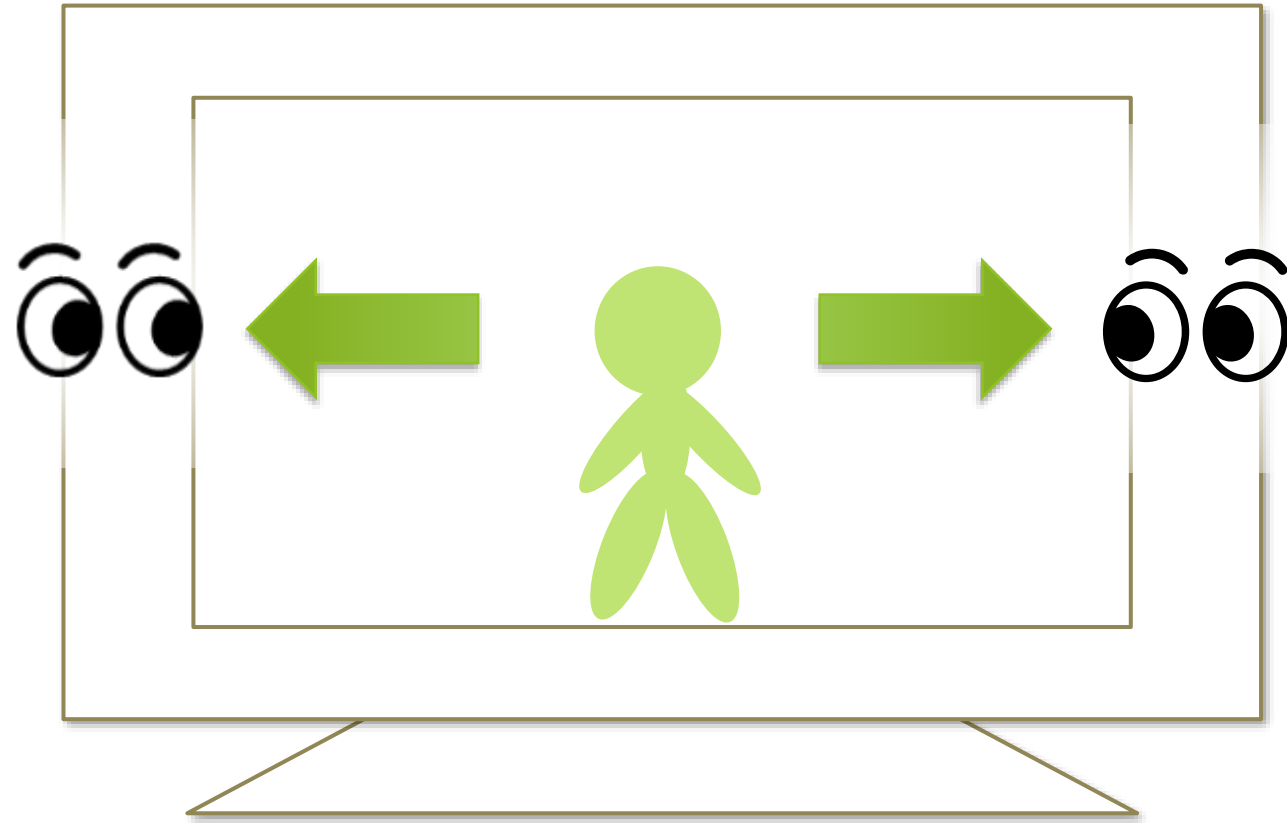
- ※ ただし、見るマウスと VSeeFace を同一の PC で実行している場合は、ユーザー アカウント制御の画面を頭部追跡で操作することはできません。

# その他の機能 - ゲーム中のカメラ移動



マウス操作でカメラを移動させるようなゲームでは、見るマウスを使用することで見ている方向にカメラを移動させることができます。

こうしたゲームをプレイ中に同じ所を見続けたときの操作は、この操作説明書のP.57に記載しているショートカットキーを使用することで切り替えることができます。



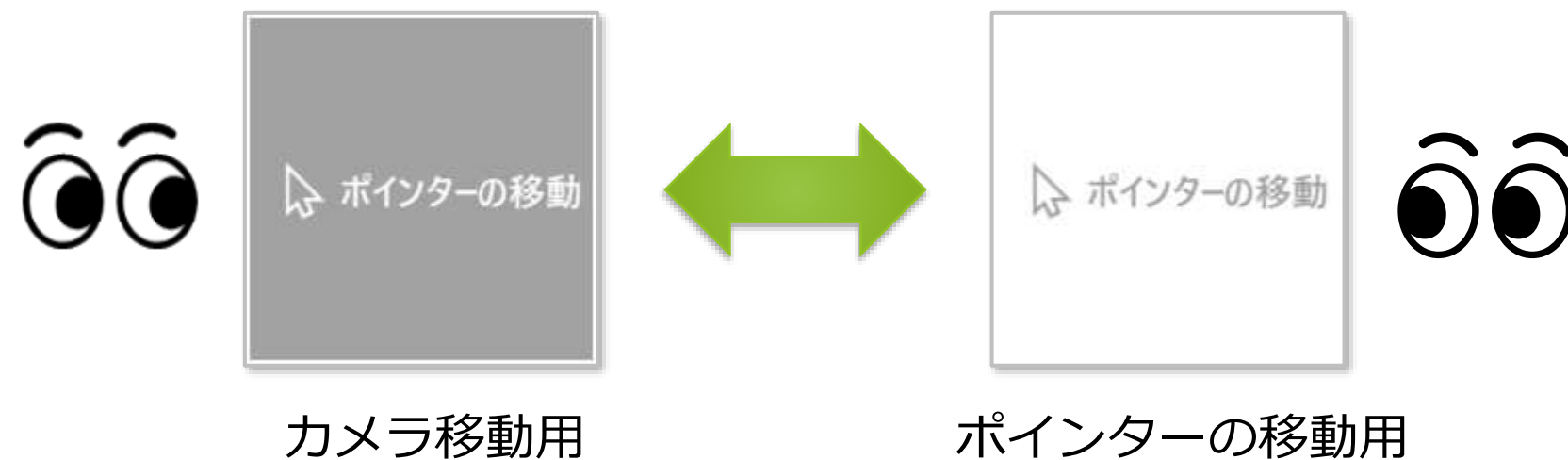


## その他の機能 - ゲーム中のポインターの移動

ゲーム中にポインターを操作するときに、もし見ている所にポインターが移動しない場合は、本書 P.61 に記載の [ポインターの移動] のショートカットを、本書 P.75 に記載している手順で個別のウィンドウに表示して利用してください。

[ポインターの移動] のショートカットを見続けると、ボタンの色が反転して、見ている所にゲーム中のポインターを移動させることができます。

ゲーム中にポインターの移動を終了して、前述のカメラ移動へ戻すには、再度 [ポインターの移動] のショートカットを見続けます。



※ [ポインターの移動] のショートカットは、ゲームのみで利用します。通常のデスクトップ画面では [ポインターの移動] のショートカットに効果はありません。

# その他の機能 - ゲーム中のクリック操作



ゲームを開始すると、以下のすべての条件を満たす場合に、見るマウスのクリック操作が自動的に [クリック] に切り替わります。

- ▶ [クリックなし] 以外のクリック操作を使用している。
- ▶ クリック操作のショートカット キーを何も設定していない。
- ▶ 前述の [ポインターの移動] のショートカットを利用していないか、またはカメラ移動用の状態になっている。



自動的に [クリック] に切り替わります。

もし [クリック] へ自動的に切り替えたくない場合は、本書 P.57 の手順で何か 1 つショートカット キーを設定してください。

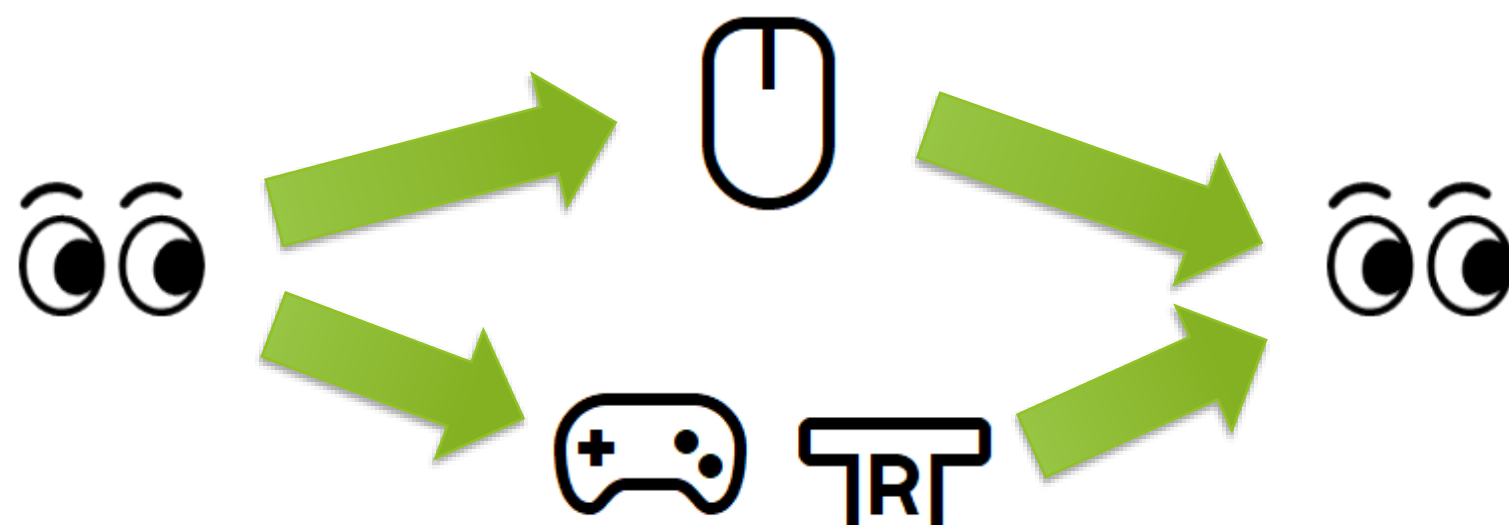
# その他の機能 - 実際のマウスとの併用



実際のマウスとの併用も可能です。

見るマウスを使用中に実際のマウスを操作した場合は、視線追跡が一時停止し、実際のマウスの操作が優先されます。実際のマウスの操作をやめてしばらくすると再度視線追跡によるマウス操作ができるようになります。

実際のマウスの他に、Xbox コントローラーの右スティックを操作した場合も視線追跡が一時停止します。



※ 実際のマウスを操作した場合や Xbox コントローラーの右スティックを操作した場合に一時停止するかどうかは、設定で変更することができます。

# その他の機能 - 視線追跡の停止



動画の視聴時のように視線追跡が長時間不要な場合には、視線追跡を停止することができます。

[視線制御の停止] のショートカット、またはウィンドウのタイトルバーを見続けたときに表示されるメニューの [停止] から、視線追跡を停止することができます。ウィンドウは非表示になります。



前述の実際のマウスを操作した場合と違い、自動的に停止が解除されることはありません。デスクトップ画面の左上隅を見てウィンドウを再表示させると、停止を解除できます。

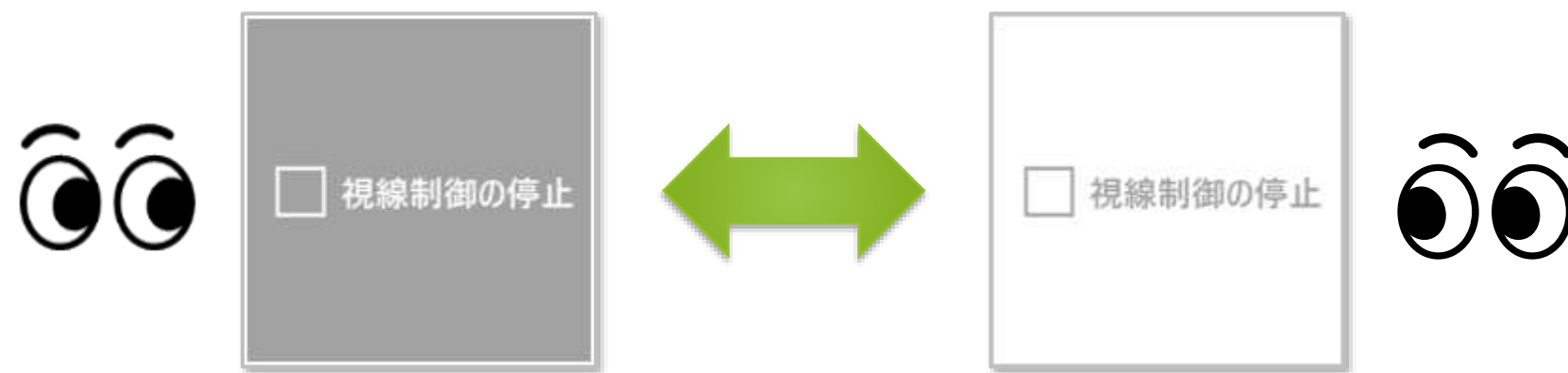


# その他の機能 - 視線追跡の停止

[視線制御の停止] のショートカットは、本書 P.75 に記載している手順で個別のウィンドウに表示することもできます。

[視線制御の停止] のショートカットを見続けると、ボタンの色が反転して、視線制御が停止します。

停止を解除するには、再度 [視線制御の停止] のショートカットを見続けるか、またはデスクトップ画面の左上隅を見ます。



※ タスクバーを上または左に配置している場合は、画面の右下隅を見てください。ただし、本書 P.77 の [画面上のメインウィンドウの既定の位置] を変更した場合は、その位置を見てください。

# その他の機能 - 視線追跡の停止



Alt + Shift + M キーを押すことでも、視線追跡を停止することができます。  
自動的に停止が解除されることはありません。

Alt + Shift + M キーによる停止を解除するには、再度 Alt + Shift + M キーを押します。

キーの組み合わせは、この操作説明書の P.51 に記載している設定画面で変更することができます。



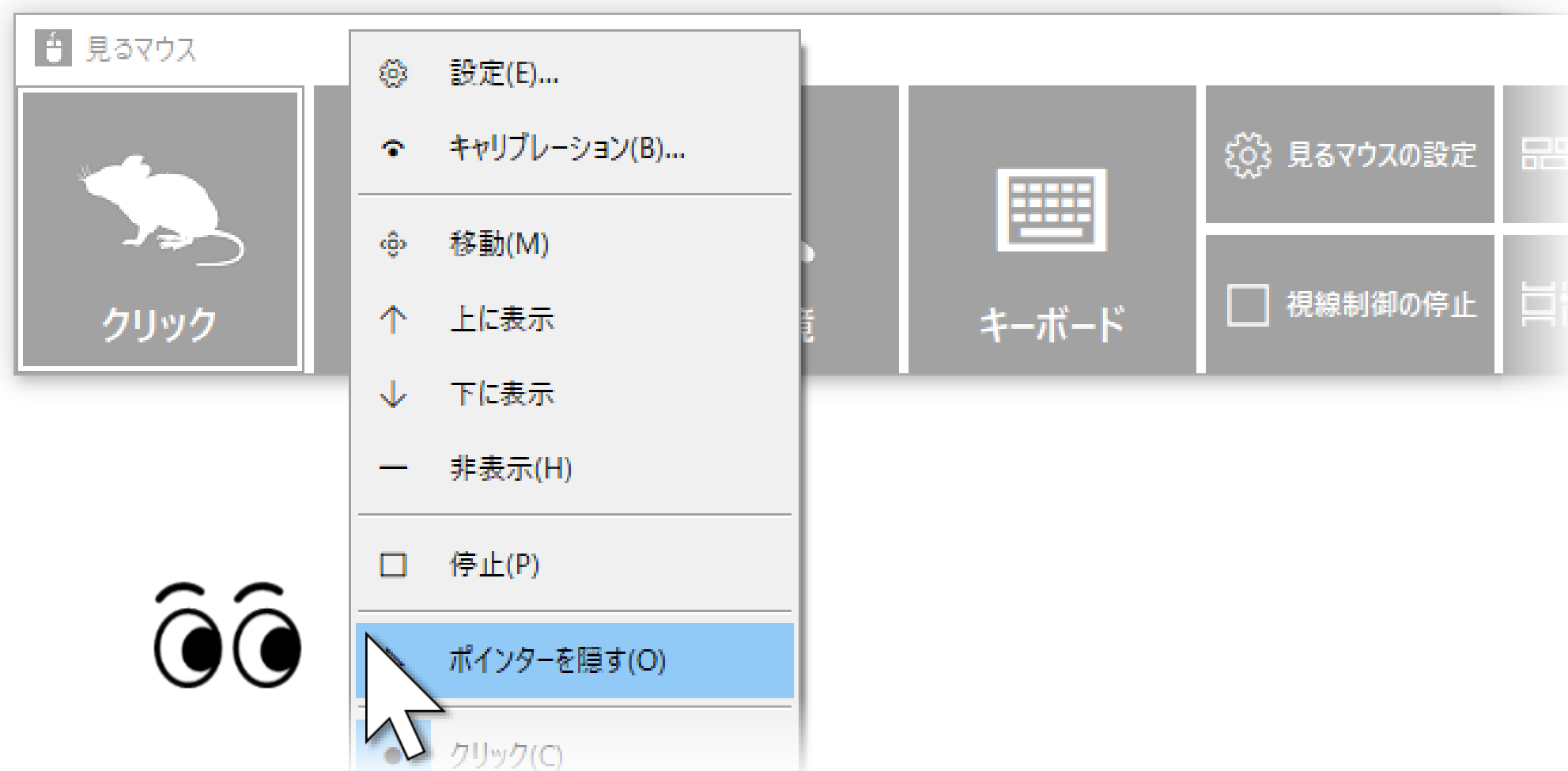
# その他の機能 - マウスポインターを隠す



電子書籍の閲覧時のように、クリック操作は必要でもマウスポインターが邪魔になる場合には、マウスポインターを非表示にすることができます。

ウィンドウのタイトルバーを見続けたときに表示されるメニューの [ポインターを隠す] を選ぶと、マウスポインターを非表示にすることができます。

もう一度 [ポインターを隠す] を選ぶと、再表示します。



## その他の機能 - 見るマウスの固有のショートカットキー



以下のショートカットキーで、速度を調節できます。

### ▶ マウスポインターの速度

Alt + Shift + 1	遅くする
Alt + Shift + 2	速くする

### ▶ クリックの間隔

Alt + Shift + 3	間隔を長くする
Alt + Shift + 4	間隔を短くする

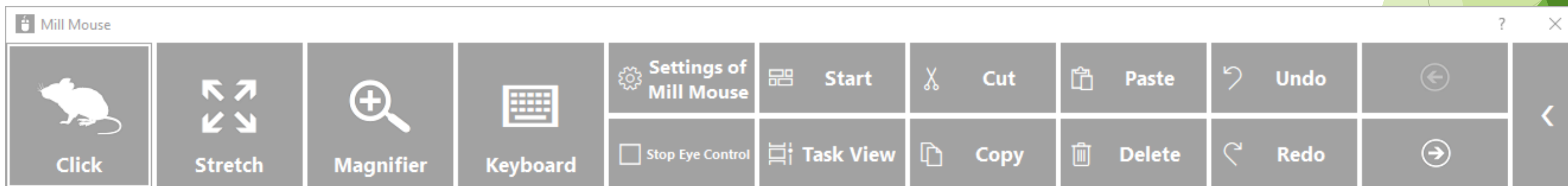
# その他の機能 - 他言語対応



日本語以外に、以下の言語に対応しています。

Windows の言語設定に従って、ウィンドウに表示する言語が変わります。

- ▶ 英語
- ▶ 簡体字中国語
- ▶ 繁体字中国語
- ▶ 韓国語
- ▶ アラビア語
- ▶ イタリア語
- ▶ オランダ語
- ▶ カタルニア語
- ▶ ギリシャ語
- ▶ クロアチア語
- ▶ スウェーデン語
- ▶ スペイン語
- ▶ スロバキア語
- ▶ チェコ語
- ▶ テルグ語
- ▶ デンマーク語
- ▶ ドイツ語
- ▶ トルコ語
- ▶ ノルウェー語  
(ブークモール)
- ▶ ハンガリー語
- ▶ バングラ語
- ▶ ヒンディー語
- ▶ フィンランド語
- ▶ フランス語
- ▶ ベトナム語
- ▶ ヘブライ語
- ▶ ポーランド語
- ▶ ポルトガル語
- ▶ ロシア語



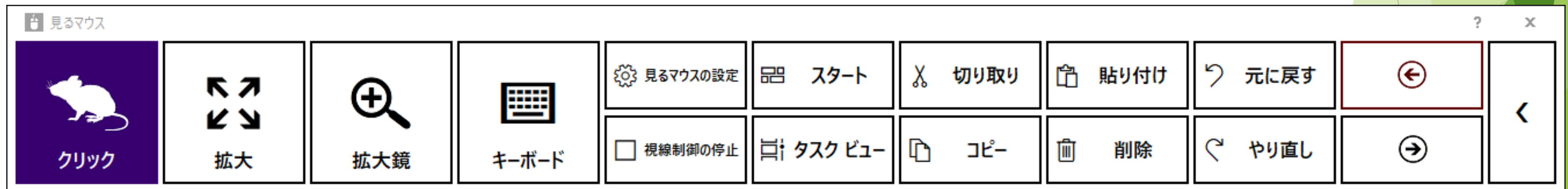
- ※ アラビア語環境とヘブライ語環境の場合、デスクトップ画面の右上または左下にウィンドウが表示されます。
- ※ スペイン語環境とポルトガル語環境の場合、Ctrl+S の代わりに Ctrl+G を使う等、ショートカットキーが変わります。

# その他の機能 - ハイコントラスト対応



ハイコントラストに対応しています。

Windows のハイコントラスト設定に従って、ウィンドウの配色が切り替わります。




※ Windows の初期設定では、左 Shift + 左 Alt + Print Screen キーを押すことでハイコントラストの有効/無効を切り替えることができます。

# ヒント - ボタン等が小さすぎる場合



ボタン等が小さすぎて操作し難い場合は、以下の設定を変更してみてください。

1. Windows 10 のスタートメニューから [設定] アイコン  をクリックします。
2. [システム] > [ディスプレイ] > [拡大縮小とレイアウト] の % 値を変更します。
3. それでも小さすぎる場合は、[表示スケールの詳細設定] の [カスタム スケーリング] で大きいサイズに変更します。(カスタム スケーリングの設定を反映するには、Windows 10 にサインインし直す必要があります。)

※ Windows 8.1, Windows 7 の場合は、以下の設定を変更してみてください。

1. デスクトップ画面を右クリック > [画面の解像度] をクリックします。
2. [テキストやその他の項目の大きさの変更] をクリックします。
3. 大きいサイズに変更して、[適用] をクリックします。
4. Windows にサインインし直します。

# ヒント - Tobii Core Software のアップグレード



Tobii Eye Tracking Core Software を新しいバージョンにアップグレードすると、うまく動かなくなる場合があります。そのときは、以下の手順でクリーンインストールをお試しくください。(△ Windows に詳しい人向けの手順です。以下の手順を行うと、キャリブレーションのプロフィール等は削除されます。)

1. コントロールパネルの [プログラムと機能] から、Tobii Eye Tracking ソフトウェアをアンインストールします。
2. Tobii Eye Tracker 4C 等の視線追跡装置を PC に接続した状態でデバイス マネージャーを開き、[ユニバーサル シリアルバス デバイス] の EyeChip をアンインストールします。EyeChip が無い場合は [Eye Tracking Devices] 内のドライバーをアンインストールします。
3. レジストリ エディターを開き、以下のキーを削除します。
  - HKEY\_CURRENT\_USER¥Software¥Tobii
  - HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥Software¥WOW6432Node¥Tobii
4. エクスプローラーを開き、以下のフォルダーを削除します。
  - %localappdata%¥Tobii
  - %programdata%¥Tobii
  - %programdata%¥TetServer
5. Windows を再起動します。
6. 新しいバージョンの Tobii Eye Tracking Core Software をインストールします。
7. 視線追跡のキャリブレーションを行います。

# ヒント - SSML または SAPI TTS XML の使用



この操作説明書の P.69 に記載している [定型句を音声で読み上げる] を有効にした場合、[定型句] には [SSML](#) または [SAPI TTS XML](#) で以下のように記述することもできます。

<b>SSML の例</b>	<pre>&lt; speak version="1.0"   xmlns="http://www.w3.org/2001/10/synthesis"   xml:lang="ja-JP"&gt;   こんにちは&lt; break time="300ms" /&gt;調子はどうですか &lt;/ speak&gt;</pre>
<b>SAPI TTS XML の例</b>	<pre>&lt; p&gt;   こんにちは&lt; silence msec="300" /&gt;調子はどうですか &lt;/ p&gt;</pre>

[定型句] の先頭に、SSML の場合は < speak>、SAPI TTS XML の場合は任意の XML タグを記述してください。

※ Windows 7 では SSML で日本語は使用できません。

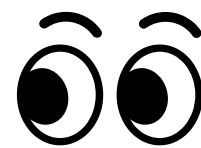
# ヒント - Windows 10 の SwiftKey の使用



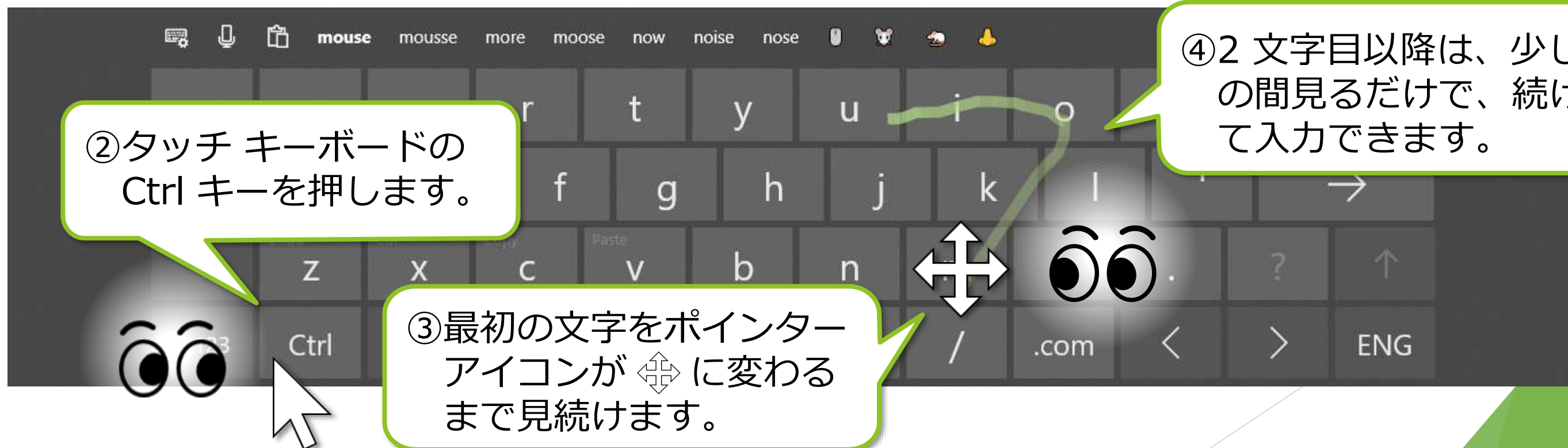
Windows 10 October 2018 Update でタッチ キーボードに SwiftKey 機能が追加されました。日本語は未対応です。

見るマウスで SwiftKey を使用するには、以下のようにしてください。

①見るマウスを  
[ドラッグ]に  
切り替えます。



②タッチ キーボードの  
Ctrl キーを押します。



③最初の文字をポインター  
アイコンが  に変わる  
まで見続けます。


④2 文字目以降は、少し  
の間見るだけで、続け  
て入力できます。



# ヒント - 50 音配列のキーボードの使用



Windows 11 のタッチ キーボードでは 50 音配列を使用できます。

タッチ キーボードの左上の  アイコン > [キーボード レイアウト] > [50 音] を選ぶと、50 音配列になります。



- ※ Windows 10, Windows 8.1, Windows 7 のタッチ キーボードでは 50 音配列を使用できません。
- ※ スクリーン キーボードでは 50 音配列を使用できません。

# ヒント - 他の PC の遠隔操作

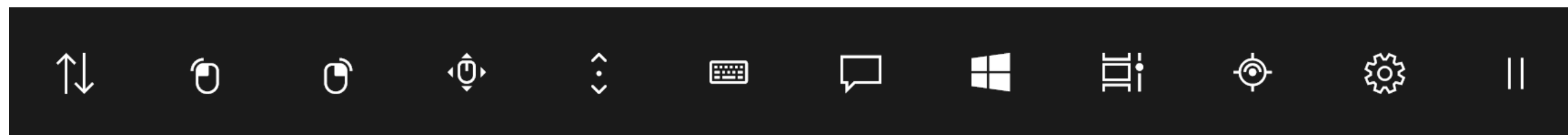


VNC や [Parsec](#) などのリモート デスクトップ ソフトウェアを使用することで、見るマウスをインストールした Windows PC から他の PC を視線追跡で遠隔操作することができます。

ただし遠隔操作する他の PC に対しては、以下の機能制限があります。

- ▶ 本書 P.7 及び P.53 に記載しているスクロール機能は使用できません。
- ▶ 本書 P.7 に記載している、枠に少し「引っかかる」機能は使用できません。
- ▶ 本書 P.52 に記載している [クリックした項目のテキストを音声で読み上げる] の機能は使用できません。

# Windows の視線制御



# Windows の視線制御 - 設定



Windows 標準の視線制御を Tobii Eye Tracker 5、Irisbond Duo、EyeTech TM5、TrackIR 5 または VSeeFace で使用することができます。使用するには以下の手順で設定を行ってください。

1. Microsoft 社が公開しているサンプル ドライバーの ZIP ファイルを、以下の URL からダウンロードします。  
<https://github.com/MSREnable/GazeHid/raw/master/EyeGazeIoctl%20Driver.zip>
2. ダウンロードした ZIP ファイルを、デスクトップなどの適当な場所に展開します。

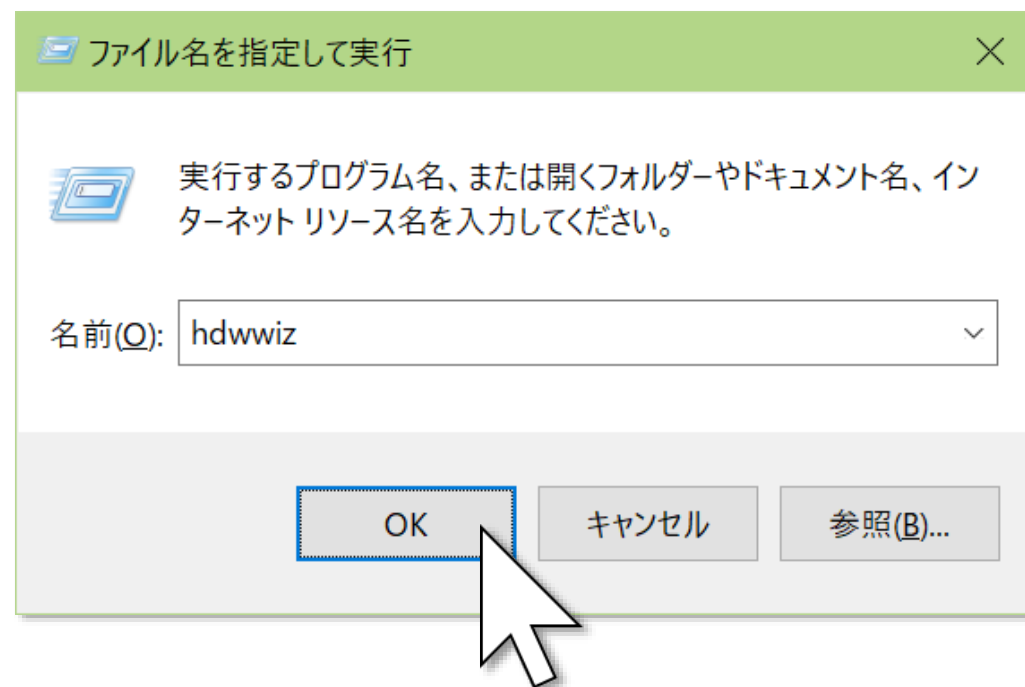
※ この手順で Windows 標準の視線制御を使用するためには、Windows 11 または Windows 10 (Fall Creators Update 以降) の 64 ビット環境が必要です。

# Windows の視線制御 - 設定



(続き)

3. キーボードの Windows ロゴ キーを押したまま R キーを押します。
4. [ファイル名を指定して実行] の画面が表示されるので、[名前] に「hdwwiz」を入力して [OK] をクリックします。

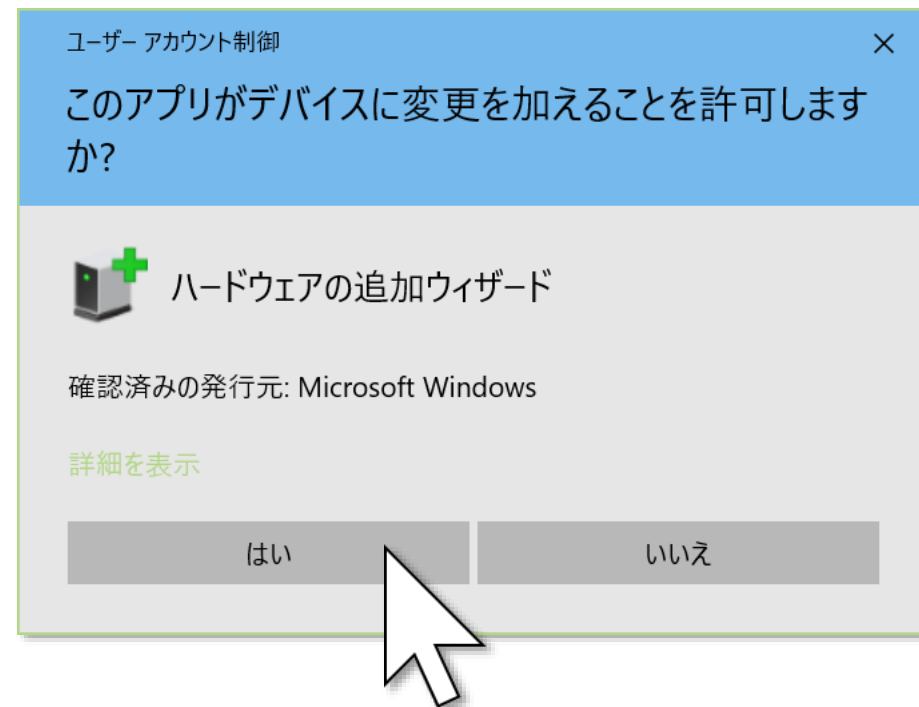


# Windows の視線制御 - 設定



(続き)

5. ユーザー アカウント制御の画面が表示されるので、[はい] をクリックします。

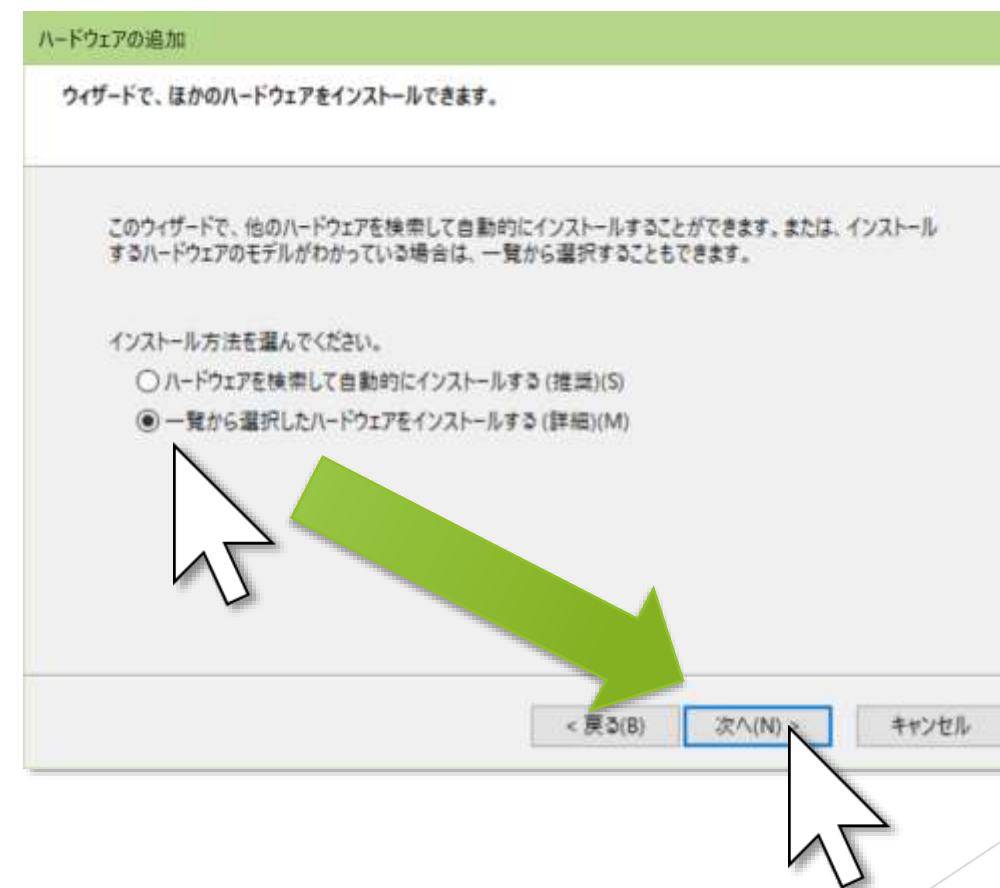


# Windows の視線制御 - 設定



(続き)

6. [ハードウェアの追加] の画面が表示されるので、[次へ] をクリックします。
7. [一覧から選択したハードウェアをインストールする (詳細)] を選択して、[次へ] をクリックします。



# Windows の視線制御 - 設定



(続き)

8. [次へ] をクリックして、[ディスク使用] をクリックします。



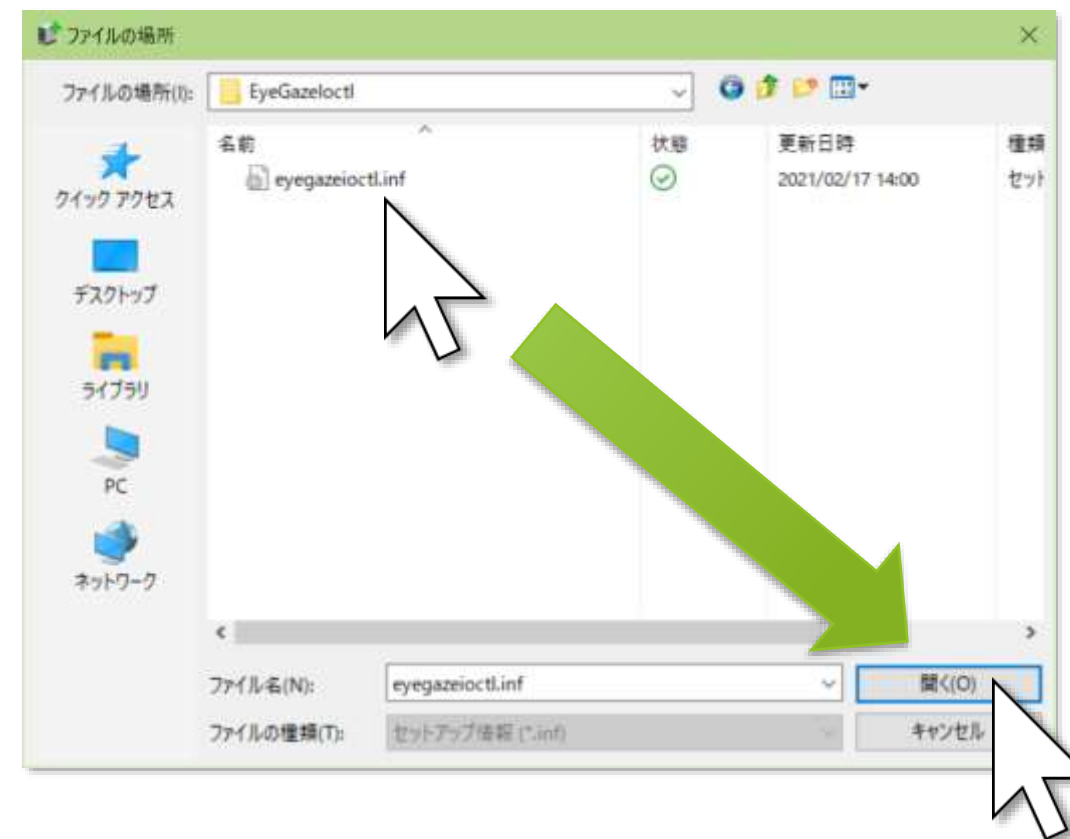
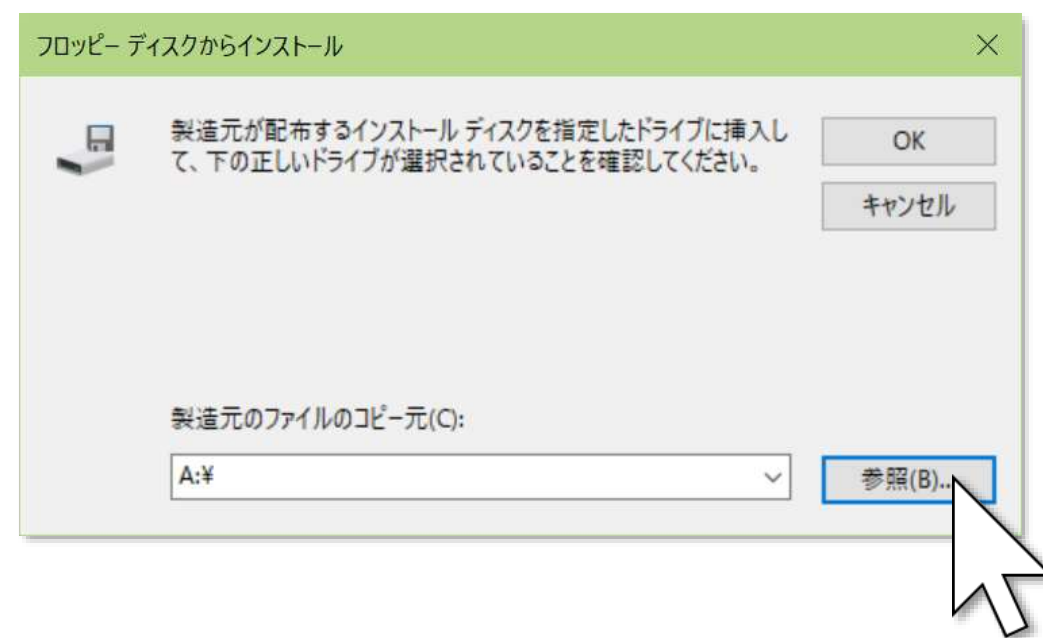


# Windows の視線制御 - 設定



(続き)

9. [参照] をクリックして、2. の手順で展開した場所の `eyegazeioctl.inf` を選択して [開く] をクリックします。



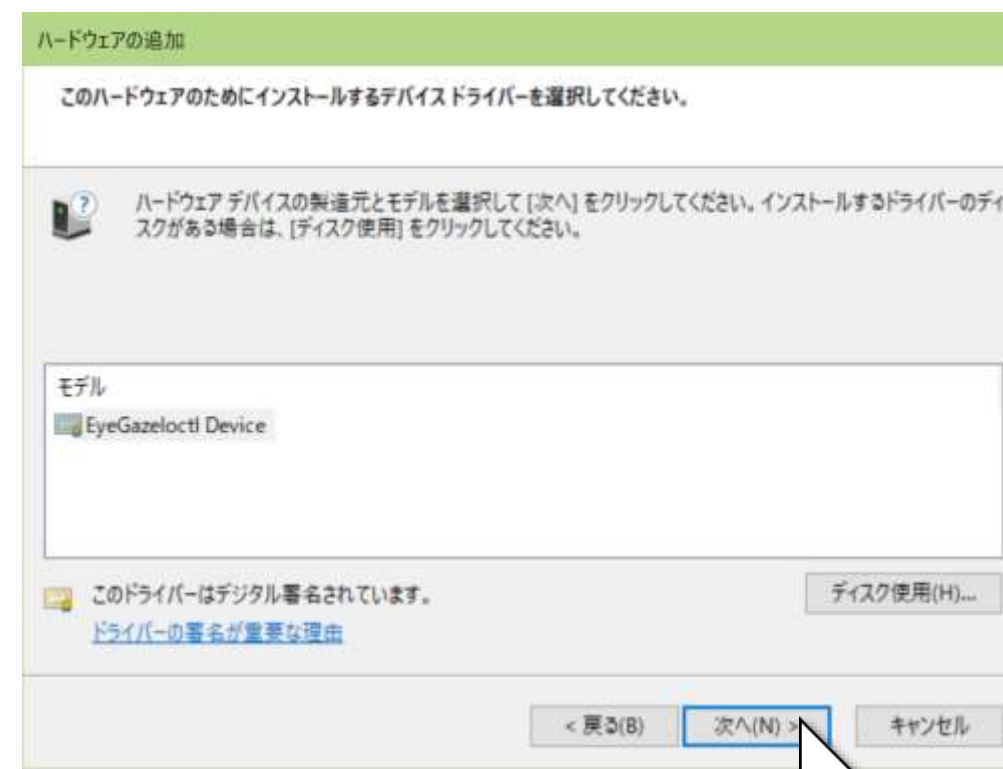
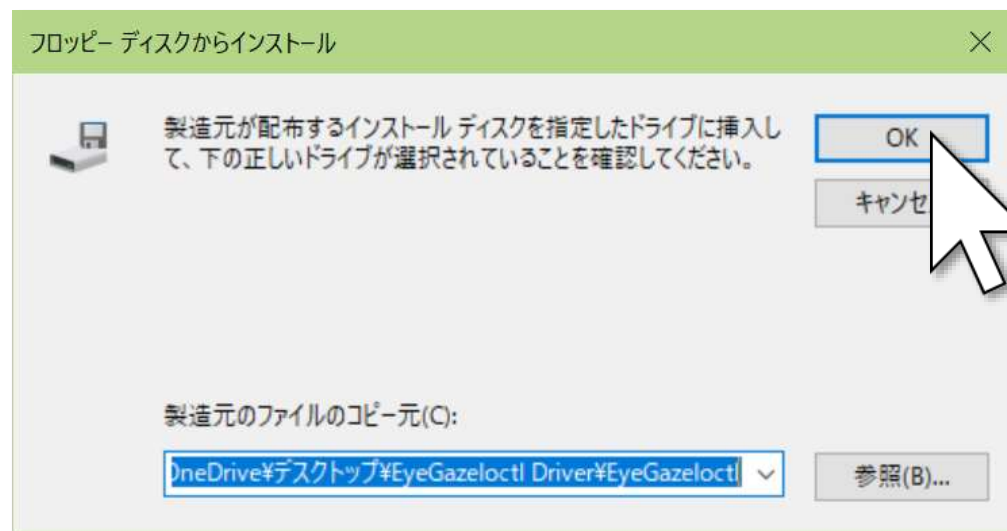
※ `.inf` が表示されない場合もあります。

# Windows の視線制御 - 設定



(続き)

10. [OK] をクリックして、[次へ] をクリックします。

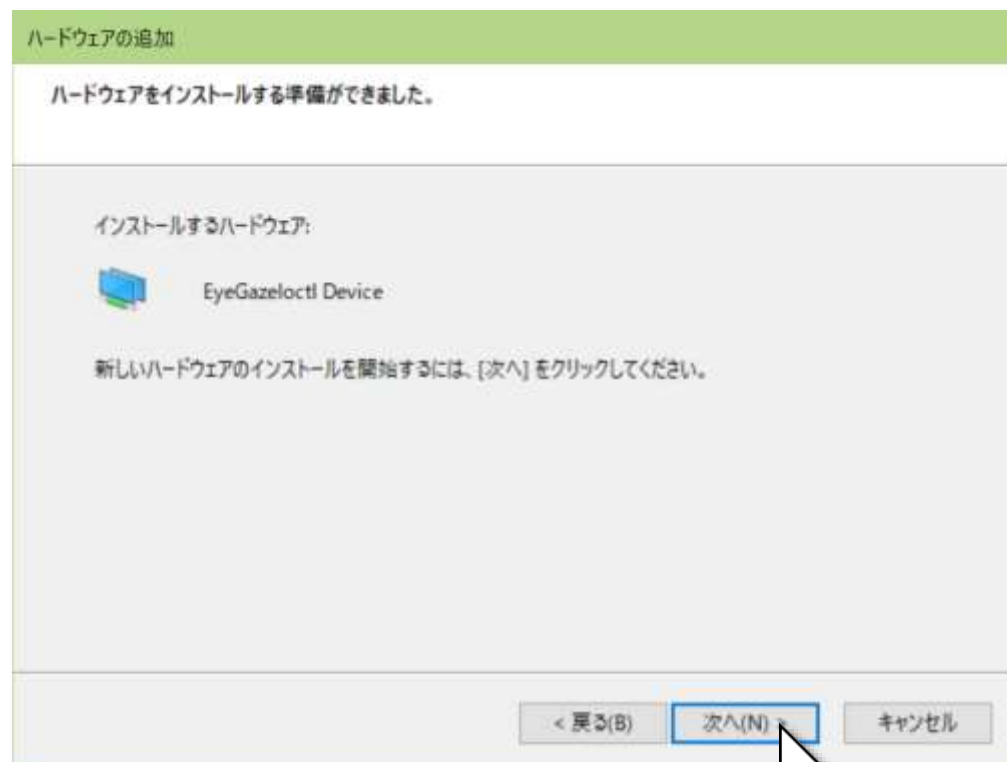


# Windows の視線制御 - 設定



(続き)

11. [次へ] をクリックして、[完了] をクリックします。

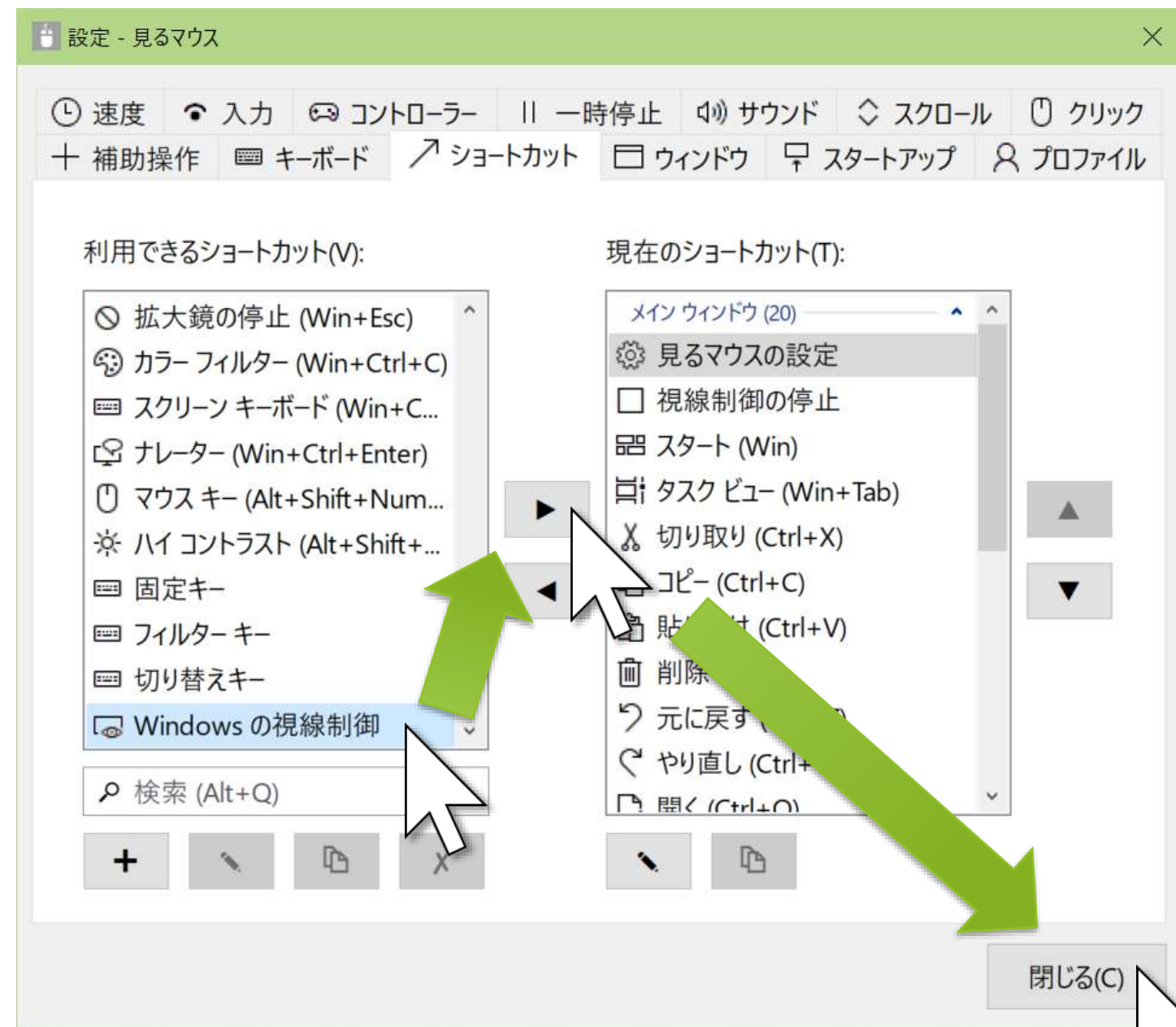


# Windows の視線制御 - 設定



(続き)

12. 見るマウスを起動して、見るマウスの設定画面を開いて [ショートカット] へ移動します。
13. [利用できるショートカット] の下の方にある [Windows の視線制御] を選択して、▶ ボタンを押して [現在のショートカット] へ移動させて、[閉じる] をクリックします。



# Windows の視線制御 - 設定



(続き)

14. 見るマウスのウィンドウに [Windows の視線制御] が表示されます。



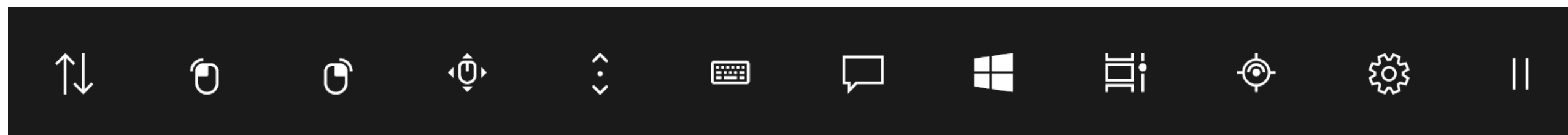
Windows の視線制御を使用するための設定は、これで完了です。

手順 1. でダウンロードした ZIP ファイルと手順 2. で展開したファイルは、削除して構いません。

# Windows の視線制御 - 使用方法



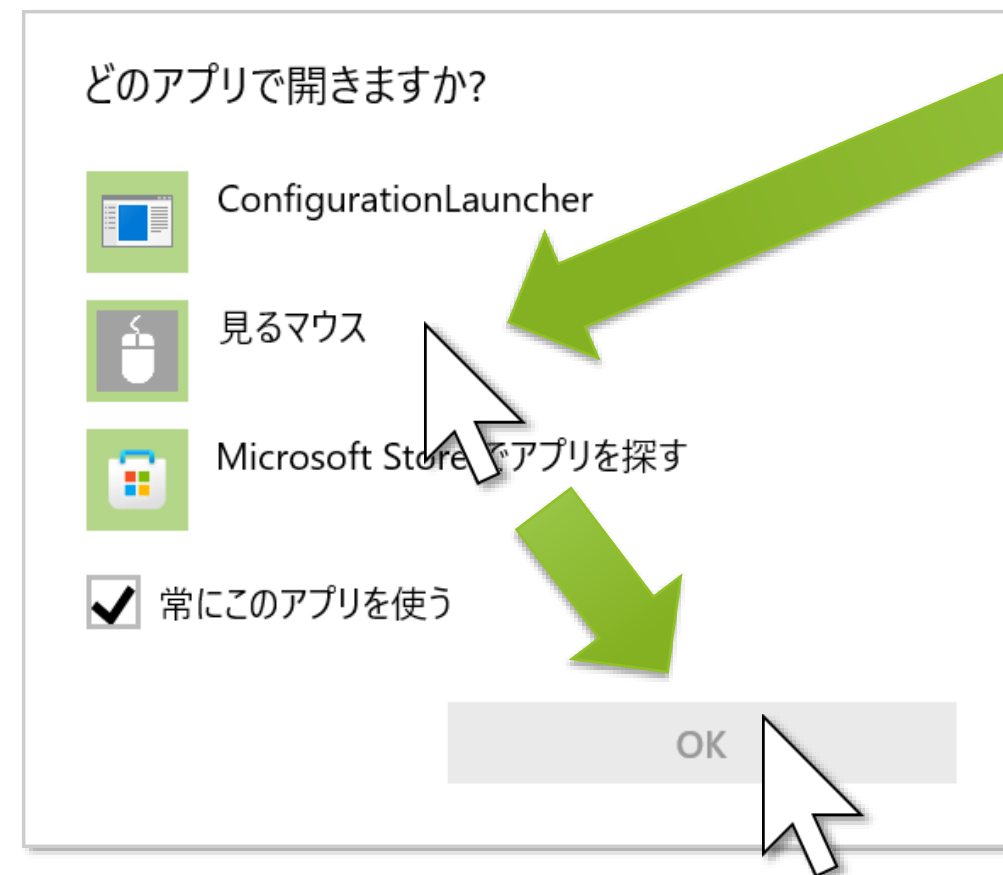
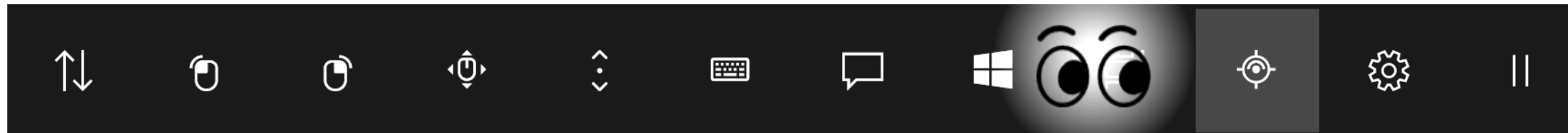
見るマウスのウィンドウに表示されている [Windows の視線制御] を選ぶと、Windows の視線制御用のパネルが表示されて機能を使用できるようになります。また、見るマウスのウィンドウは非表示になります。



# Windows の視線制御 - 使用方法



キャリブレーションの際に「どのアプリで開きますか?」と表示された場合は、[見るマウス] をクリックして [OK] をクリックしてください。

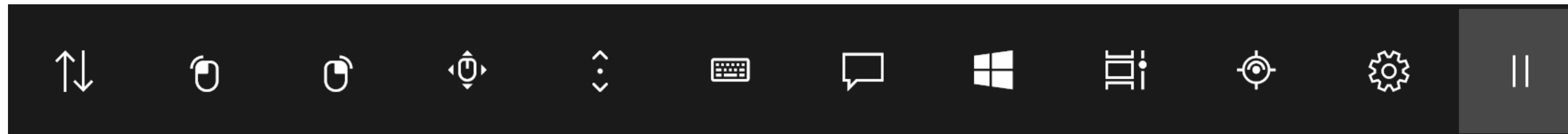


※ TrackIR 5 または VSeeFace をお使いの場合、Windows の視線制御用のパネルにあるキャリブレーションのアイコンを選んでも、何も起きません。

# Windows の視線制御 - 終了方法



Windows の視線制御を終了して見るマウスへ戻るには、まず視線制御用のパネルの一番右にある一時停止アイコンを選びます。



次に、デスクトップ画面の左上隅を見ます。すると Windows の視線制御用のパネルは非表示になり、見るマウスのウィンドウが再表示されます。

これで、見るマウスへ戻ることができます。

※ タスクバーを上または左に配置している場合は、画面の右下隅を見てください。ただし、本書 P.77 の [画面上のメイン ウィンドウの既定の位置] を変更した場合は、その位置を見てください。



# 特記事項

# アンインストール



見るマウスをアンインストールするには、コントロールパネルの [プログラムと機能] からアンインストールしてください。

また、Windows の視線制御を使用するために設定したサンプル ドライバーをアンインストールするには、デバイス マネージャーを開き、[Eye Tracking Devices] 内または [Sample Device] 内の EyeGazeOctl Device を右クリックして、[デバイスのアンインストール] を選んでアンインストールしてください。

# 既知の問題



- ▶ 視線追跡装置として Tobii Eye Tracker 5 を使用した場合、33Hz 程度のかかなり低いサンプリング レートで動作します。そのためマウス ポインターが滑らかに移動しません。
- ▶ 一部のゲームでは、[ポインターの移動] のショートカットを利用して、見ている所にマウス ポインターが移動しません。

# 制限事項



- ▶ 見るマウスはフリー ソフトです。本アプリの使用に起因するいかなる事態に対しても、作者 topolo-Z は責任を負いかねます。
- ▶ 同梱の IrisbondAPI.dll 及び PGRFlyCapture.dll は、IRISBOND CROWDBONDING 社が開発した SDK に含まれているものです。  
<https://www.irisbond.com/en/>
- ▶ 同梱の QuickLink2.dll は、EyeTech Digital Systems 社が開発した SDK に含まれているものです。  
<https://eyetechds.com/>
- ▶ 見るマウスは VMC Protocol を使用しています。  
<https://protocol.vmc.info/>
- ▶ 見るマウスは oscpack を使用しています。以下の URL の “Terms of use” に従います。  
<http://www.rossbencina.com/code/oscpack/>
- ▶ ネズミのシルエットの著作権は、フロップデザインに帰属します。作者 topolo-Z がフロップデザインのシルエット素材を購入して使用しています。  
<https://www.flopdesign.com/>

# 作者への連絡先



- ▶ 作者: topolo-Z
- ▶ メールアドレス: topolo-z@outlook.jp
- ▶ ホームページ: <https://millmouse.wordpress.com/>  
<https://mill-mouse.blogspot.com/>

# 付録 - ショートカット キー



見るマウスで利用できるショートカット キーは、以下の 86 種類です。

- ▶ スタート (Windows ㊦ キー)
- ▶ アクション センター (Windows ㊦ キー+A)
- ▶ デスクトップの表示 (Windows ㊦ キー+D)
- ▶ エクスプローラー (Windows ㊦ キー+E)
- ▶ 設定 (Windows ㊦ キー+I)
- ▶ 接続 (Windows ㊦ キー+K)
- ▶ ロック (Windows ㊦ キー+L)
- ▶ 回転ロック (Windows ㊦ キー+O)
- ▶ 映す (Windows ㊦ キー+P)
- ▶ ファイル名を指定して実行 (Windows ㊦ キー+R)
- ▶ すべての場所の検索 (Windows ㊦ キー+S)
- ▶ クリップボード (Windows ㊦ キー+V)
- ▶ Windows Ink ワークスペース (Windows ㊦ キー+W)
- ▶ 絵文字 (Windows ㊦ キー+ピリオド(.))
- ▶ システム (Windows ㊦ キー+Pause)
- ▶ タスク ビュー (Windows ㊦ キー+Tab)
- ▶ 最大化 (Windows ㊦ キー+↑)
- ▶ 最小化 (Windows ㊦ キー+↓)
- ▶ 左にスナップ (Windows ㊦ キー+←)
- ▶ 右にスナップ (Windows ㊦ キー+→)

# 付録 - ショートカットキー



(続き)

- ▶ 音声認識 (Windows ロゴ キー+Ctrl+S)
- ▶ 日付と時刻 (Windows ロゴ キー+Alt+D)
- ▶ 画面領域切り取り (Windows ロゴ キー+Shift+S)
- ▶ Ctrl キーを押したままにする
- ▶ すべて選択 (Ctrl+A)
- ▶ コピー (Ctrl+C)
- ▶ 新規作成 (Ctrl+N)
- ▶ 開く (Ctrl+O)
- ▶ 印刷 (Ctrl+P)
- ▶ 保存 (Ctrl+S)
- ▶ 貼り付け (Ctrl+V)
- ▶ 切り取り (Ctrl+X)
- ▶ やり直し (Ctrl+Y)
- ▶ 元に戻す (Ctrl+Z)
- ▶ 拡大 (Ctrl+正符号(+))
- ▶ 縮小 (Ctrl+負符号(-))
- ▶ アプリの切り替え (Ctrl+Alt+Tab)
- ▶ タスク マネージャー (Ctrl+Shift+Esc)
- ▶ 閉じる (Alt+F4)
- ▶ ホーム (Alt+Home)

# 付録 - ショートカットキー



(続き)

- ▶ 戻る (Alt+ ←)
- ▶ 進む (Alt+ →)
- ▶ Shift キーを押したままにする
- ▶ ヘルプ (F1)
- ▶ 名前の変更 (F2)
- ▶ 検索 (F3)
- ▶ 更新 (F5)
- ▶ 全画面表示 (F11)
- ▶ Backspace キー (Backspace)
- ▶ コンテキストメニュー
- ▶ 削除 (Del)
- ▶ Enter キー (Enter)
- ▶ Esc キー (Esc)
- ▶ スクリーンショット (Print Screen)
- ▶ スペース キー (Space)
- ▶ Tab キー (Tab)
- ▶ 上矢印キー (↑)
- ▶ 下矢印キー (↓)
- ▶ 左矢印キー (←)
- ▶ 右矢印キー (→)



# 付録 - ショートカットキー



(続き)

- ▶ メール
- ▶ Web ブラウザー
- ▶ 明るくする
- ▶ 暗くする
- ▶ 再生/一時停止
- ▶ 停止
- ▶ 前のトラック
- ▶ 次のトラック
- ▶ ミュート
- ▶ 音量を上げる
- ▶ 音量を下げる
- ▶ 電源
- ▶ スリープ

# 付録 - ショートカットキー



(続き)

- ▶ 簡単操作 (Windows ㊦ キー+U)
- ▶ 拡大鏡の拡大 (Windows ㊦ キー+正符号(+))
- ▶ 拡大鏡の縮小 (Windows ㊦ キー+負符号(-))
- ▶ 拡大鏡の停止 (Windows ㊦ キー+Esc)
- ▶ カラー フィルター (Windows ㊦ キー+Ctrl+C)
- ▶ スクリーン キーボード (Windows ㊦ キー+Ctrl+O)
- ▶ ナレーター (Windows ㊦ キー+Ctrl+Enter)
- ▶ マウス キー (左 Alt+左 Shift+Num Lock)
- ▶ ハイ コントラスト (左 Alt+左 Shift+Print Screen)
- ▶ 固定キー
- ▶ フィルター キー
- ▶ 切り替え キー
- ▶ Windows の視線制御

# 付録 - ショートカット キー



- ※ [アクションセンター] (Windows ロゴ キー+A) は Windows 10 でのみ利用できます。Windows 11 では代わりに [クイック設定] (Windows ロゴ キー+A) を利用できます。Windows 8.1 では代わりに [チャーム] (Windows ロゴ キー+C) を利用できます。Windows 7 では代わりになるショートカット キーはありません。
- ※ [設定] (Windows ロゴ キー+I)、[接続] (Windows ロゴ キー+K)、[回転ロック] (Windows ロゴ キー+O)、[すべての場所の検索] (Windows ロゴ キー+S) は Windows 11, Windows 10, Windows 8.1 でのみ利用できます。Windows 7 では代わりになるショートカット キーはありません。
- ※ [クリップボード] (Windows ロゴ キー+V)、[絵文字] (Windows ロゴ キー+ピリオド(.))、[音声認識] (Windows ロゴ キー+Ctrl+S)、[画面領域切り取り] (Windows ロゴ キー+Shift+S)、[カラー フィルター] (Windows ロゴ キー+Ctrl+C)、[スクリーン キーボード] (Windows ロゴ キー+Ctrl+O) は Windows 11 と Windows 10 でのみ利用できます。Windows 8.1 と Windows 7 では代わりになるショートカット キーはありません。
- ※ [Windows Ink ワークスペース] (Windows ロゴ キー+W) は Windows 10 でのみ利用できます。Windows 11 では代わりに [ウィジェット] (Windows ロゴ キー+W) を利用できます。Windows 8.1 と Windows 7 では代わりになるショートカット キーはありません。
- ※ [日付と時刻] (Windows ロゴ キー+Alt+D) は Windows 10 でのみ利用できます。Windows 11, Windows 8.1, Windows 7 では代わりになるショートカット キーはありません。
- ※ [最大化] (Windows ロゴ キー+↑) と [最小化] (Windows ロゴ キー+↓) は、Windows 8.1 または Windows 7 でコントロールパネルの [コンピューターの簡単操作センター] の [ウィンドウが画面の端に移動されたとき自動的に整列されないようにします] が有効な場合には効きません。(Windows 8.1 のストア アプリを除く)

# 付録 - ショートカット キー



- ※ [左にスナップ] (Windows ロゴ キー+ ←) と [右にスナップ] (Windows ロゴ キー+ →) は、コントロールパネルの [コンピューターの簡単操作センター] の [ウィンドウが画面の端に移動されたとき自動的に整列されないようにします] が有効な場合には効きません。(Windows 8.1 のストア アプリを除く)
- ※ [タスク ビュー] (Windows ロゴ キー+Tab) は Windows 11 と Windows 10 でのみ利用できます。Windows 8.1 では代わりに [最近使ったアプリ] (Windows ロゴ キー+Ctrl+Tab)、Windows 7 では代わりに [フリップ 3D] (Windows ロゴ キー+Ctrl+Tab) を利用できます。
- ※ [アプリの切り替え] (Ctrl+Alt+Tab) は、Windows 7 で Windows クラシック テーマまたはハイ コントラスト テーマを使用している場合には効きません。
- ※ [回転ロック] (Windows ロゴ キー+O)、[明るくする]、[暗くする] は、お使いの PC のディスプレイによっては効かない場合があります。
- ※ [電源] と [スリープ] を選んだときの動作は、コントロールパネルの [電源オプション] の [電源ボタンを押したときの動作] と [スリープ ボタンを押したときの動作] で設定した動作になります。
- ※ 拡大鏡をショートカット キーで開始するには、[拡大鏡の拡大] (Windows ロゴ キー+正符号(+)) を使用します。このとき、拡大鏡は全画面表示で開始します。
- ※ [ナレーター] (Windows ロゴ キー+Ctrl+Enter) は Windows 11 と Windows 10 でのみ利用できます。Windows 8.1 では代わりに Windows ロゴ キー+Enter でナレーターを利用できます。Windows 7 では代わりになるショートカット キーはありません。

# 付録 - ショートカット キー



- ※ [カラー フィルター] (Windows ロゴ キー+Ctrl+C)、[マウス キー] (左 Alt+左 Shift+Num Lock)、[ハイ コントラスト] (左 Alt+左 Shift+Print Screen)、[固定キー]、[フィルター キー]、[切り替えキー] は、コントロール パネルの [コンピューターの簡単操作センター] または Windows 11, Windows 10 の設定で キーボード ショートカットを無効にしている場合には効きません。
- ※ [Windows の視線制御] は Windows 11 と Windows 10 (Fall Creators Update 以降) でのみ利用できます。Windows 8.1 と Windows 7 では代わりになるショートカットはありません。